

目次

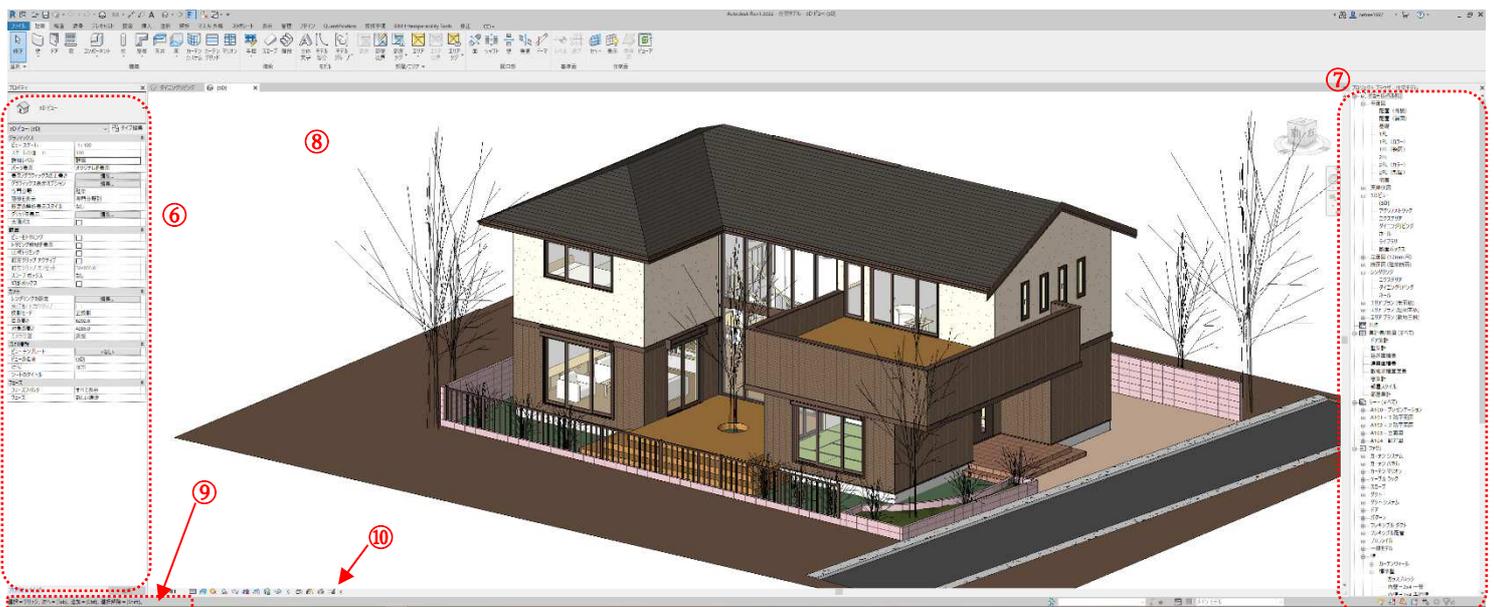
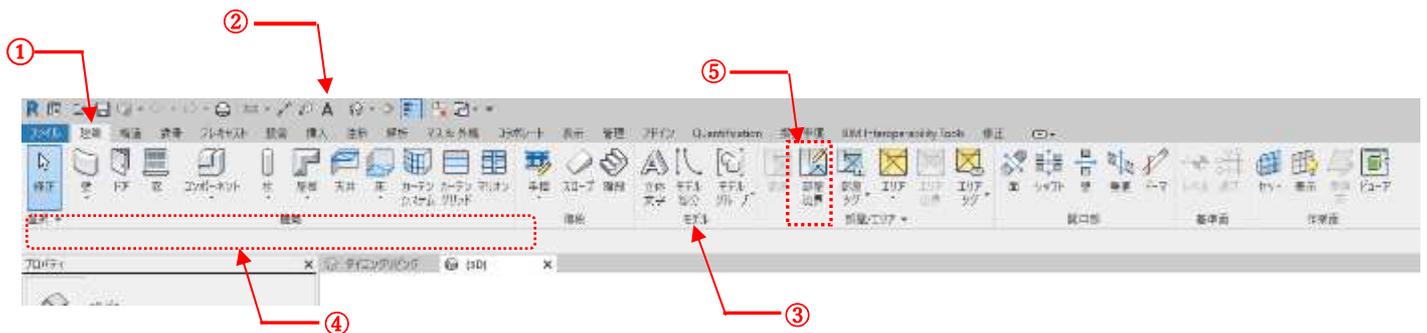
0. 画面と基本操作	2
0.1. ユーザーインターフェースの説明	2
0.2. マウスの操作方法	4
1. プロジェクトの開始.....	6
1.1. テンプレートファイルを使ったプロジェクトの新規作成	6
1.2. レベルの作成	7
1.3. 敷地のモデリング.....	8
1.4. 地形面の作図	10
1.5. 道路の作図	11
1.6. 位置と真北の設定.....	12
2. 建物のモデリング	15
2.1. 通芯の作成	15
2.2. 壁の作成	18
2.3. 屋根の作成	26
2.4. 床の作成	32
2.5. 天井の作成	38
2.6. 階段の作成	41
2.7. 建具（窓）の配置.....	45
2.8. 建具(ドア)の配置	52
2.9. 住宅設備・家具の配置.....	54
2.10. 部屋の作成	59
3. 図面の作成.....	61
3.1. 平面図の作成	61
3.2. 注釈(文字)の作図	66
3.3. 図面シートの作成.....	68
3.4. 立面図の作成	71
3.5. 断面図の作成	72
3.6. 配置図の作成	74
4. 構造部材の入力	76
4.1. 柱の作図	76
4.2. 梁の作図	79
5. プレゼンテーション資料の作成	82
5.1. パースビューの作成.....	82
5.2. マテリアル(素材)の設定.....	86
5.3. クラウドレンダリング (Autodesk 360 Rendering サービスを使ったレンダリング).....	91

0. 画面と基本操作

0.1. ユーザーインターフェースの説明

0.1.1.

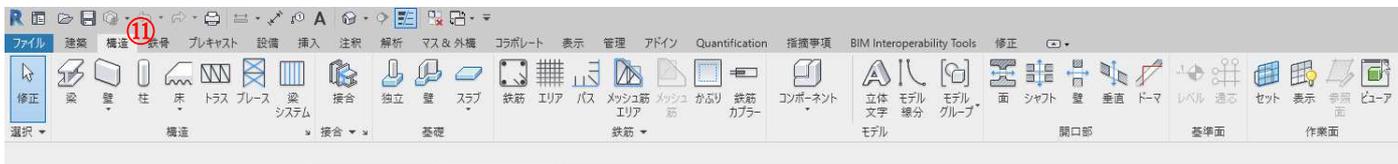
- ① タブ
- ② クイックアクセスツールバー
- ③ パネル
- ④ オプションバー
- ⑤ ツール
- ⑥ プロパティ
プロジェクトブラウザ
- ⑦ 作業ウィンドウ
- ⑧ ステータスバー
- ⑨ ビューコントロール



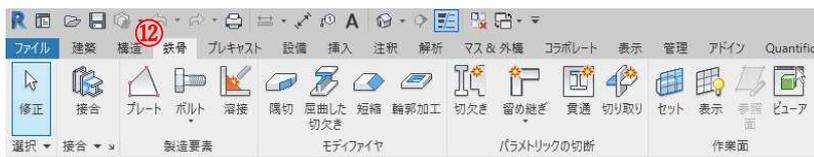
第三者へのトレーニングのため、このドキュメントを無断転載、複製、配布することは禁止されています

0.1.2. Autodesk Revit Full version に追加されるタブ

⑩ 構造タブ※RC造他構造設計作業に使用



⑪ 鉄骨タブ※S造設計時に使用



⑫ プレキャストタブ※PC版設計の際に使用



⑬ 設備タブ※設備設計作業に使用



⑭ 解析タブ※構造解析・建物性能解析時に使用



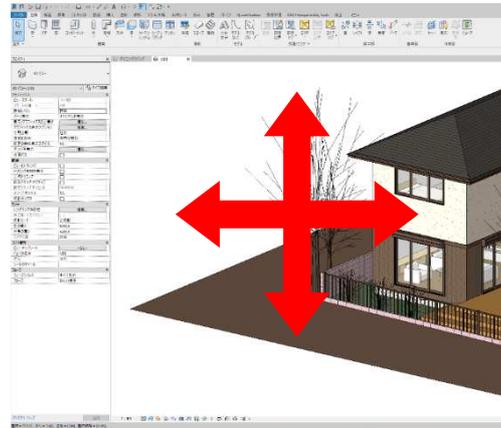
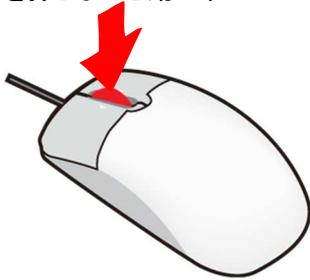
以上のように、Autodesk Revit と Autodesk Revit LT では作業範囲が大きく異なります。Autodesk Revit の場合、基本計画におけるマスボリュームによるスタディ作業から、建物解析、意匠設計・構造設計・設備設計全てに対応していますが、Autodesk Revit LT は意匠設計のみ特化して機能を限定しています。

(構造設計は一部対応可能)

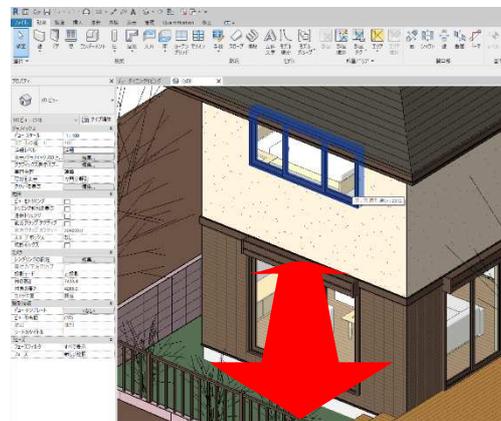
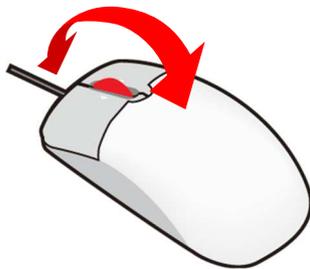
第三者へのトレーニングのため、このドキュメントを無断転載、複製、配布することは禁止されています

0.2. マウスの操作方法

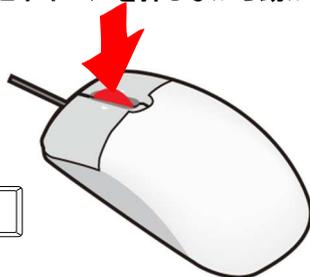
ホイールを押しながら動かす



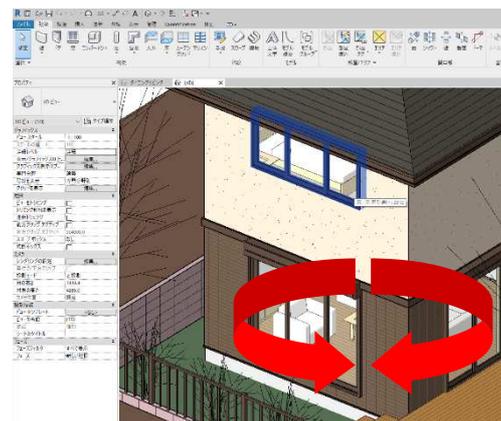
ホイールを回転させる



[Shift]キーとホイールを押しながら動かす

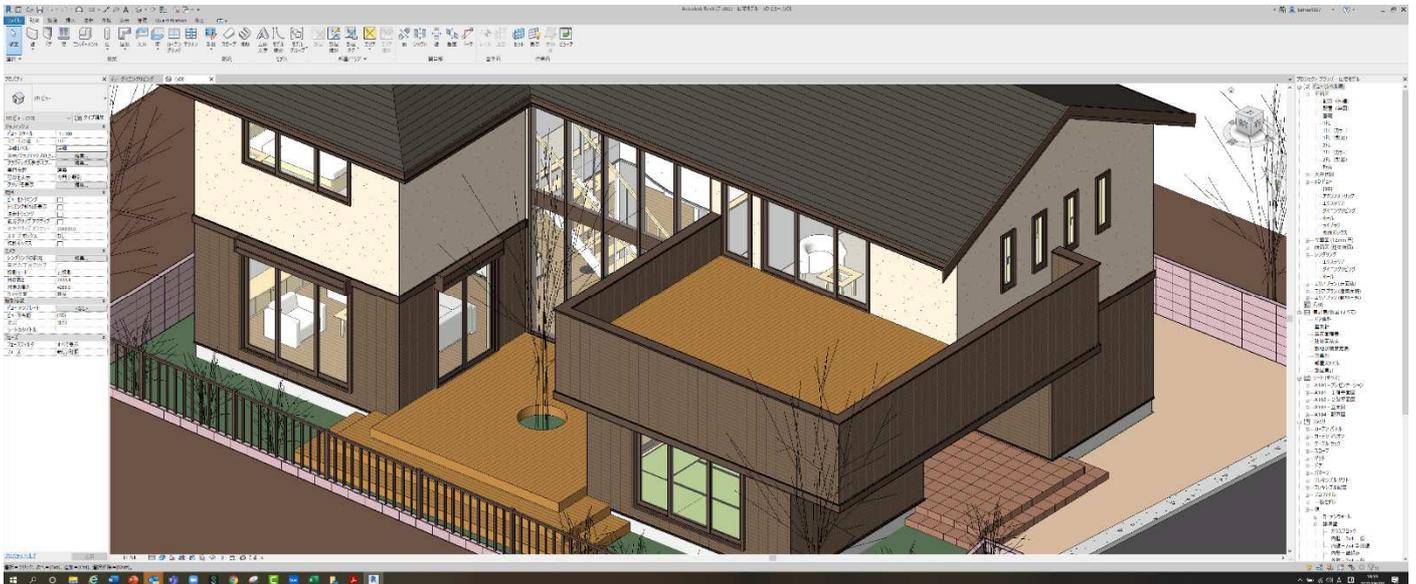
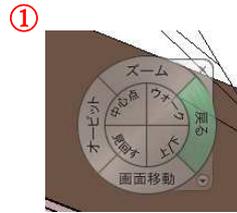


⇧ Shift



0.2.1. その他操作方法

- ① ステアリングホイール
 - ② ビューキューブ
- を利用して画面を操作することも可能です



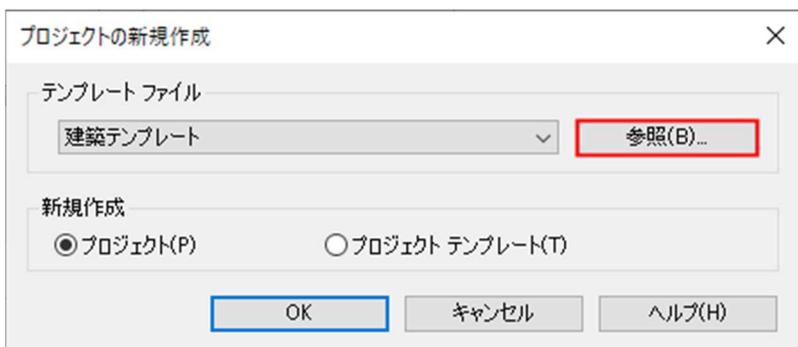
1. プロジェクトの開始

1.1. テンプレートファイルを使ったプロジェクトの新規作成

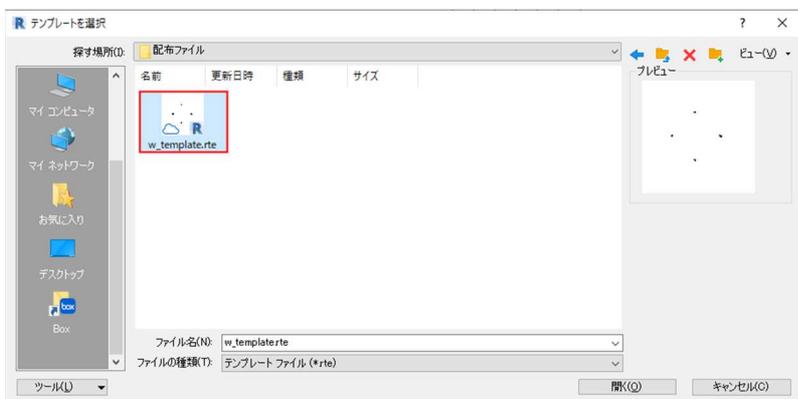
1.1.1. [プロジェクト]-[新規作成]をクリックする



1.1.2. [プロジェクトの新規作成]ダイアログで[参照]をクリックする



1.1.3. [テンプレートを選択]ダイアログで「配布ファイル」フォルダにある「w_template.rte」ファイルを選択し[開く]をクリックする

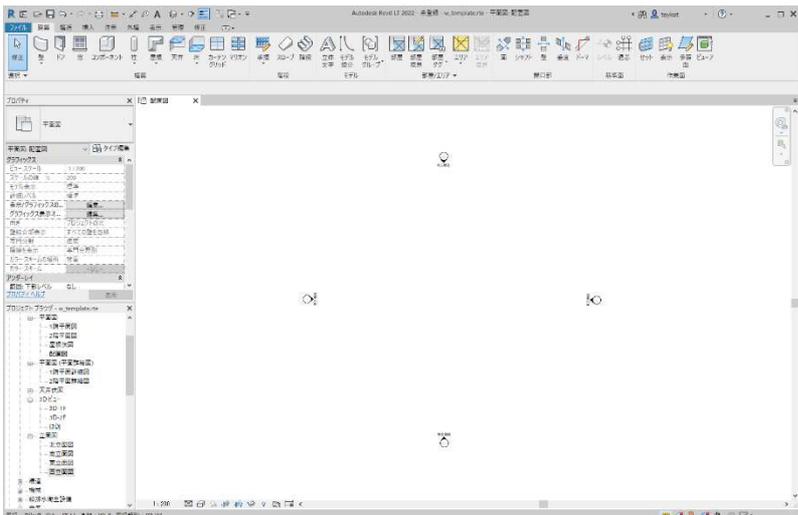


1.1.4. [プロジェクトの新規作成]ダイアログで「w_template.rte」が選択されていることを確認し [OK] をクリックする



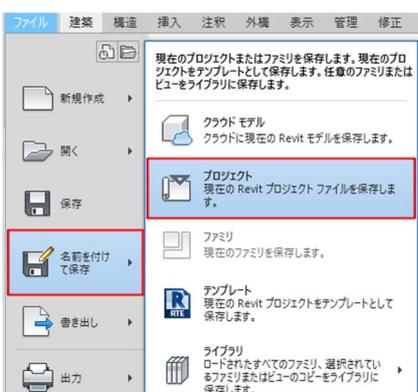
第三者へのトレーニングのため、このドキュメントを無断転載、複製、配布することは禁止されています

1.1.5. 新しいプロジェクトが作成されます



1.1.6. [名前を付けて保存]-[プロジェクト]

を選択
 任意の場所に名前を付けてファイルを保存する



1.2. レベルの作成

1.2.1. 立面図ビューに切り替える

プロジェクトブラウザで[建築/立面図/北立面図]ビューをダブルクリックし切り替える



1.2.2. 階高を修正 (確認) する

それぞれのレベルラインをクリックし、プロパティパレット[高さ]、もしくは図面上に表示される仮寸法にて数値を確認、修正する

(テンプレートでは GL=±0、1FL を GL+600、1FL~2FL を 2,800 としています)

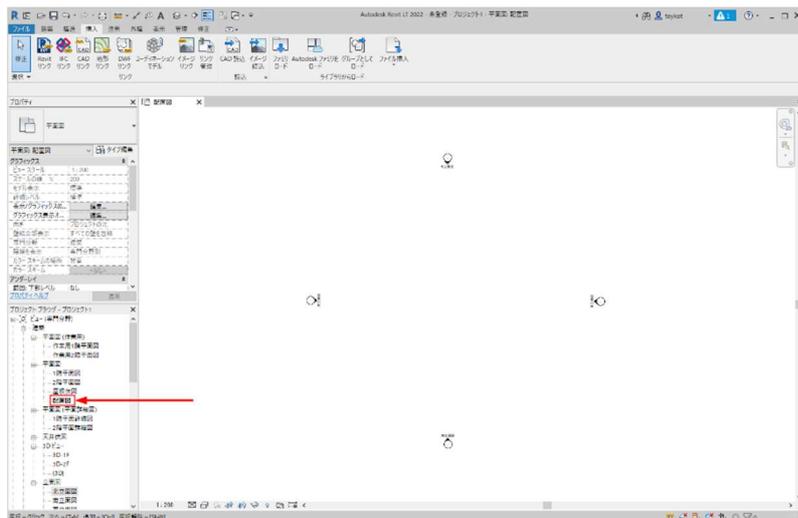


第三者へのトレーニングのため、このドキュメントを無断転載、複製、配布することは禁止されています

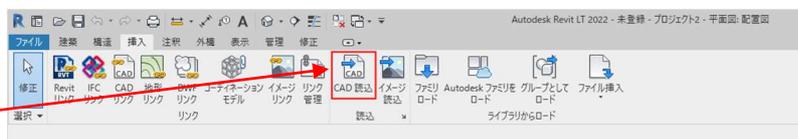
1.3. 敷地のモデリング

1.3.1. 敷地 CAD データの挿入

プロジェクトブラウザ[**建築/平面図**
/**配置図**]ビューに切り替える

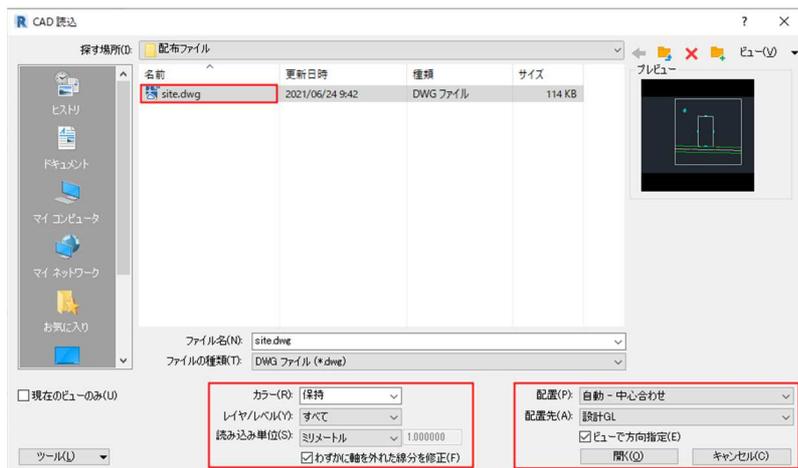


1.3.2. [挿入]タブ-[読込]パネル-[CAD 読込]をクリックする

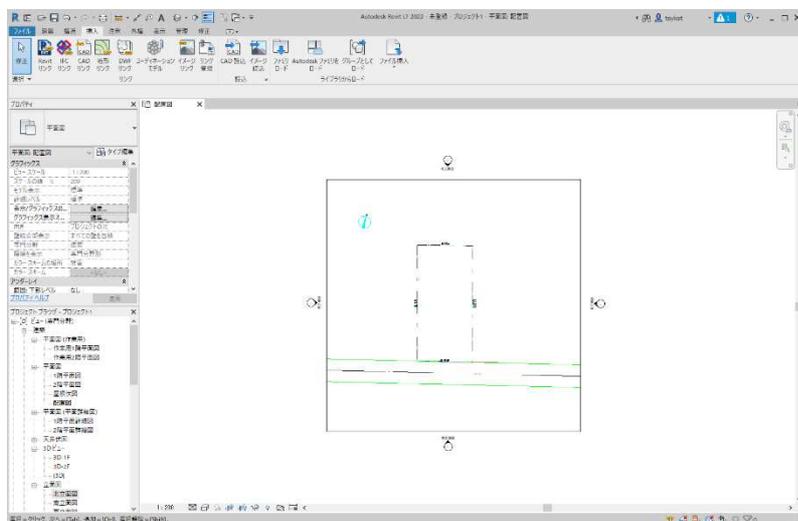


1.3.3. [CAD 読込]ダイアログで、配布ファイルにある[site.dwg]を選択し、[開く]をクリックする

- カラー：保持
- レイヤ/レベル：すべて
- 読み込み単位：ミリメートル
- 配置：自動 - 中心合わせ
- 配置先：設計 GL
- ビューで方向指定にチェック



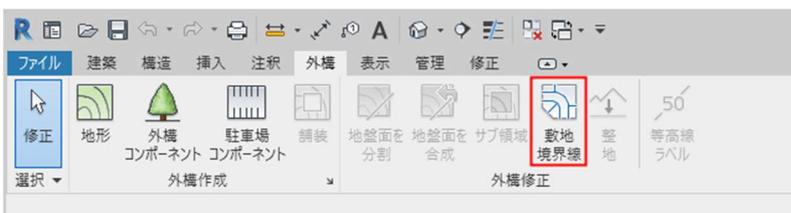
1.3.4. 敷地 CAD データが挿入されるのでビューの中央辺りでクリックして配置する



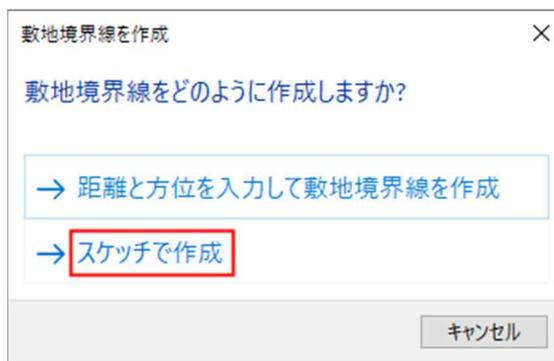
第三者へのトレーニングのため、このドキュメントを無断転載、複製、配布することは禁止されています

1.3.5. 敷地境界線の作図

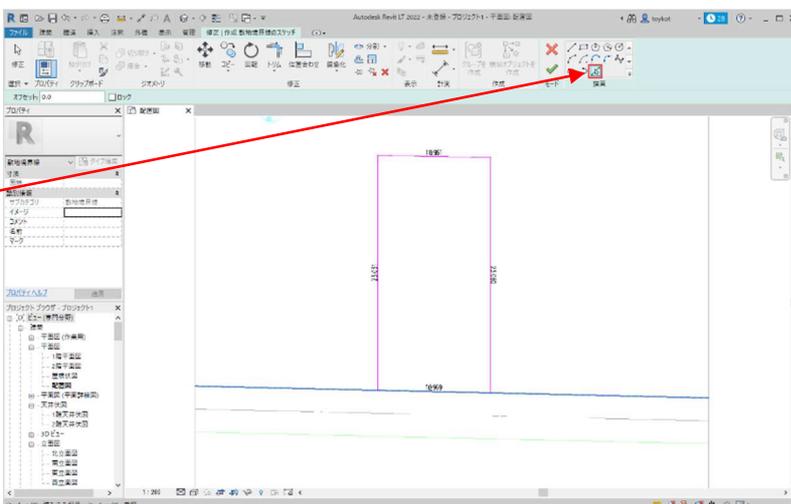
[外構]タブ-[外構修正]パネル-[敷地境界線]をクリックする
(レギュラー版では[マス&外構]タブ)



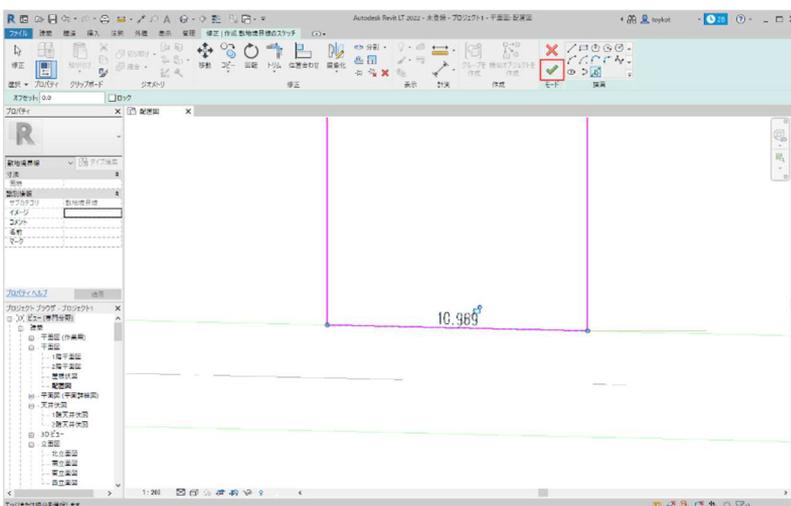
1.3.6. [敷地境界線を作成]ダイアログ[スケッチで作成]をクリックする



1.3.7. [描画]パネル-[選択]をクリックし、読み込んだCAD図の敷地ラインを選択する



1.3.8. 線が重なっているところは、線の上にカーソルを合わせ「Tab」キーを押すと前面/背面の選択を切り替えることができる (循環選択)

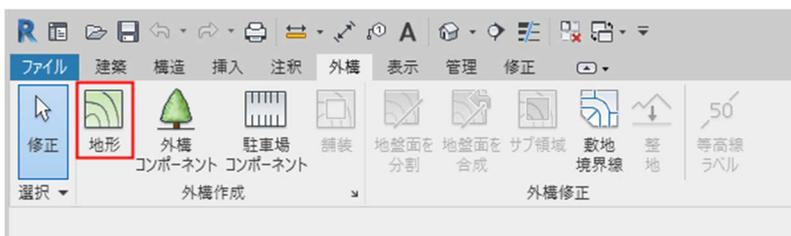


1.3.9. [モード]パネル-[編集モードを終了]をクリックすると敷地境界線が作成される

第三者へのトレーニングのため、このドキュメントを無断転載、複製、配布することは禁止されています

1.4. 地形面の作成

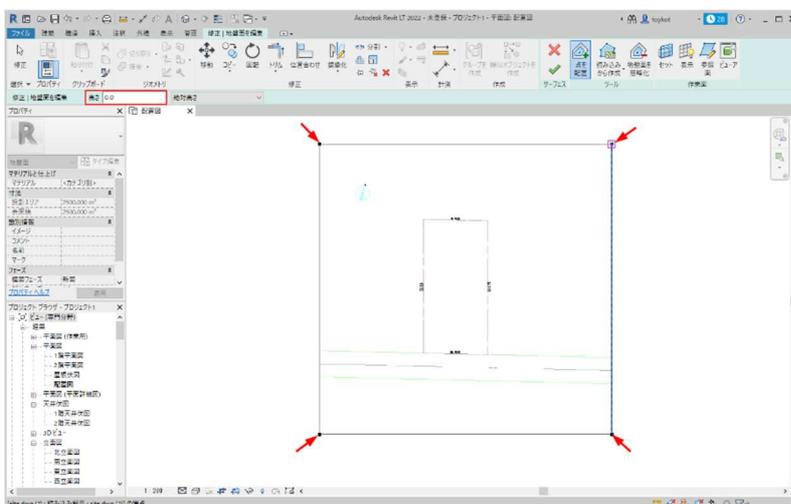
1.4.1. [外構]タブ-[外構作成]パネル-[地形]をクリックする



1.4.2. [修正]タブ-[ツール]パネル-[点を配置]をクリックする



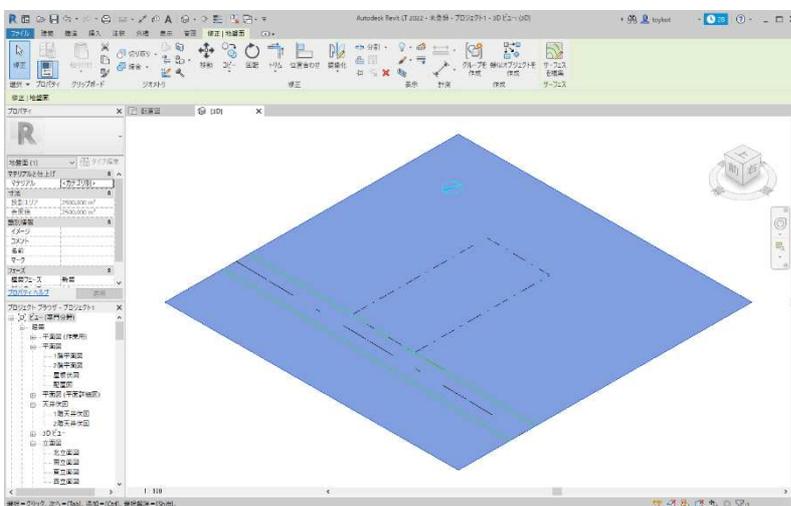
1.4.3. オプションバーで高さを設定し、点を配置する



1.4.4. 設定が終わったら[修正]タブ-[サーフェス]パネル-[終了]をクリックする



1.4.5. 地盤面が作成されました



第三者へのトレーニングのため、このドキュメントを無断転載、複製、配布することは禁止されています

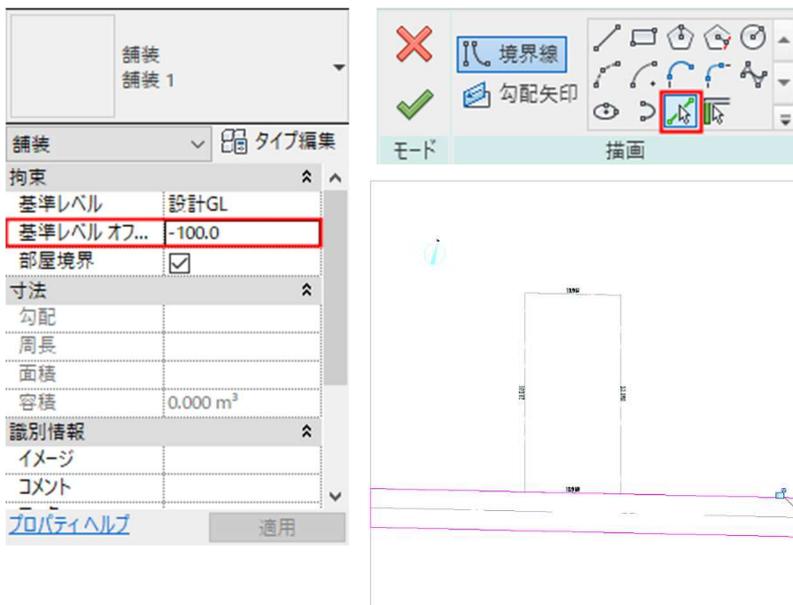
1.5. 道路の作図

1.5.1. プロジェクトブラウザ[建築/平面図/配置図]ビューに切り替える

1.5.2. [外構]タブ-[外構作成]パネル-[舗装]を選択



1.5.3. プロパティパレットから「舗装 1」を選択し、「基準レベルオフセット」を「-100」に設定

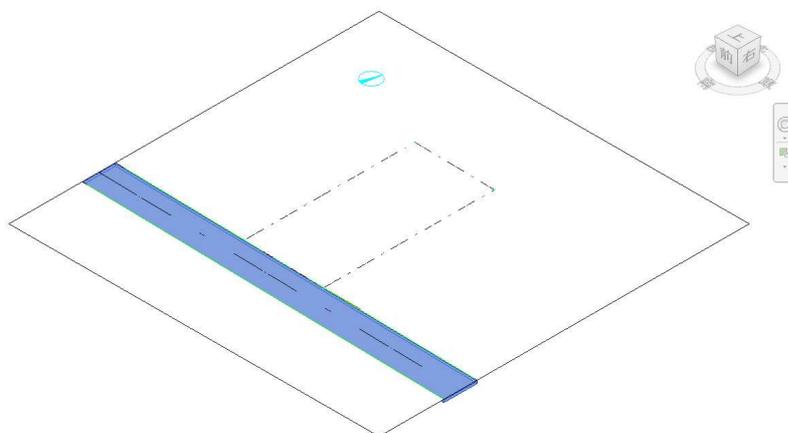


1.5.4. [描画]パネル-[選択]で敷地 CAD データの道路ラインを選択

1.5.5. [モード]パネル-[編集モードを終了]をクリック



1.5.6. 道路が作成される



1.6. 位置と真北の設定

1.6.1. 建設位置を指定する

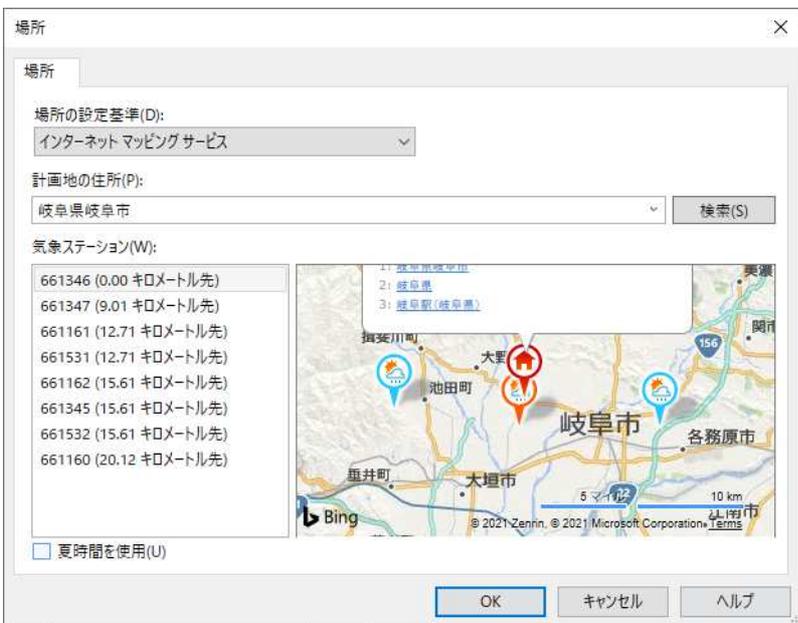
[管理]タブ-[プロジェクトの位置]パネル-[場所]をクリック



1.6.2. 「場所」ダイアログが表示される

[場所]タブ-[場所の設定基準]を「インターネットマッピングサービス」とし「計画地の住所」を「岐阜県岐阜市」に設定し「検索」ボタンをクリック

OK ボタンをクリック

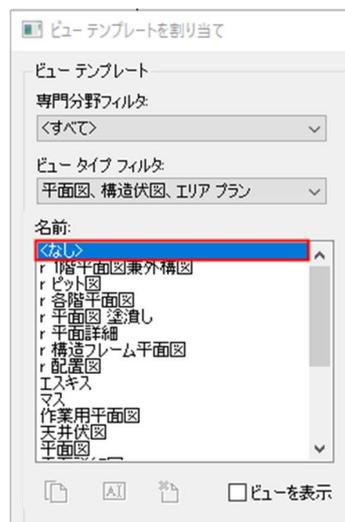
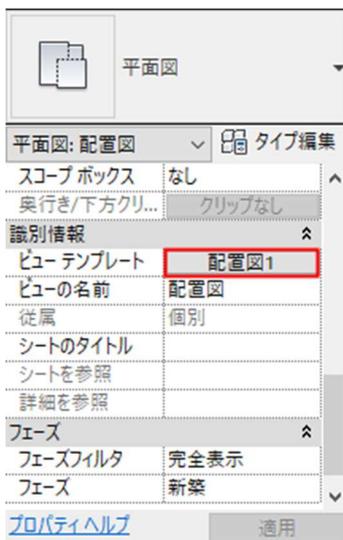


1.6.3. 方位の設定

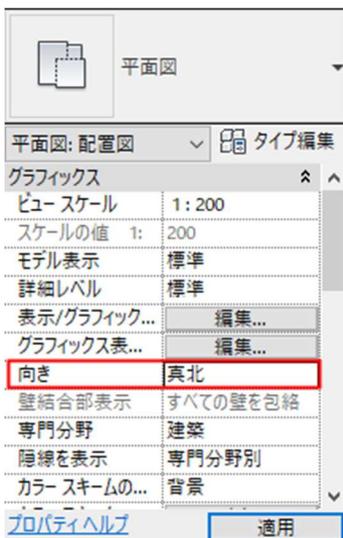
プロパティパレットの「識別情報/ビューテンプレート/配置図 1」をクリック

「ビューテンプレートを割り当て」ダイアログで「ビューテンプレート/名前: 配置図 1」を「なし」に変更

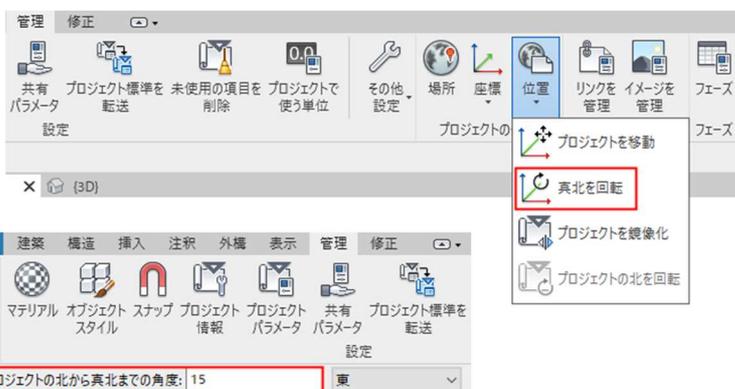
OK ボタンをクリック



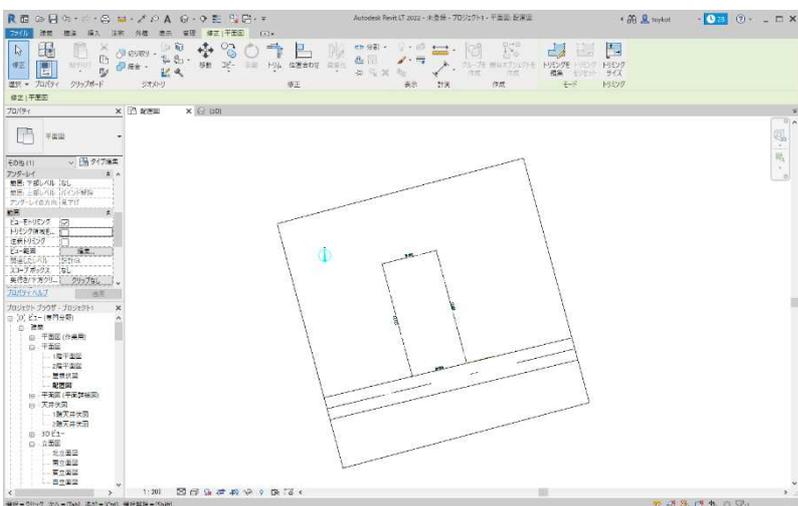
1.6.4. プロパティパレットの「グラフィックス/向き」を「真北」に変更



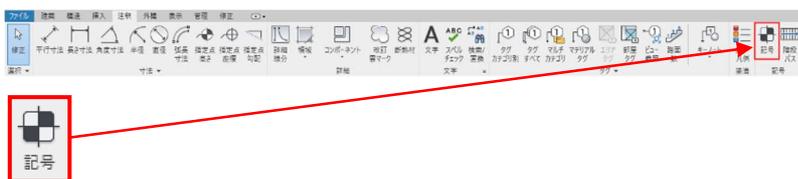
1.6.5. [管理]タブ-[プロジェクトの位置]パネル-[位置/真北を回転]を選択
オプションバー「プロジェクトから真北までの角度」に「15度」に設定し Enter



右図のように表示されます

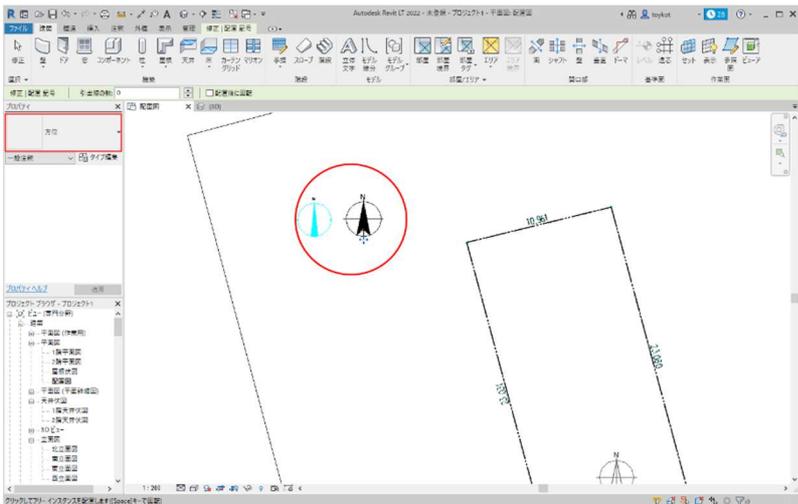


1.6.6. [注釈]タブ-[記号]パネル-[記号]を選択

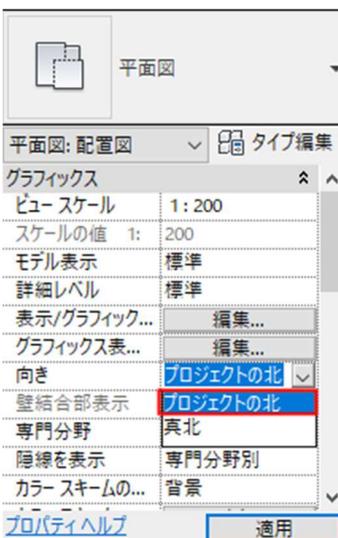


第三者へのトレーニングのため、このドキュメントを無断転載、複写、配布することは禁止されています

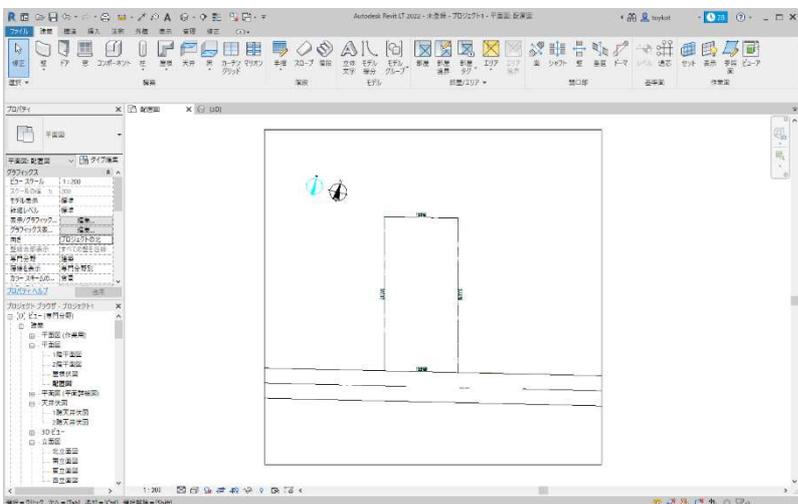
1.6.7. プロパティパレット「方位」タイプを選択し、任意の位置に配置する



1.6.8. [建築]タブ-[選択]パネル-[修正]を選択し、プロパティパレット「グラフィックス/向き」を「プロジェクトの北」に変更



1.6.9. 右図のように表示されます



第三者へのトレーニングのため、このドキュメントを無断転載、複製、配布することは禁止されています

2. 建物のモデリング

2.1. 通芯の作成

2.1.1. X方向の通芯の作図

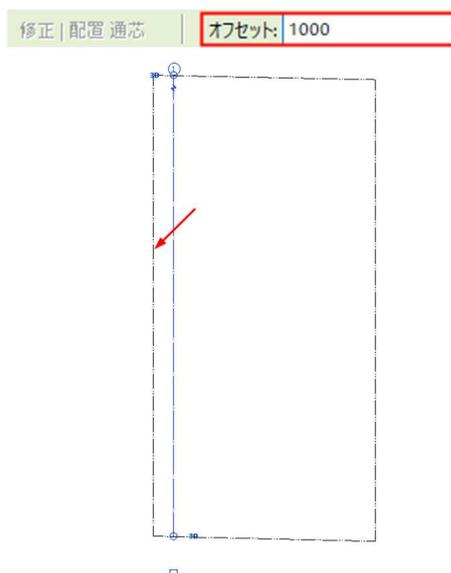
プロジェクトブラウザ[**建築/平面図**
/1階平面図]をダブルクリックしビ
ューを切り替える

2.1.2. [建築]タブ-[基準面]パネル-[通芯] をクリックする

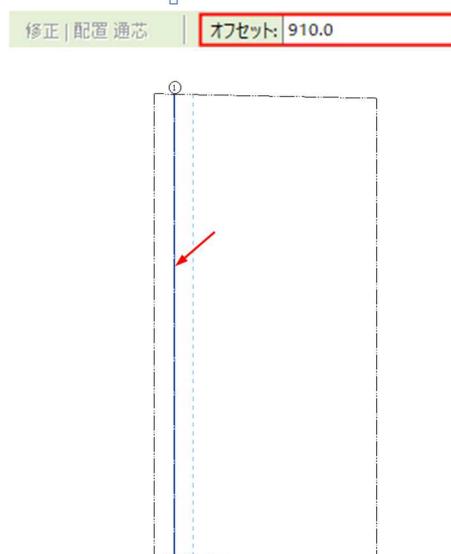


2.1.3. Y方向の通芯を作図します

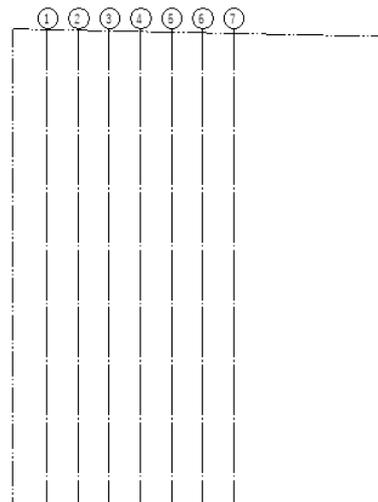
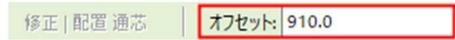
[**描画**]パネル-[**選択**]をクリック
「**オフセット**」に「**1000**」と入力して
から、西側の敷地境界線を右側から
クリックする



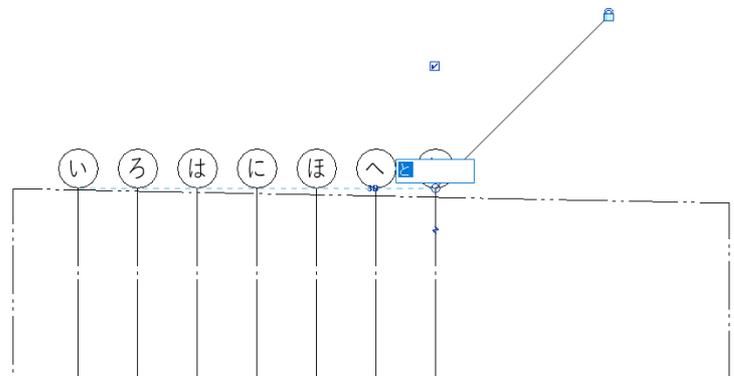
2.1.4. [オフセット] に 910 と入力し、 作成した通芯「1」を右側からクリッ クする 「1」から右に 910 の位置に通芯が複 写される



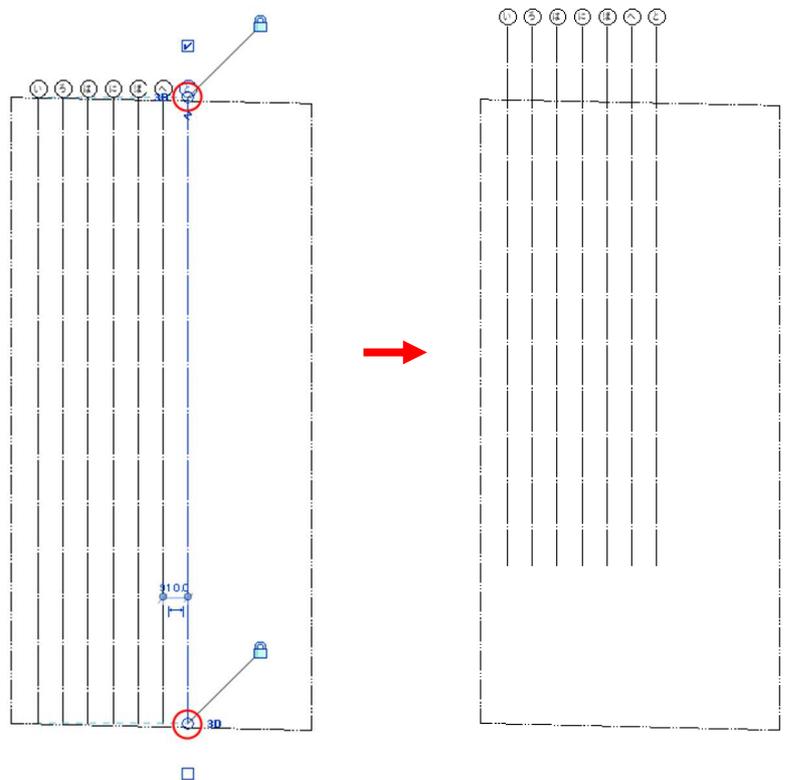
2.1.5. 続けて [オフセット] に 910 と入力したまま右に通芯を 5 本複写する



2.1.6. [選択] パネル-[修正] をクリックし、複写された通芯記号をダブルクリック
「①～⑦」をそれぞれ「い～と」の順に修正する

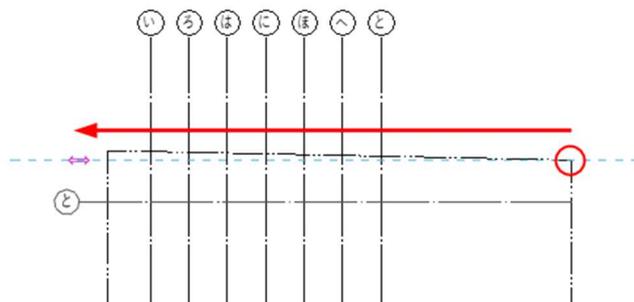
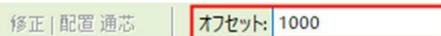


2.1.7. 通芯記号の上下のマーカーをドラックし通り芯の長さを調整する

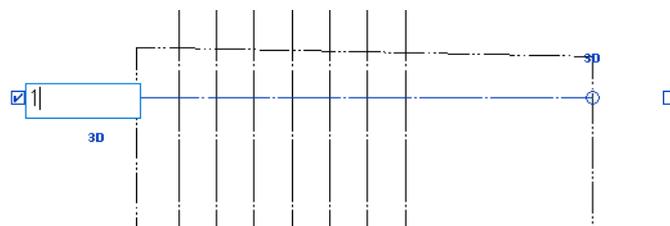


2.1.8. Y方向の通芯の作図

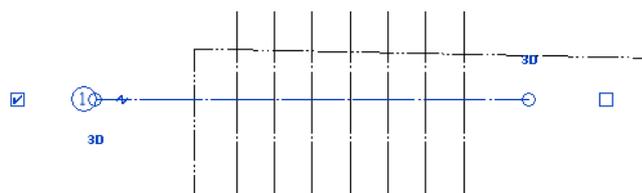
[描画]パネル-[線]を選択し[オフセット]を「1000」として敷地境界線北東の角から西にドラックして線を引く
北東角から南に1000の位置に通芯が作成されます



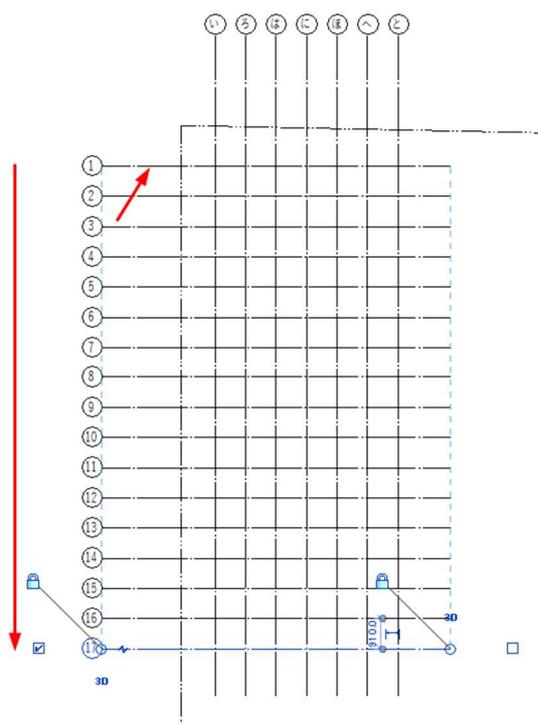
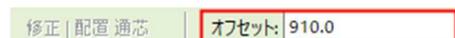
2.1.9. 通芯記号を①に変更する



2.1.10. 通芯の長さを調整する



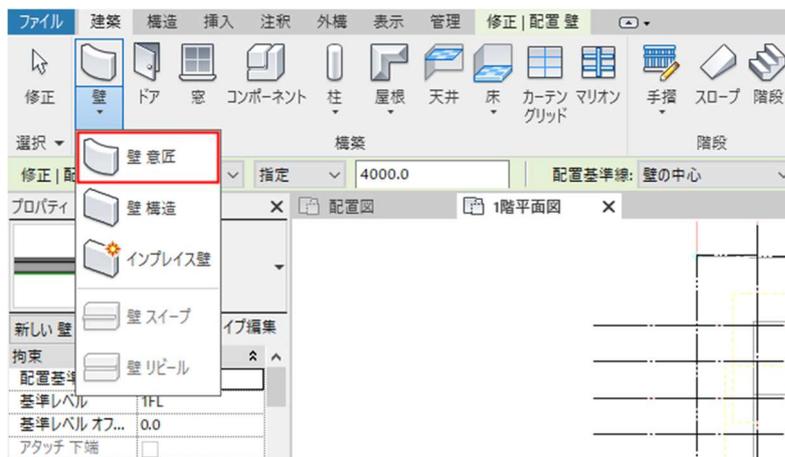
2.1.11. X方向の通芯作図を参考にY方向の通芯を [オフセット] 910/必要数複製して作図する
(②~⑰まで連番で作成される)



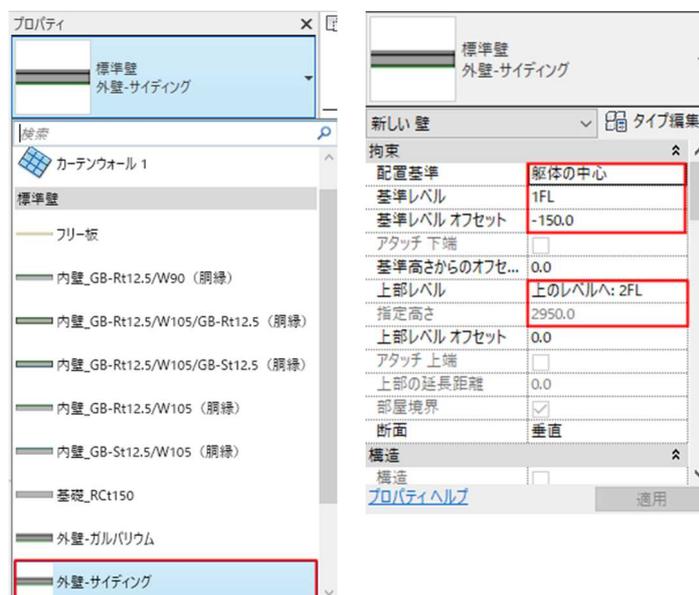
2.2. 壁の作成

2.2.1. 1階の壁を作図する

プロジェクトブラウザ[建築/平面図/1階平面図]ビューのまま
[建築]タブ-[構築]パネル-[壁]をドロップダウンし「壁 意匠」を選択

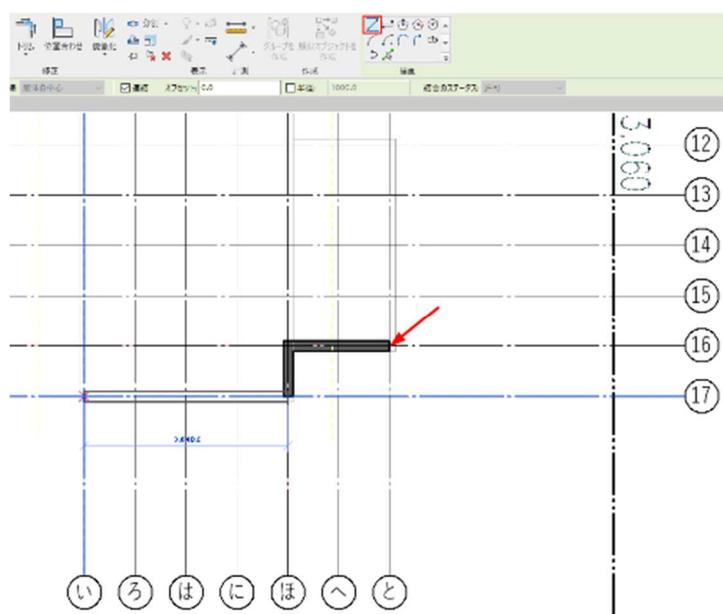


2.2.2. プロパティパレットのタイプから「標準壁/外壁_サイディング」を選択



2.2.3. 「配置基準：躯体の中心」「基準レベル：1FL」「基準レベルオフセット：-150」「上部レベル：2FL」とする

2.2.4. [描画]パネル-[線]をクリックし、「と通芯」と「16通芯」の交点から、「ほ通芯」と「12通芯」まで、時計回りに壁を作図(作図終わりはEscキー)



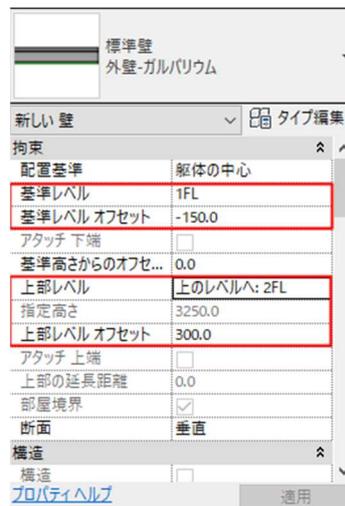
右図のように作成されます



2.2.5. 「標準壁/外壁-ガルバリウム」タイプ

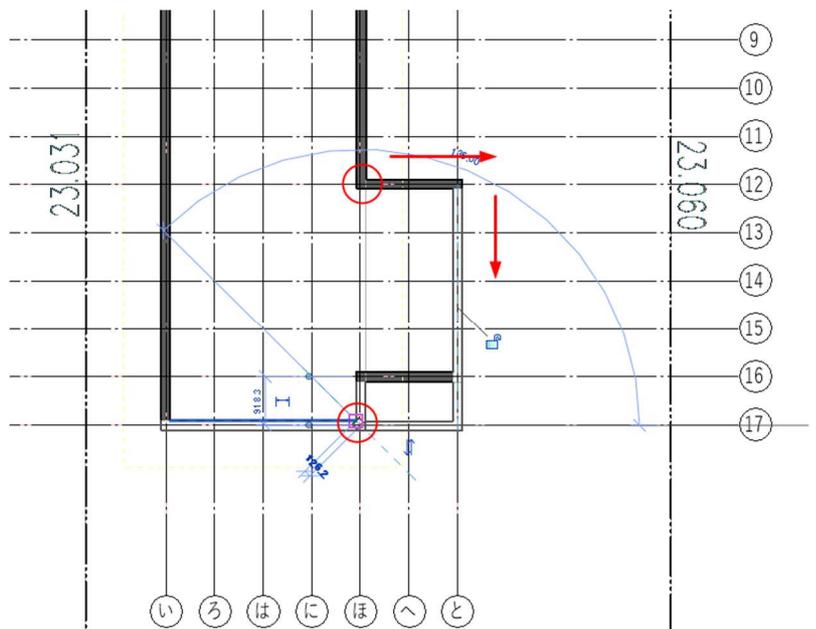
を選択します

「配置基準：躯体の中心」「基準レベル：1FL」「基準レベルオフセット：-150」「上部レベル：2FL」とし、天端はパラペット納まりとするため、「上部レベルからのオフセット」は「300」と入力します



2.2.6. 時計回りで「ほ通芯」と「12 通芯」の

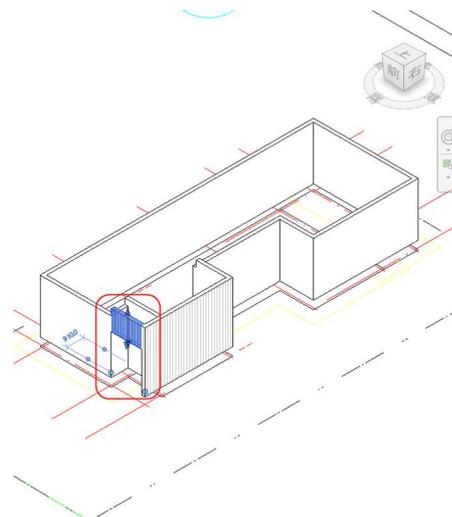
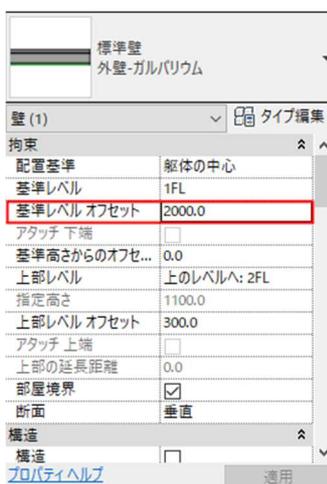
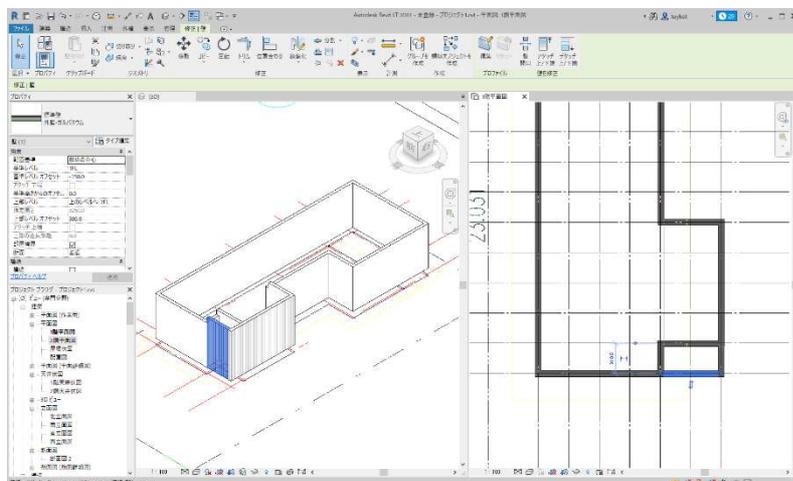
交点から、「ほ通芯」と「17 通芯」の交点まで壁を入力をします



2.2.7. ツールバーの「既定の 3D ビュー」をクリックし形状を確認する

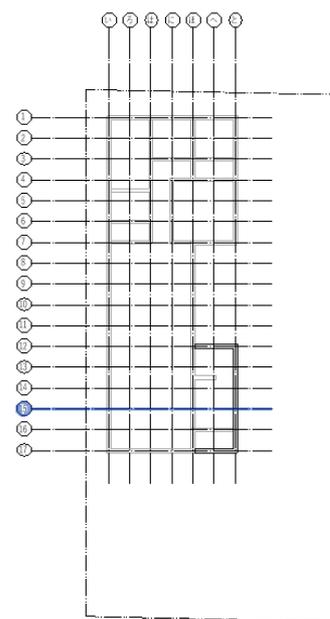
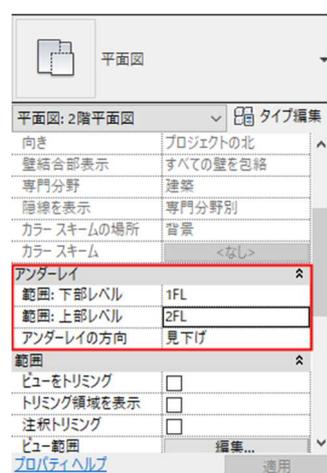


2.2.8. 「ほ通芯」と「17 通芯」の交点にある垂れ壁の形状を変更します
「平面図/意匠図/1FL」ビューまたは 3D ビューから該当の壁を選択し、「基準レベルオフセット」を「2000」に変更する



2.2.9. 2 階の壁を作図する

プロジェクトブラウザ[建築/平面図/2 階平面図]ビューに切り替える
プロパティパレットにある「アンダーレイ」の「範囲：下部レベル」は「1FL」に、「範囲：上部レベル」は「2FL」に、「アンダーレイの方向」は「見下げ」に設定する
「2 階平面図」ビューに、1 階の外壁がグレー表示されます

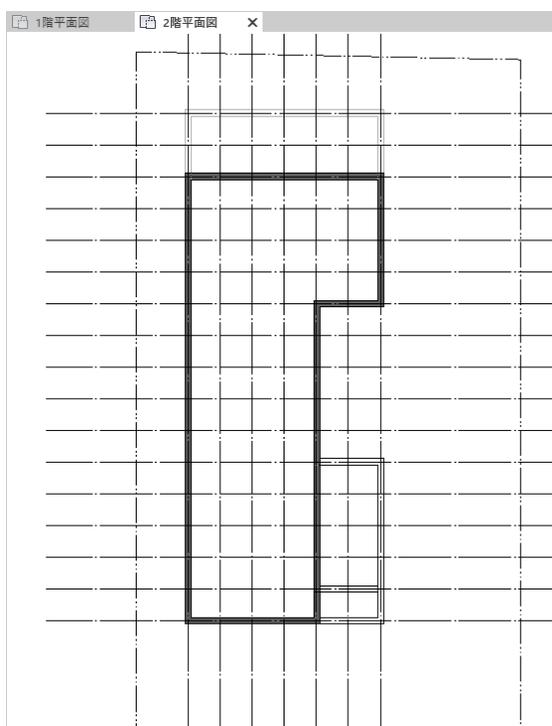


2.2.10. [建築]タブ-[構築]パネル-[壁]をドロップダウンし「壁 意匠」を選択

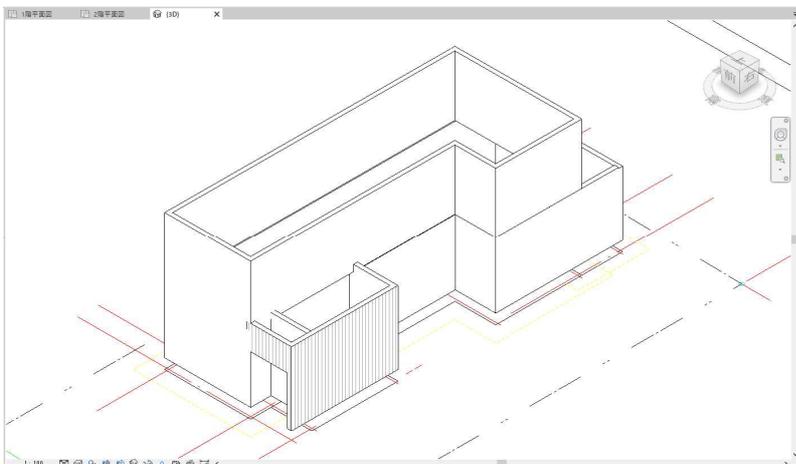
2.2.11. プロパティパレットのタイプから「標準壁 外壁-サイディング」を選択

2.2.12. 「配置基準：躯体の中心」、「基準レベル：2FL」、「基準レベルオフセット：0.0」、「上部レベル：軒高」とする

時計回りに壁を作図

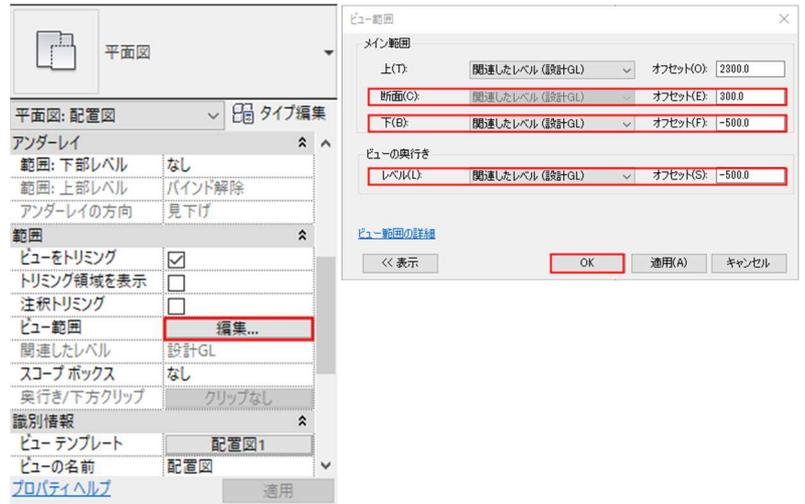


2.2.13. ツールバーから「既定の3Dビュー」をクリック、形状を確認します

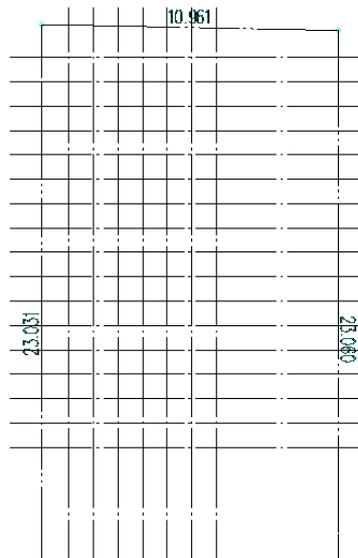


2.2.14. 基礎立ち上がりを作図する

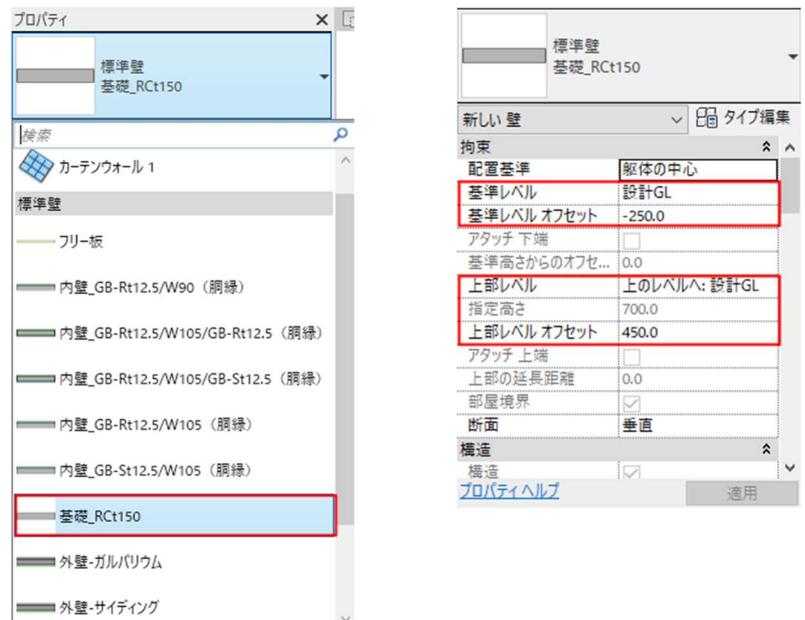
プロジェクトブラウザ[建築/平面図/配置図]ビューを選択します
 プロパティパレットの「ビュー範囲」で「編集」をクリック
 ビュー範囲ダイアログ「メイン範囲」の「断面」のオフセットを「300」、
 「下」のオフセットを「-500」、
 「ビューの奥行き」の「レベル」のオフセットを「-500」と入力して「OK」をクリック



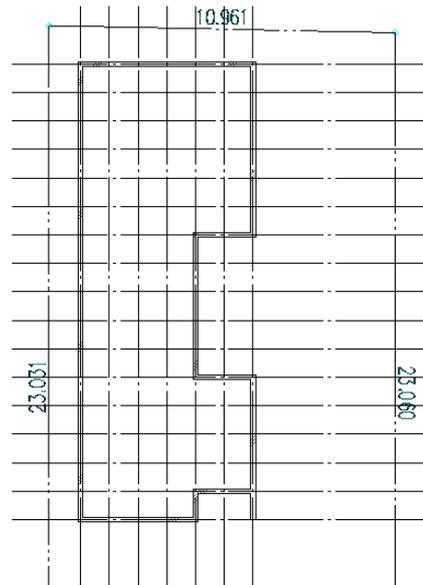
先程まで表示されていた壁モデルが非表示になることを確認



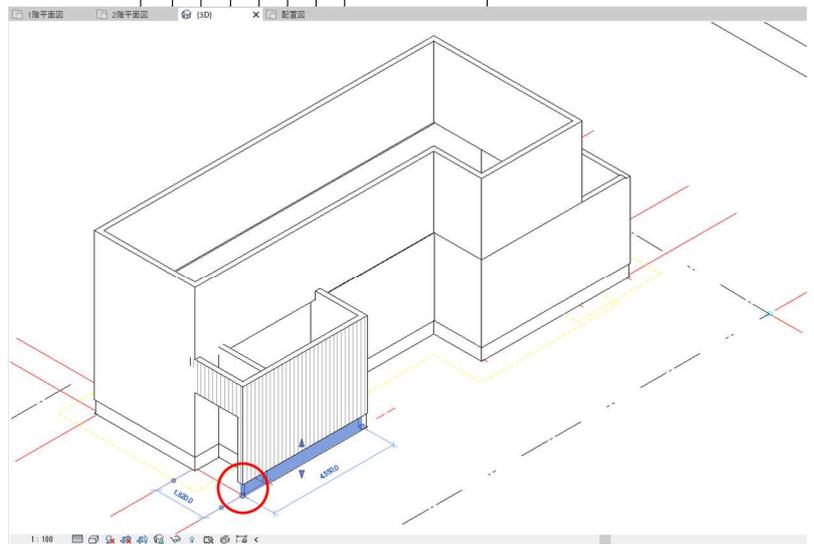
2.2.15. [建築]タブ-[構築]パネル-[壁]をドロップダウンし「壁 意匠」を選択
 プロパティパレットのタイプから「標準壁 標準-150mm」を選択
 「配置基準：躯体の中心」、「基準レベル：設計GL」、「基準レベルオフセット：-250」、「上部レベル：設計GL」、「上部レベルオフセット：450(1FL-150)」とする



2.2.16. 外周周りの布基礎を時計回りに入力する



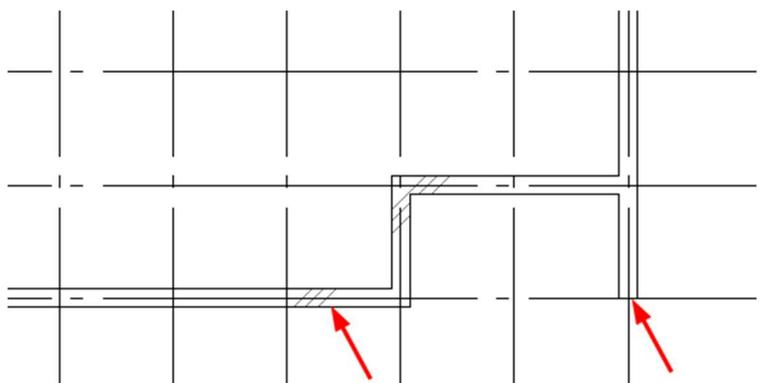
2.2.17. 図に示した基礎の先端位置を調整する



[建築/平面図/配置図]ビューに移動
[修正]タブ-[修正]パネル-[位置合わせ]を選択



基準となる「17 通芯外壁の南側面」を選択、続けて基礎の先端を選択 (対象の線を選択できないときは「Tab」キーを押すことで選択する線を切り替えることができる)

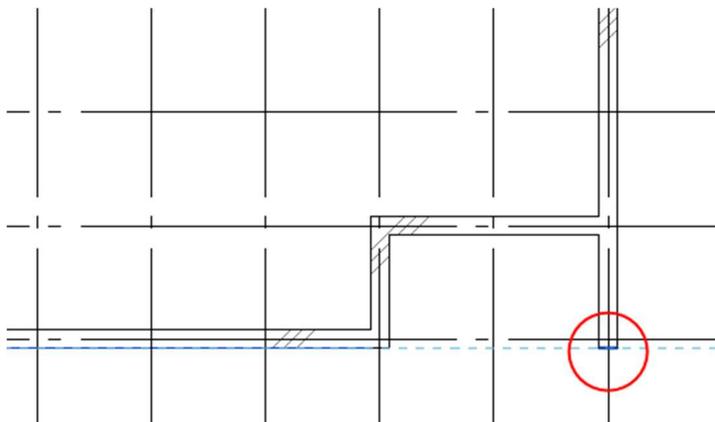


①

②

第三者へのトレーニングのため、このドキュメントを無断転載、複製、配布することは禁止されています

2.2.18. 基礎端部が「17 通芯」外壁の南側面
まで延長されたことを確認



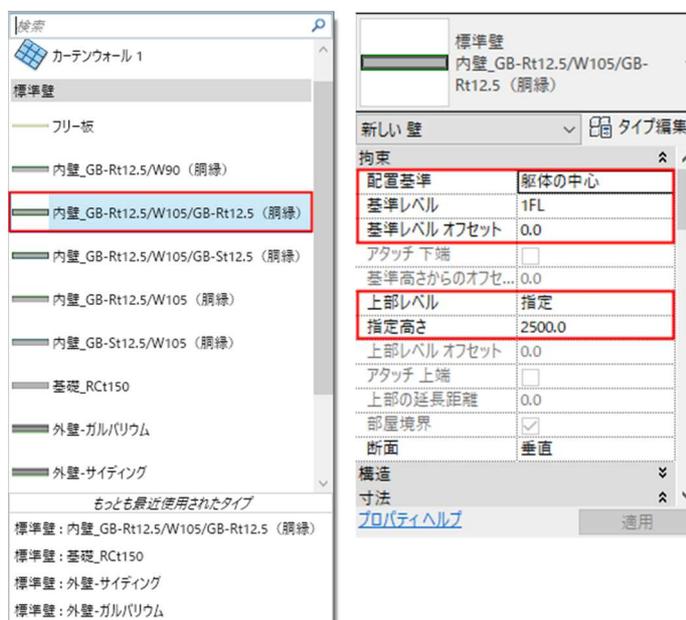
2.2.19. 内部間仕切り壁を作図する

プロジェクトブラウザ[建築/平面図
/ 1 階平面図]ビューに切り替える

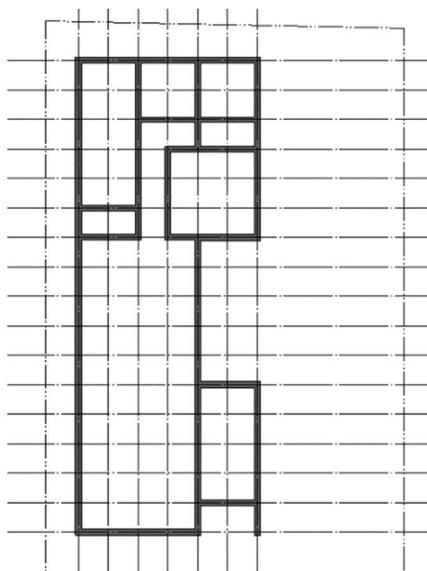
[建築]タブ-[構築]パネル-[壁]をド
ロップダウンし「壁 意匠」を選択

2.2.20. プロパティパレットのタイプから
「標準壁 内壁_GB-
Rt12.5/W105/GB-Rt12.5」を選択

「配置基準」は「躯体の中心」、「基準
レベル」は「1 FL」、「基準レベルオ
フセット」は「0.0」、
「上部レベル」は「指定」、「指定高さ」
は「2500」とする(オプションバーで
の設定も可能)



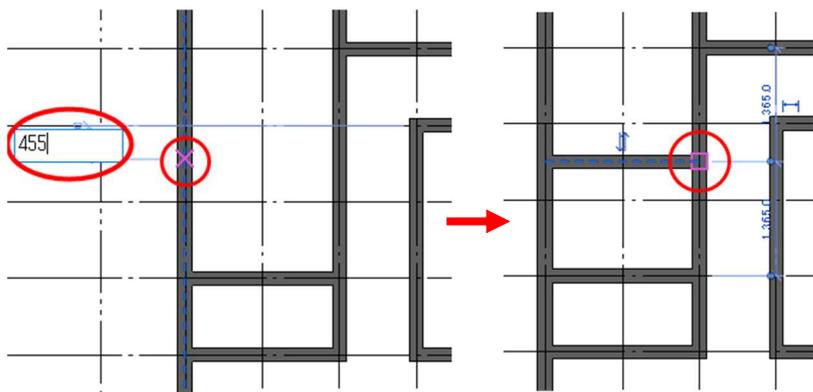
2.2.21. 通芯上にある内壁を作図します



2.2.22. 通芯上にない壁を作図する

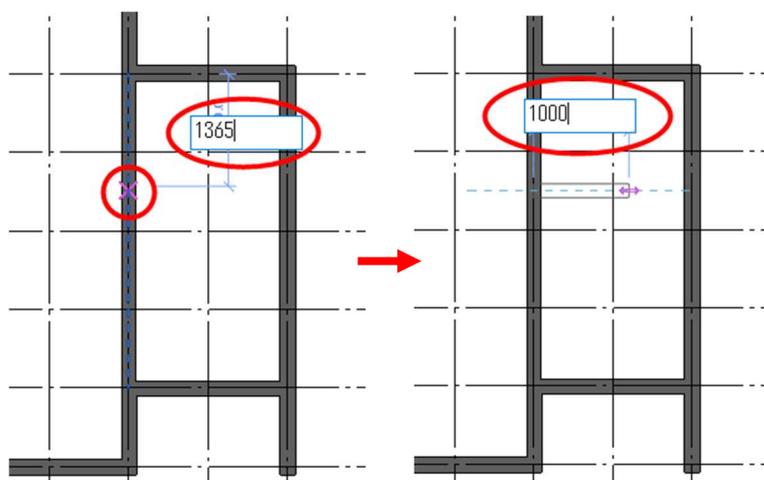
壁作図始点付近にカーソルを移動させると青色の仮寸法が表示されます。キーボードで数字を「455」と入力することで始点を設定することができる(キーボードが半角英数字入力になっていることを確認)

また、壁の連結から離れたい時や始点をやり直したい時は Esc キーをクリック



2.2.23. 同様に右図の位置に袖壁を作図します

仮寸法に「1365」と入力し Enter 壁の長さも、仮寸法に「1000」と入力し作成

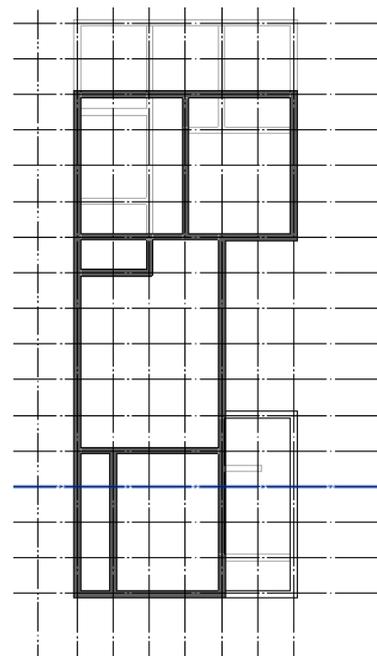
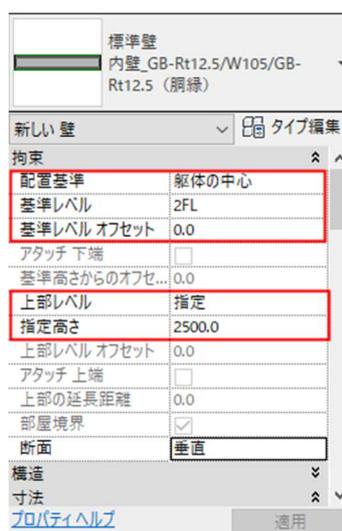


2.2.24. 2階の内壁を作図する

プロジェクトブラウザ[建築/平面図 / 2階平面図]ビューを選択

プロパティパレットのタイプから「標準壁 内壁_GB-Rt12.5/W105/GB-Rt12.5」を選択
「配置基準」は「躯体の中心」、「基準レベル」は「2FL」、「基準レベルオフセット」は「0.0」、
「上部レベル」は「指定」、「指定高さ」は「2500」とする(オプションバーでの設定も可能)

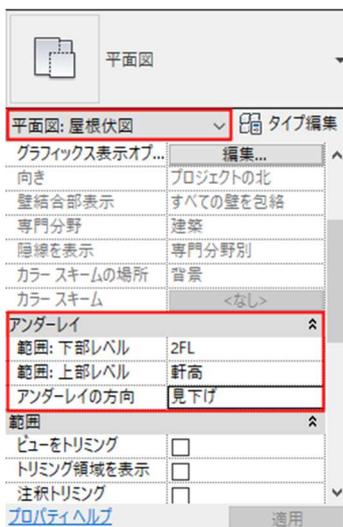
右図のように内壁を入力する



2.3. 屋根の作成

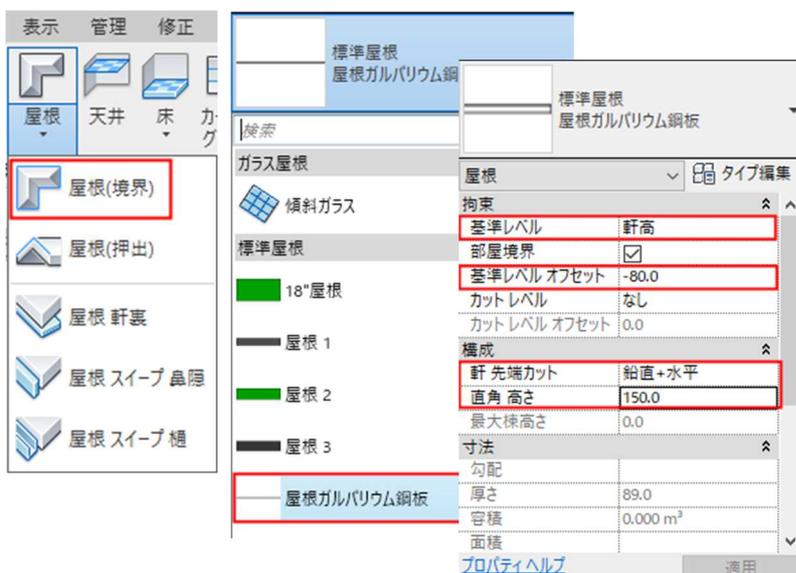
2.3.1. 勾配屋根を作図する

プロジェクトブラウザ[**建築/平面図/屋根伏図**]ビューに切り替える
 プロパティパレットにある「**アンダーレイ**」の「**範囲：下部レベル**」は「**2FL**」、「**範囲：上部レベル**」は「**軒高**」、「**アンダーレイの方向**」は「**見下げ**」に設定

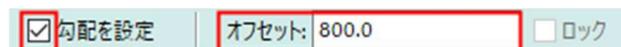


2.3.2. [建築]タブ-[構築]パネル-[屋根]をドロップダウンし「**屋根(境界)**」を選択

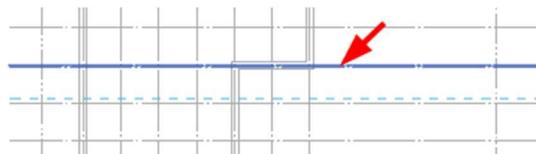
2.3.3. プロパティパレットから「**標準屋根ガルバリウム**」を選択
 「**基準レベル**」は「**軒高さ**」、「**基準レベル オフセット**」は「**-80**」、「**軒先端カット**」は「**鉛直+水平**」
 「**直角高さ**」は「**150**」に設定



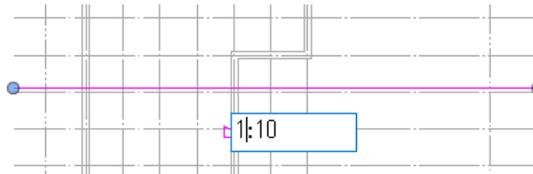
2.3.4. 北側に軒先ラインを作図します
 [修正]タブ-[描画]パネル-[選択]を選択し、「**勾配を設定**」にチェックを入れ、
 オプションバーの「**オフセット**」は「**800**」に設定



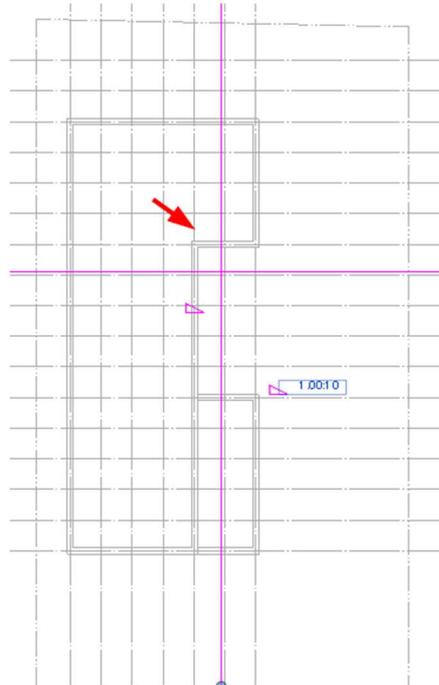
水下側の「**7 通芯**」を選択して、屋根の軒先を作図



2.3.5. 勾配マークをクリックし、勾配を「1 : 10」に設定



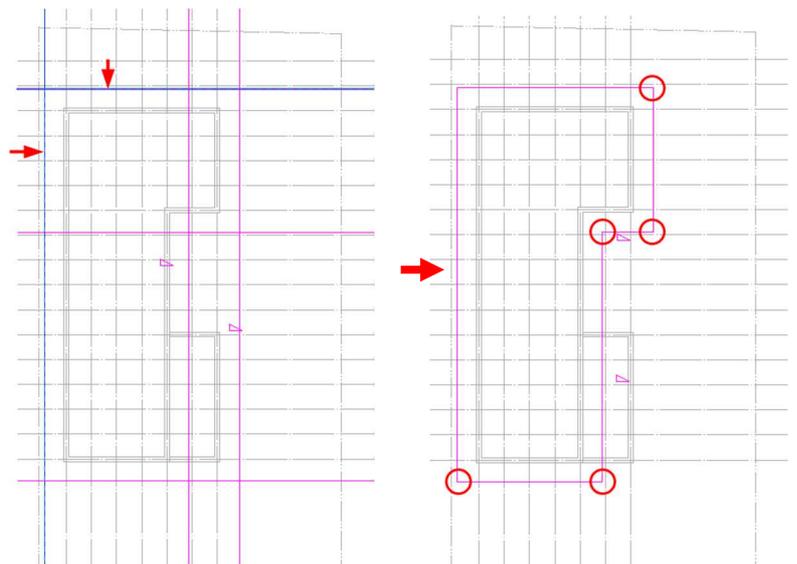
2.3.6. 同様に「ほ通芯」を選択して、屋根の軒先を作図



2.3.7. 同様にケラバと軒先のラインも作図 (オプションバーの「勾配を設定」のチェックを外す)

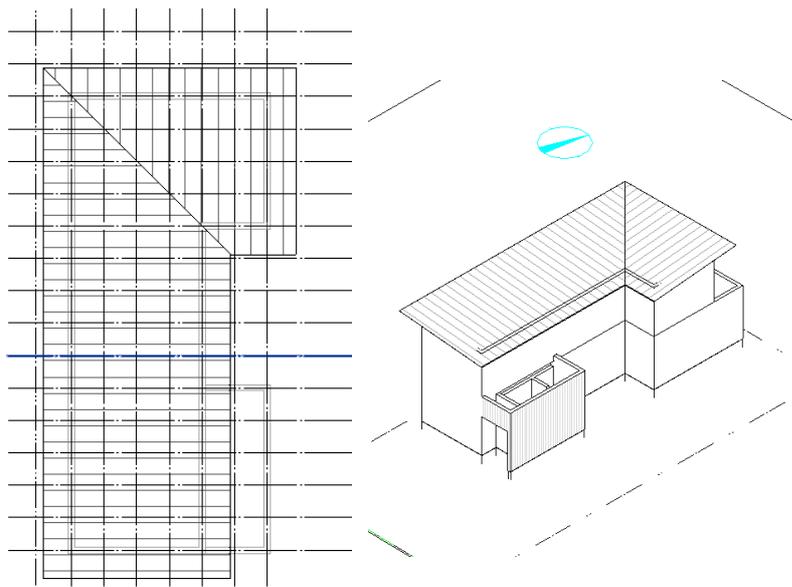


2.3.8. [修正]タブ-[修正]パネル-[トリム]を選択し、適宜トリムして屋根のライン全体を整える



2.3.9. [修正]タブ-[モード]パネル-[編集モードを終了]を選択

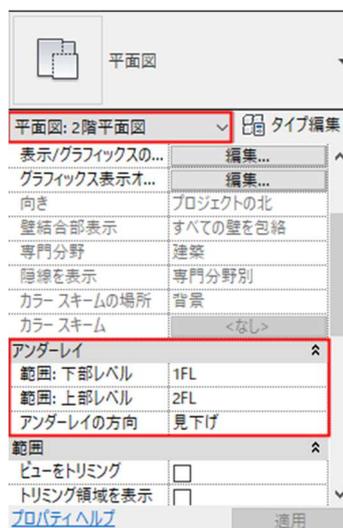
2.3.10. 右図のように屋根が作成
3D ビューで形状を確認



2.3.11. 下屋根を作図する

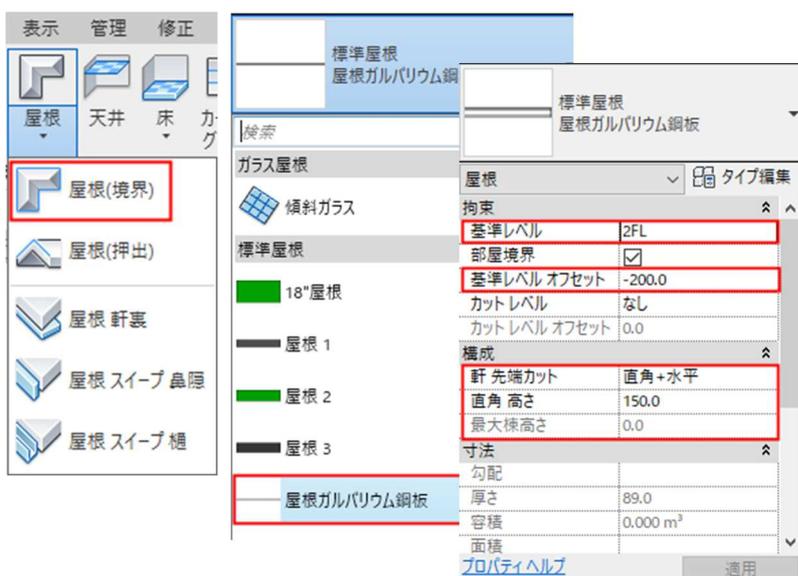
プロジェクトブラウザ[建築/平面図/2階平面図]ビューを選択

プロパティパレットにある「アンダーレイ」の「範囲：下部レベル」は「1FL」に「範囲：上部レベル」は「2FL」、「アンダーレイの方向」は「見下げ」に設定



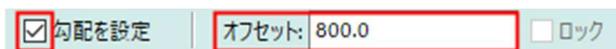
2.3.12. [建築]タブ-[構築]パネル-[屋根]をドロップダウンし「屋根(境界)」を選択

2.3.13. プロパティパレットから「標準屋根ガルバリウム」を選択
「基準レベル」は「2FL」、「基準レベル オフセット」は「-200」、「軒 先端カット」は「鉛直+水平」
「直角高さ」は「150」に設定



2.3.14. 北側に軒先ラインを作図する

[修正]タブ-[描画]パネル-[選択]を選択し、「勾配を設定」にチェックを入れ、オプションバーの「オフセット」は「800」に設定

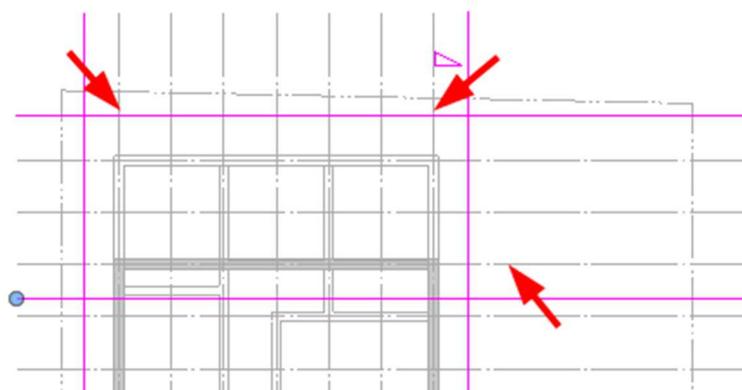
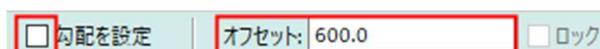


2.3.15. 「1 通芯」を選択してラインを作図、勾配は「2 : 10」に設定



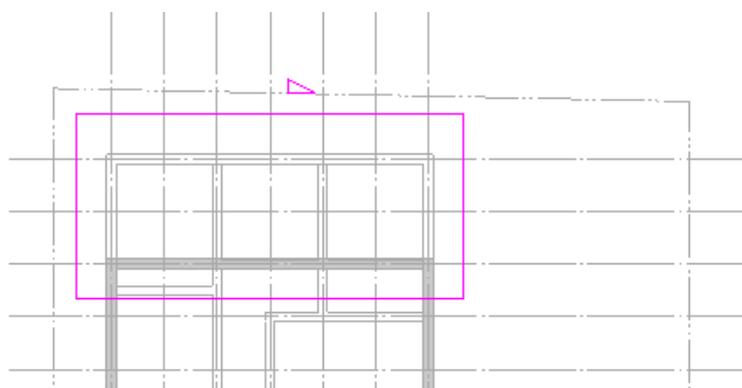
2.3.16. ケラバ、水上ラインを作図する

上屋根と同様に勾配のない屋根を「オフセット」を「600」に設定して作図



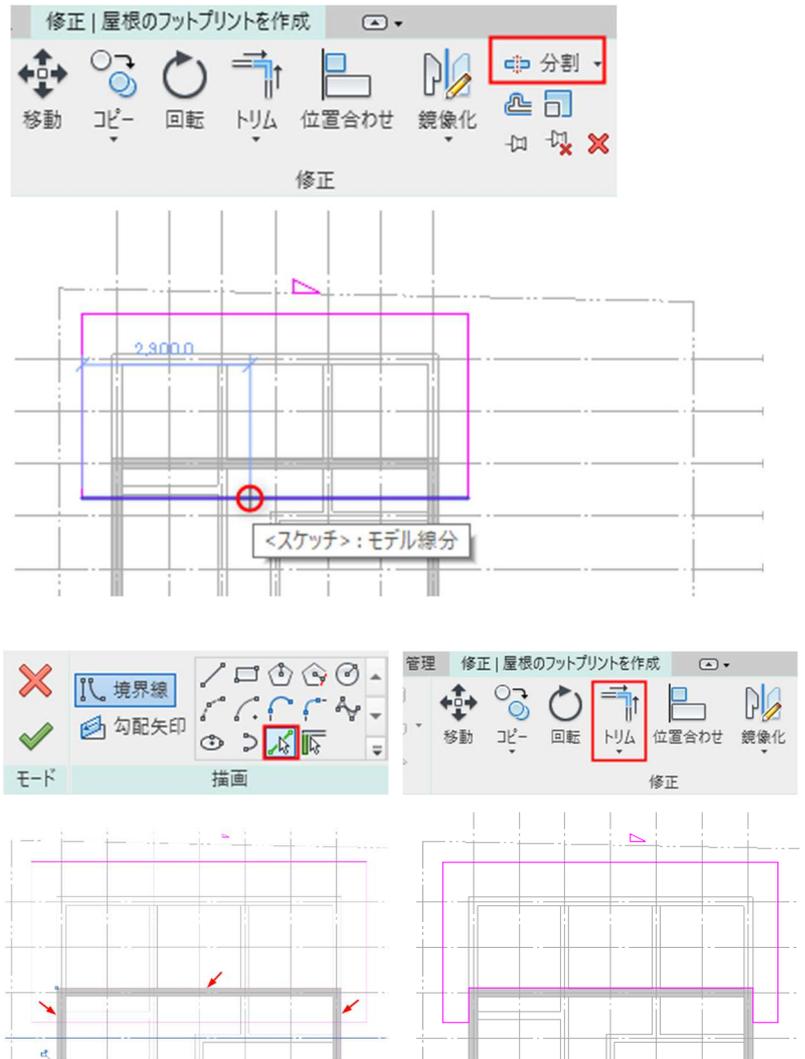
2.3.17. [修正]タブ-[修正]パネル-[トリム]を選択し、適宜トリムして屋根のライン全体を整える

を選択し、適宜トリムして屋根のライン全体を整える

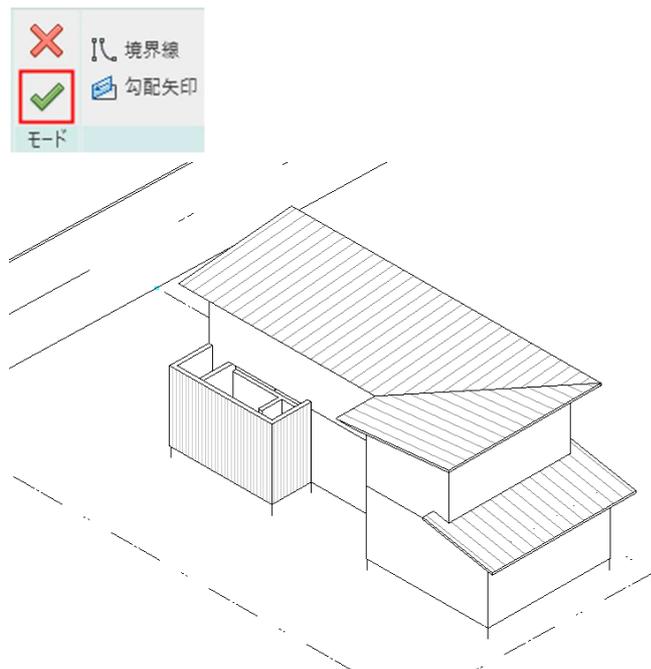


2.3.18. 2階外壁と屋根の取り合い部分を作
図する

[修正]タブ-[修正]パネル-[分割]を
選択し、水上側の鼻先ラインを分割
[修正]タブ-[描画]パネル-[選択]で
外壁ラインを選択

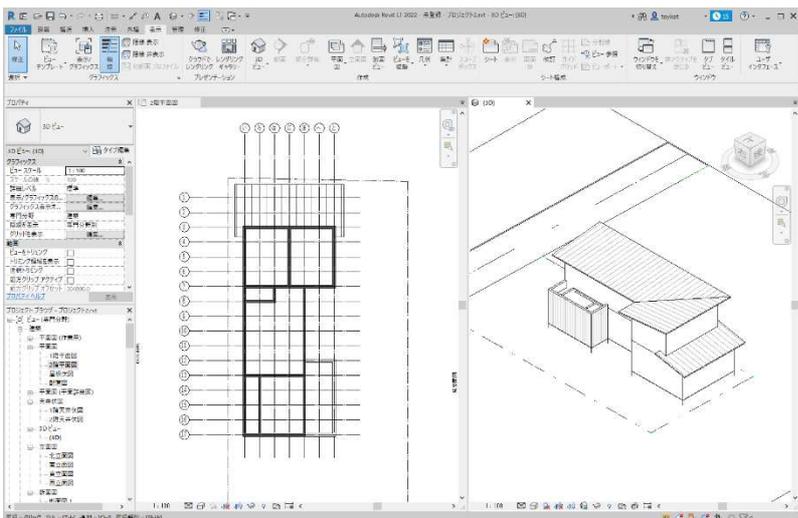


2.3.19. [修正]タブ-[モード]パネル-[編集モ
ードを終了]を選択

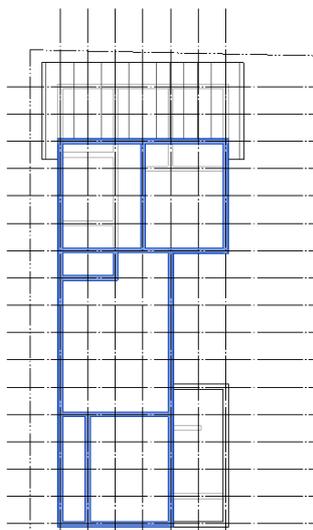


2.3.20. 2階の壁を屋根に接続(アタッチ)する

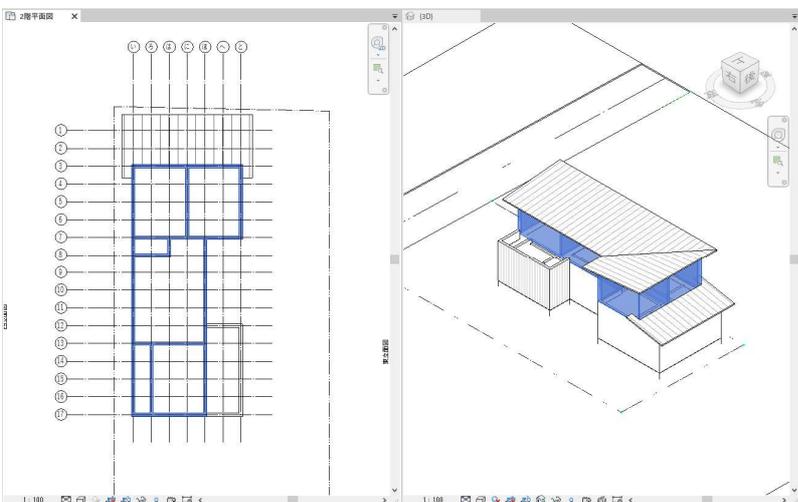
[表示]タブ-[ウィンドウ]パネル-[タイルビュー]を選択し、2FLと3Dビューの2画面を表示



2.3.21. 2FLの壁を全て選択(Ctrlキーを押しながら複数選択)

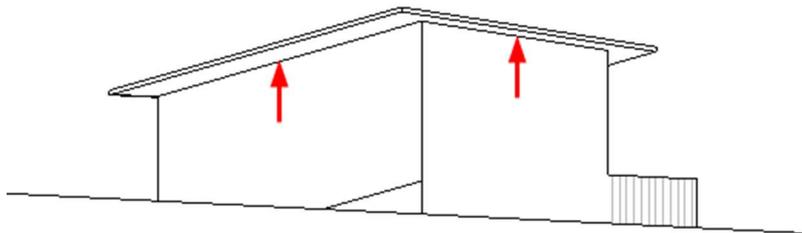


2.3.22. [修正]タブ-[壁を修正]パネル-[アタッチ]を選択し、「3Dビュー」で上屋根をクリック



第三者へのトレーニングのため、このドキュメントを無断転載、複製、配布することは禁止されています

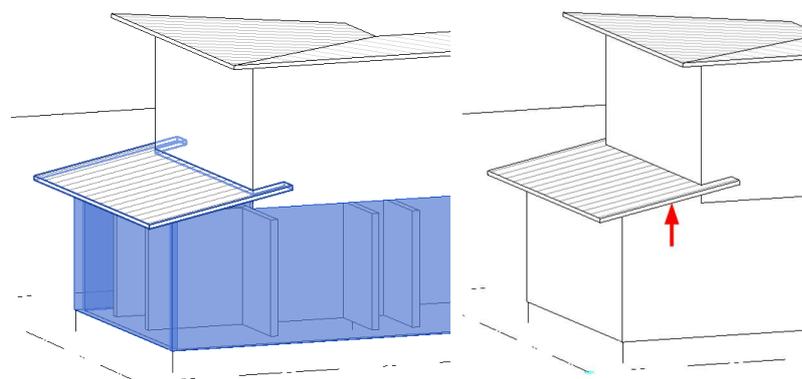
2.3.23. 3D ビューを操作して、軒高さレベルの壁が屋根にアタッチ(接続)されたことを確認



2.3.24. 1 階の壁を下屋根にアタッチする
3D ビューにて右図の壁(西面・北面・東面) を選択



[修正]タブ-[壁を修正]パネル-[アタッチ]を選択し、「3Dビュー」で上下屋屋根をクリック



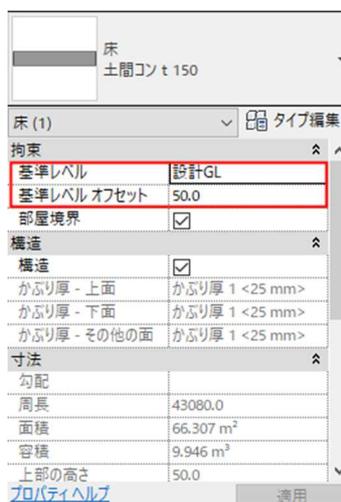
2.4. 床の作成

2.4.1. 土間スラブを作図する

プロジェクトブラウザ[建築/平面図/配置図] に切り替える

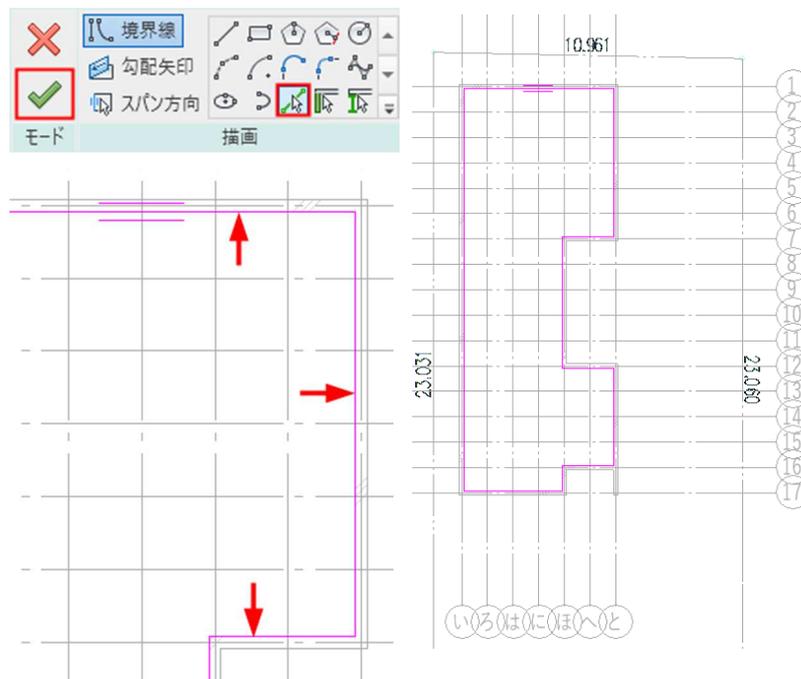
[建築]タブ-[構築]パネル-[床]をドロップダウンし「床 構造」を選択
プロパティパレットから「床 一般 150mm」タイプを選択

「基準レベル」は「設計 GL」、「基準レベル オフセット」は「50」に設定



第三者へのトレーニングのため、このドキュメントを無断転載、複製、配布することは禁止されています

2.4.2. [修正]タブ-[描画]パネル-[選択]を選択し、基礎壁の内面ラインを作図
 作図が終わったら[編集モードを終了]をクリック



2.4.3. [壁にアタッチ]ダイアログボックスが表示されるので「アタッチしない」を選択

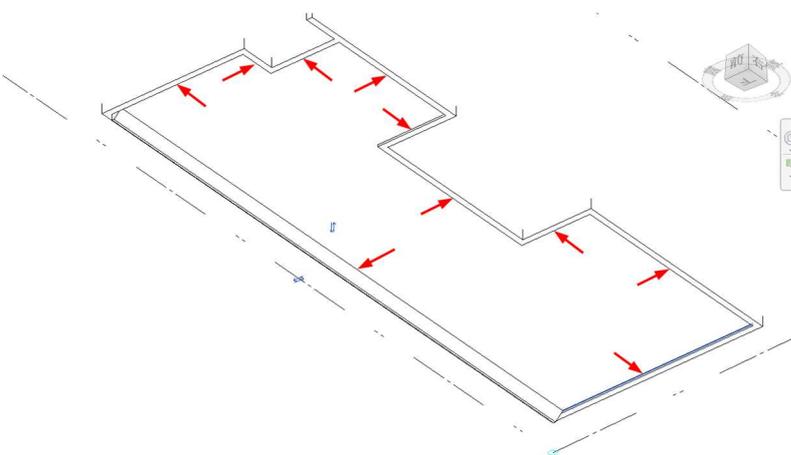


2.4.4. スラブハンチを作成する

3D ビューで基礎下面を表示させた状態で[建築]タブ-[構築]パネル-[床]をドロップダウンし「床 スイープ」を選択



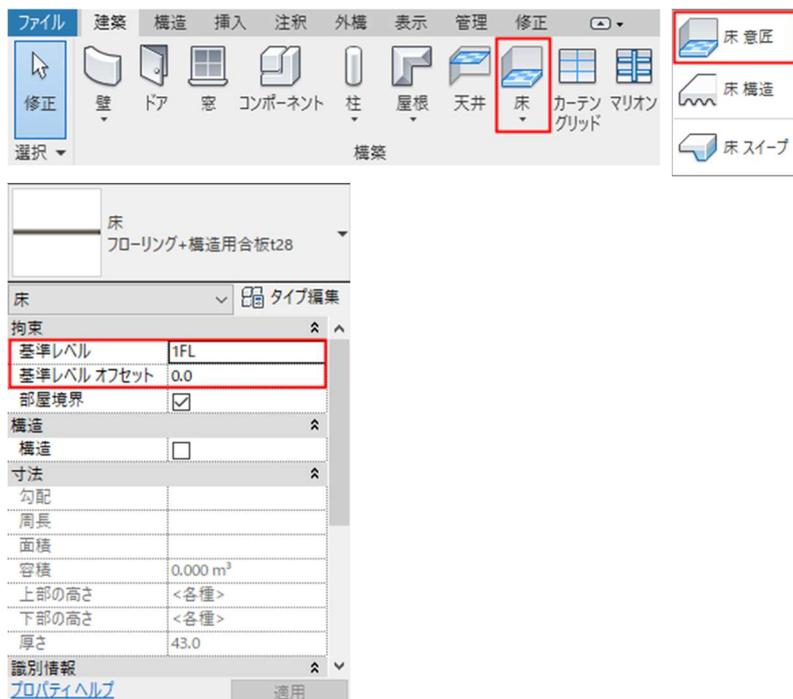
スラブと基礎の入隅部分をすべて選択し、スラブエッジを作図



2.4.5. 1階床を作図する

プロジェクトブラウザ[**建築/平面図/1階平面図**]ビューに切り替える
[**建築**]タブ-[**構築**]パネル-[**床**]をドロップダウンし「**床 意匠**」を選択
プロパティパレットから「**フローリング+構造用合板 t28**」タイプを選択

「**基準レベル**」は「**1FL**」、「**基準レベル オフセット**」は「**0.0**」に設定

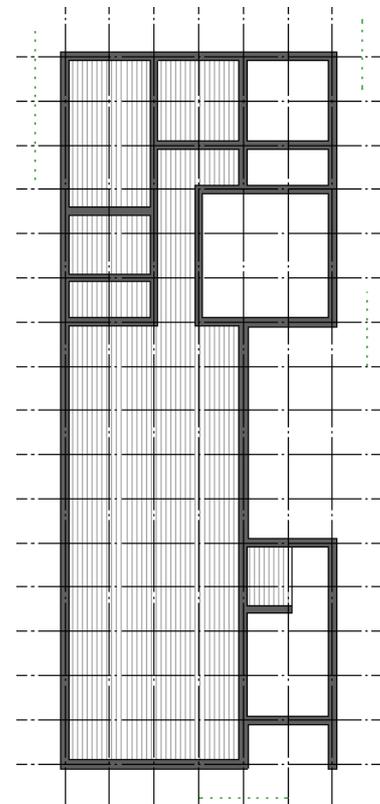
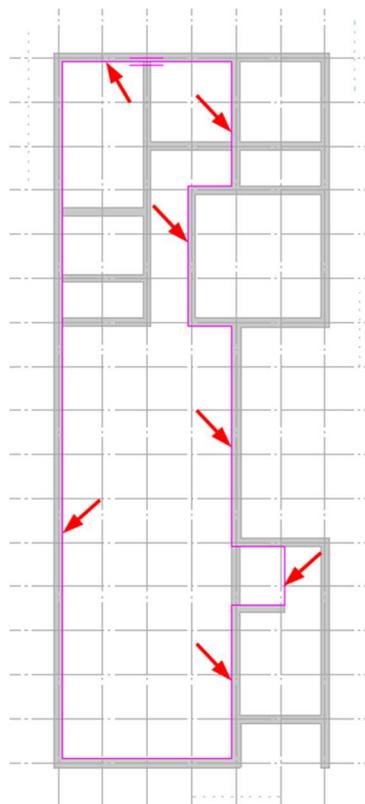


2.4.6. [修正]タブ-[描画]パネル-[選択]

[**線**] [**長方形**]等を選択し、壁の内面ラインを作図

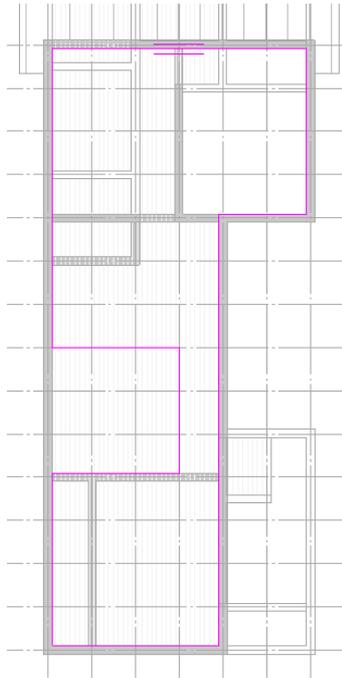
作図が終わったら[**編集モードを終了**]をクリック

1F 床が作成されました



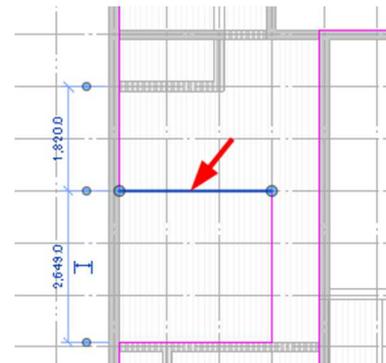
2.4.7. 2階床を作図する

- プロジェクトブラウザ[建築/平面図/2階平面図]ビューに切り替える
- 1階床同様に2階床範囲を作図



2.4.8. 吹抜け部分の床範囲を調整します

- 「10 通芯」の床ラインを選択して、[修正]タブ-[修正]パネル-[移動]を選択

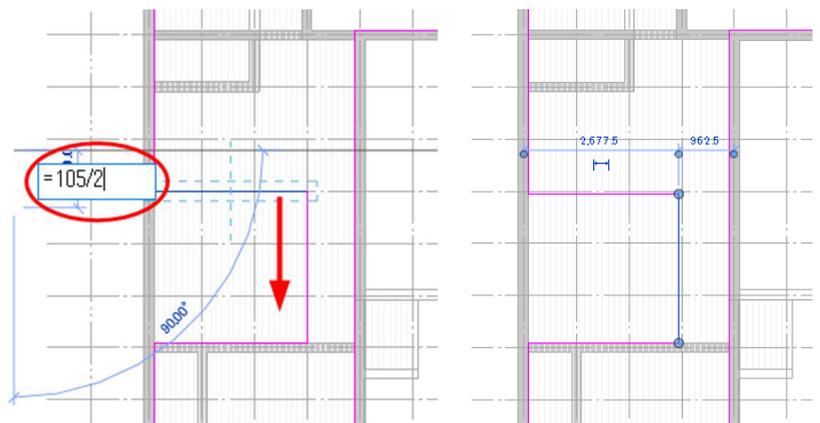


任意の位置でクリック→移動方向へマウスカーソルを移動させると青い仮寸法が出るので

どこもクリックしないまま

「=105/2」と入力、Enter キー

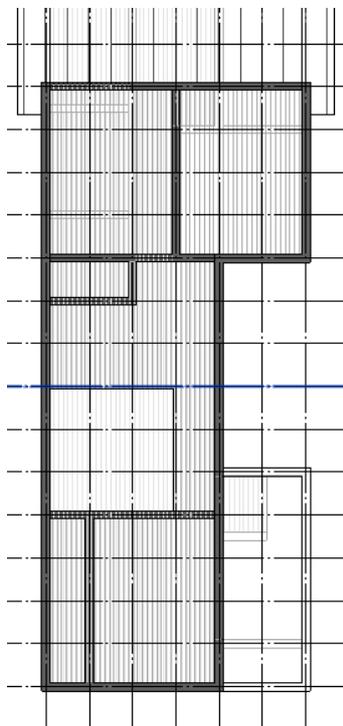
同じように「に通芯」の床ラインを選択して、西に「=105/2」移動



[編集モードを終了]をクリック、
「壁にアタッチ」ダイアログボックスが表示されるので「アタッチしない」を選択



2F 床が作成されました

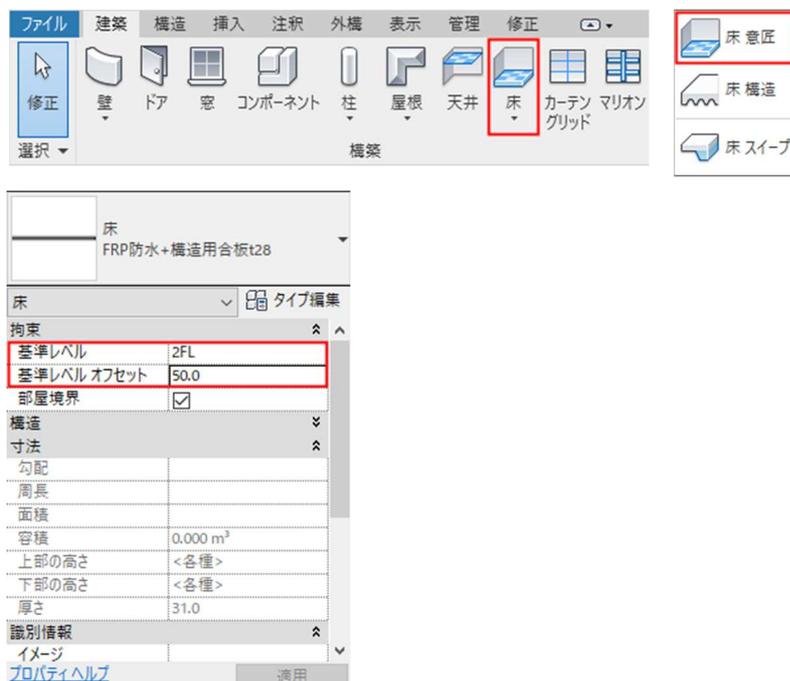


2.4.9. 2階バルコニー床を作図する

プロジェクトブラウザ[建築/平面図/2階平面図]ビューを選択

1階床同様に2階バルコニー床範囲を作図

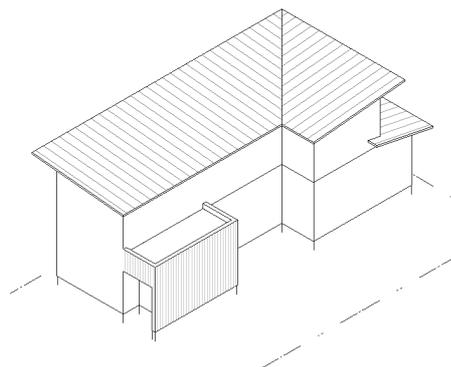
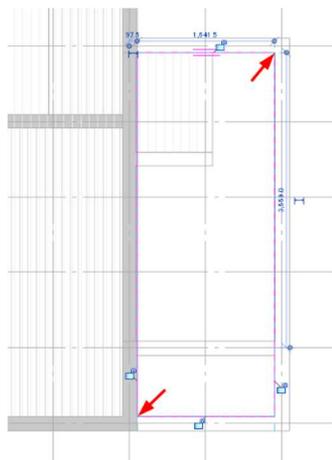
プロパティパレットから「FRP 防水+構造用合板 t28」タイプを選択
「基準レベル」は「2FL」、「基準レベル オフセット」は「50」に設定



2.4.10. [修正]タブ-[描画]パネル-[長方形]

を選択し、壁の内面ラインを作図
作図が終わったら[編集モードを終了]をクリック

ツールバーの「既定の3Dビュー」
を表示して外部床の入力を確認



2.4.11. 1階土間を作図する

プロジェクトブラウザ[建築/平面図
/1階平面図]ビューに切り替える

1階床同様に土間床範囲を作図

プロパティパレットから「一般：タ
イル 150 角+土間コンクリート
t120」タイプを選択

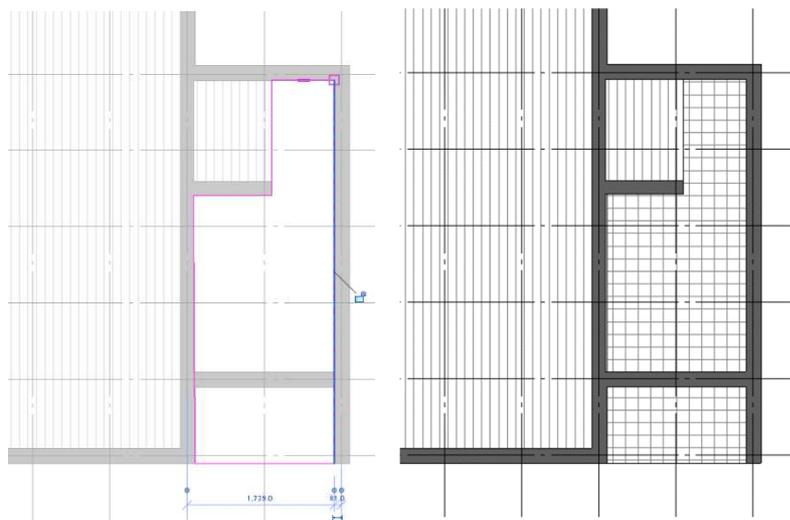
「基準レベル」は「1FL」、「基準レ
ベル オフセット」は「-200」に設
定



2.4.12. [修正]タブ-[描画]パネル-[線]

を選択し、壁の内面ラインを作図

作図が終わったら[編集モードを終
了]をクリック

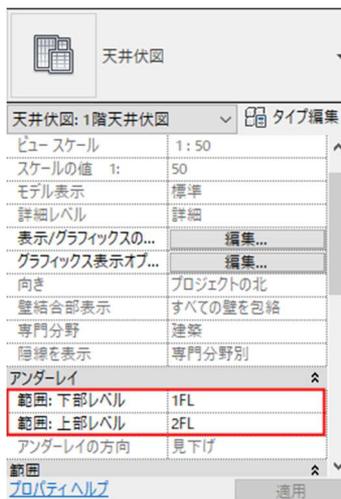


2.5. 天井の作成

2.5.1. 1階の天井を作成する

プロジェクトブラウザ[**建築/天井伏図**]
[**1階天井伏図**]ビューに切り替える

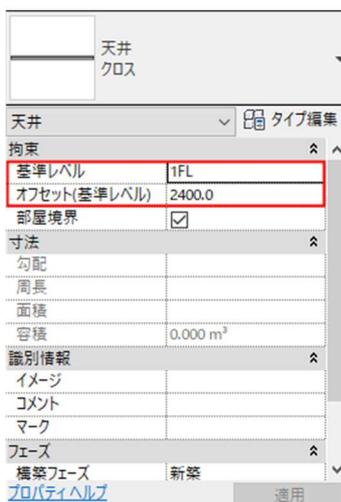
「**アンダーレイ**」は「**範囲：下部レベル**」を「**1FL**」、
「**範囲：上部レベル**」を「**2FL**」に設定



2.5.2. [建築]タブ-[構築]パネル-[天井]を選択

プロパティパレットから「**天井 クロス**」
タイプを選択

「**基準レベル**」は「**1FL**」、
「**オフセット (基準レベル)**」は「**2400**」に設定

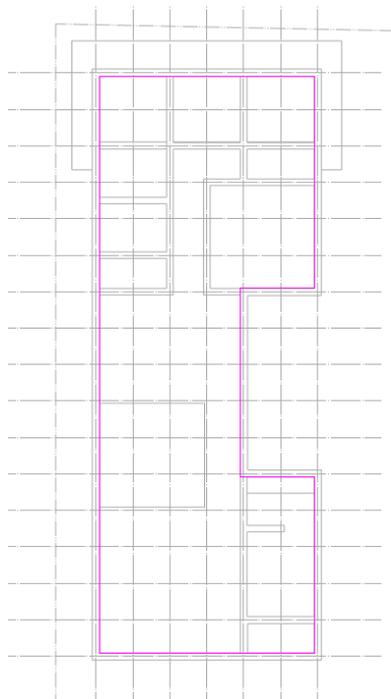


2.5.3. [修正]タブ-[天井]パネル-[天井をスケッチ]を選択

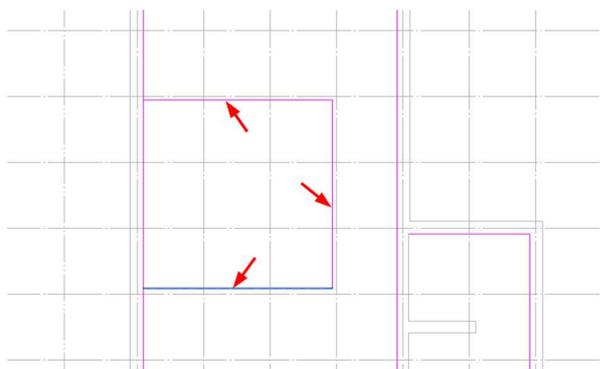
[修正]タブ-[描画]パネル-[**壁を選択**]

を選択し、1F 天井ラインを作図

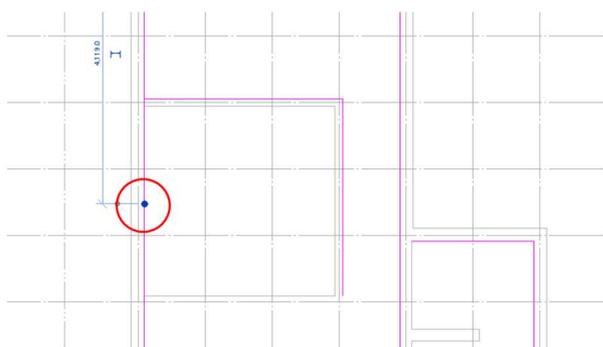




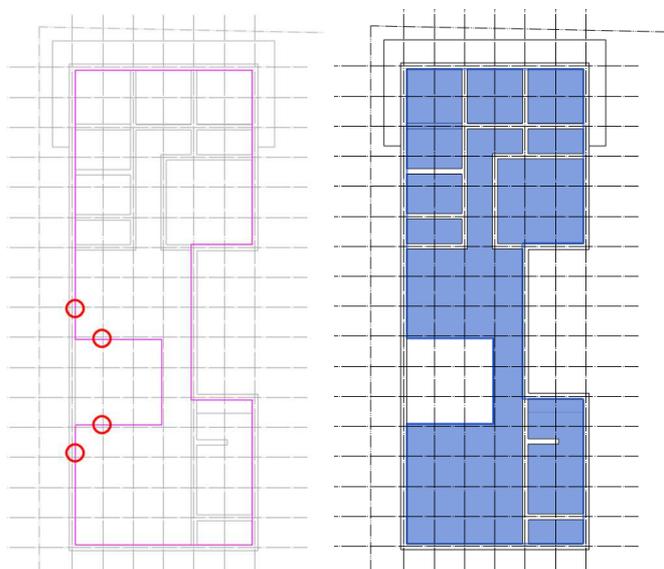
2.5.4. 吹き抜け部分は[修正]タブ-[描画]パネル-[壁を選択]を選択し、2階の床ラインを基準に作図



2.5.5. 吹き抜け部分の天井スケッチラインを分割するため、[修正]-[天井の境界を作成]タブの[修正]パネルから[分割]を選択します。「い通芯」と「13通芯」と「13通芯」と「10通芯」の間で分割をします。

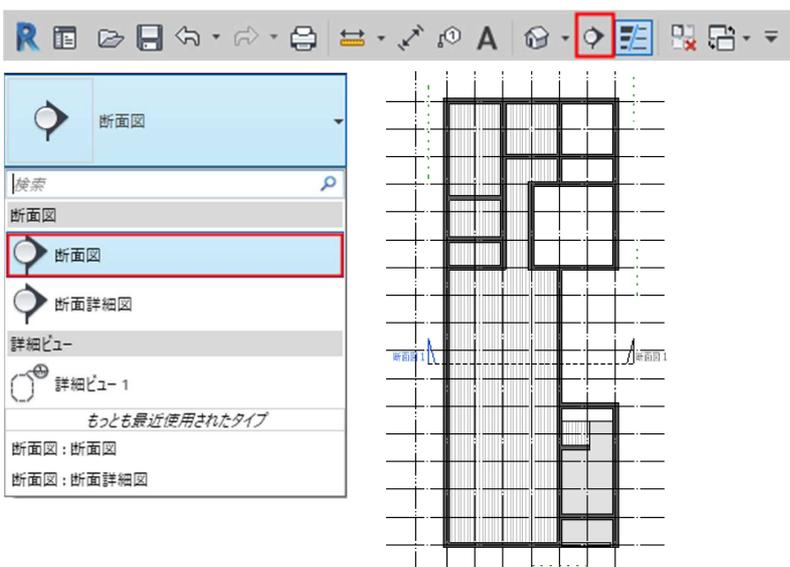


2.5.6. [修正]- [天井の境界を作成]タブ-
[修正]パネルから[トリム]を選択
天井のスケッチラインが閉じたルー
プ（一本の線で繋がる）となるよう
に、コーナー部分を面取りします
右図のスケッチラインを選択し、
作図が終わったら[編集モードを終
了]をクリック

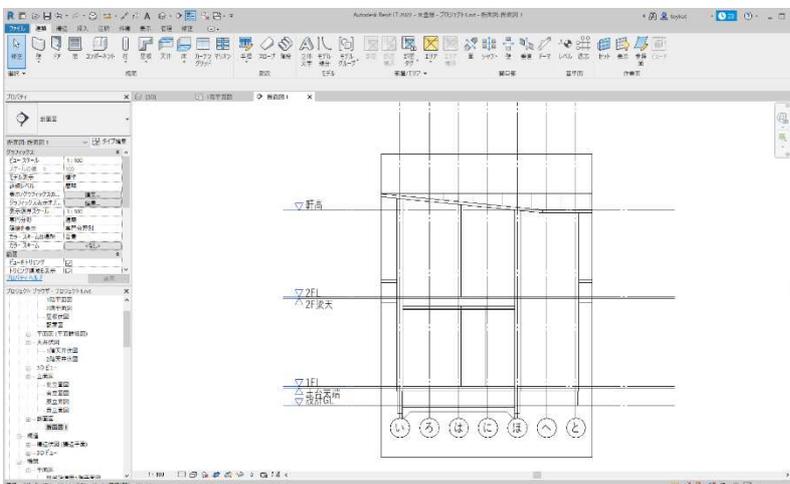


2.5.7. 断面図ビューを作成し、1階天井
の作図を確認する

プロジェクトブラウザ[建築/平面図
/1階平面図]ビューを選択
ツールバーから[断面 断面図ビュー
を作成]を選択
プロパティパレットから「断面図
断面図」タイプを選択
表示されている 1FL ビューに断面
ラインを作図



2.5.8. プロジェクトブラウザ[建築/断面図
/断面図 1]ビューを選択し確認



第三者へのトレーニングのため、このドキュメントを無断転載、複写、配布することは禁止されています

2.6. 階段の作成

2.6.1. 内部階段を作成する

プロジェクトブラウザ[**建築/平面図**
/1 階平面図]ビューに切り替える

2.6.2. [建築]タブ-[階段]パネル-[階段]を選択



プロパティパレットから「**鉄骨階段**
木造」タイプを選択、タイプ編集を
クリック

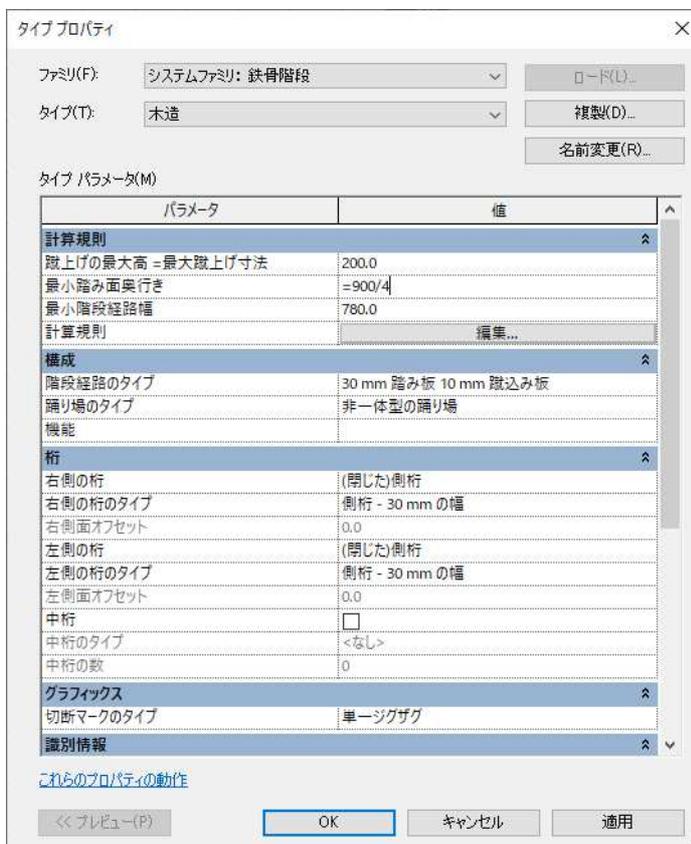


2.6.3. 該当のパラメータの値を変更

「**蹴上の最大値**」は「**200**」、「**最小蹴
込み板奥行き**」は「**=910/4**」、「**最小
階段経路幅**」は「**780**」

「**階段経路のタイプ**」は「**30 mm 踏
み板 10 mm 蹴込み板**」、桁は左右
とも「**(閉じた)側桁**」「**側桁-木製-
30mm の幅**」に設定してOK

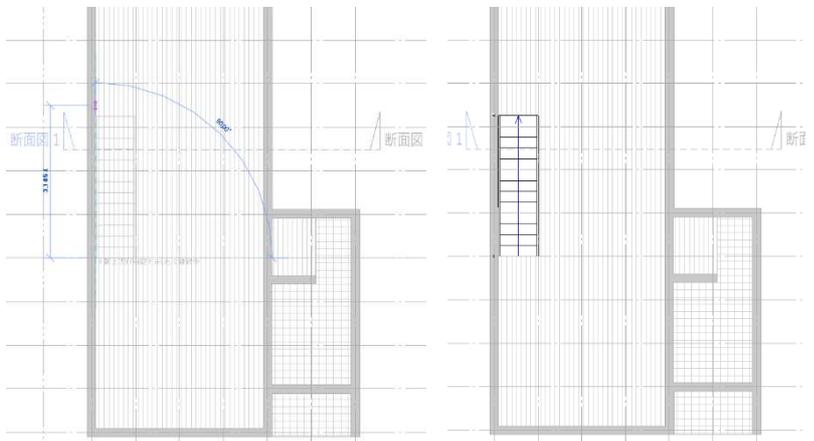
プロパティパレットの「**指定の蹴上
段数**」が「**14**」、「**実際の踏み板奥行
き**」が「**227.5**」になっていることを
確認



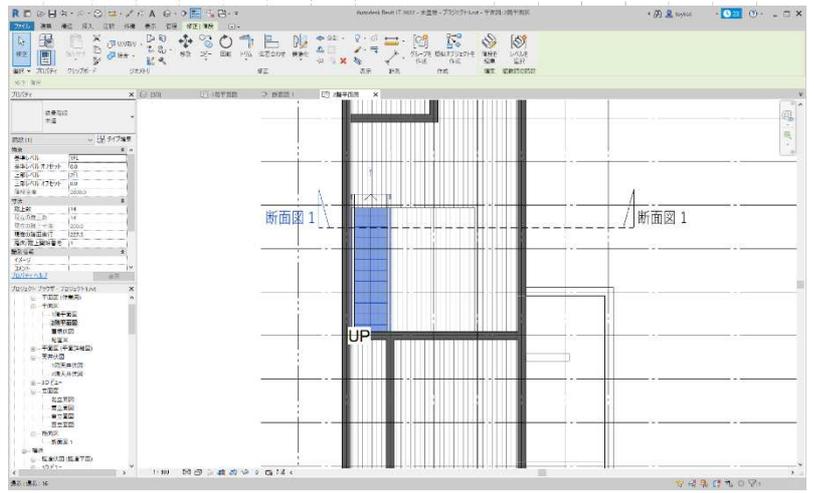
第三者へのトレーニングのため、このドキュメントを無断転載、複製、配布することは禁止されています

- 2.6.4. オプションバーの「配置基準線」は「側桁：左」、「オフセット」は「0.0」、「実際の経路幅」は「780」に設定
- 2.6.5. [修正|作成 階段]タブ-[踏み面]パネル-[直線]を選択し「い通芯」と「13通芯」の交点付近で始点を指定、「9通芯」付近で終点を指定

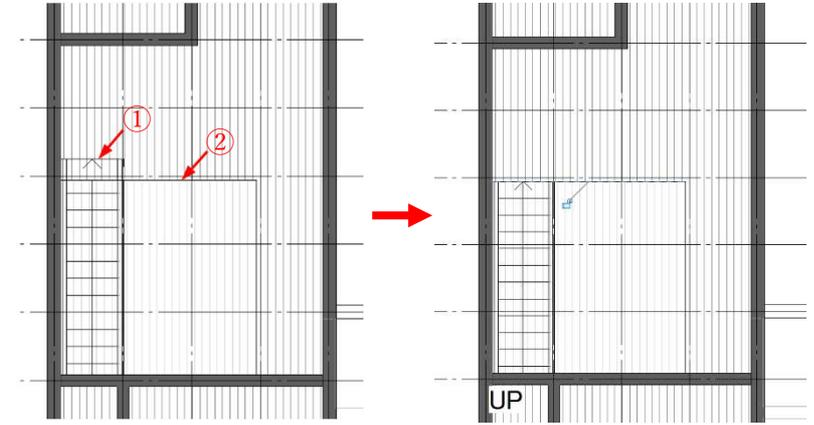
階段の入力が終了したら[編集モードを終了]をクリック



- 2.6.6. 階段の位置を調整します。
プロジェクト ブラウザ[建築/平面図/2階平面図]ビューを選択
- 2.6.7. 作図した階段を選択して[修正]タブ-[修正]パネル-[位置合わせ]を選択



- 2.6.8. 位置合わせの基準となる位置を選択、続けて最上段の踏板先端を選択



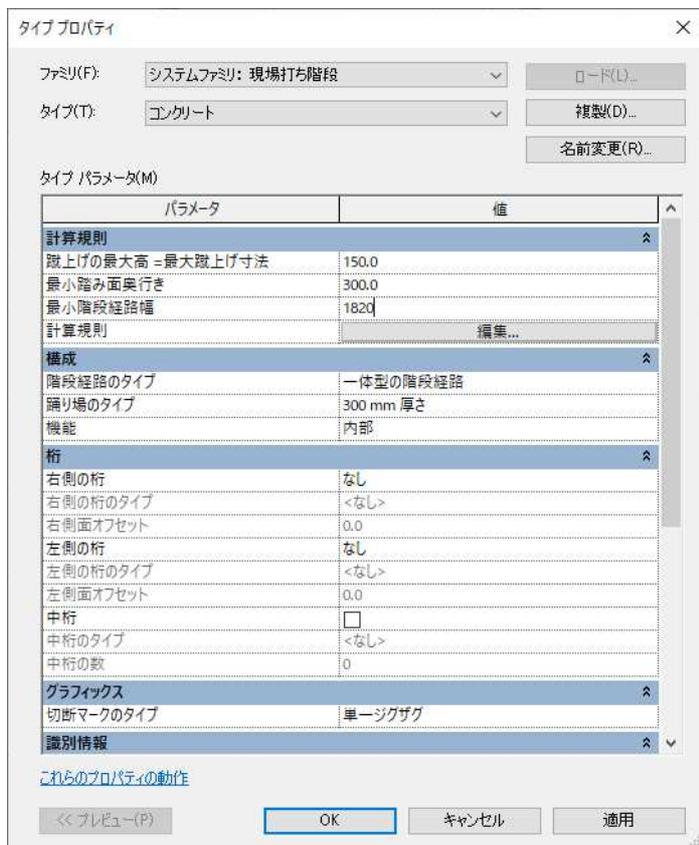
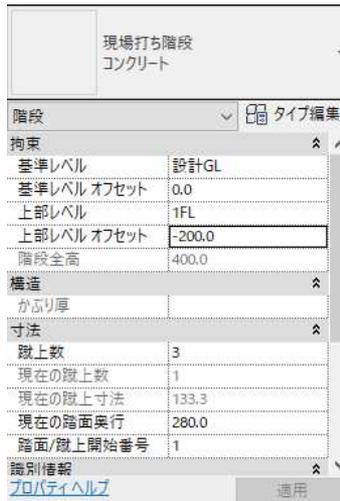
第三者へのトレーニングのため、このドキュメントを無断転載、複写、配布することは禁止されています

2.6.9. 玄関ポーチ部分の土間階段を作図する

プロジェクト ブラウザから[建築/平面図/1階平面図]ビューを選択
[建築]タブ-[階段]パネル[階段]を選択

内部階段同様に、階段タイプは「現場打ち階段 コンクリート」、「基準レベル」は「設計GL」、「上部レベル」は「1FL」、「上部レベル オフセット」は「-200」に設定

また、タイプ編集は「蹴上の最大高」は「150」、「最小蹴込み板奥行き」は「300」、「最小階段経路幅」は「1820」に設定

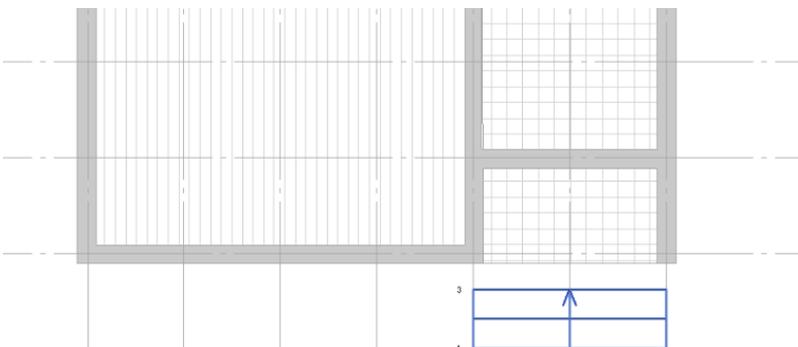


2.6.10. [修正]タブ-[ツール]パネル-[手すり]をクリックすると、ダイアログボックスが出てくるのでドロップダウンして「なし」に設定

オプションバーの「配置基準線」は「中心」、「オフセット」は「0.0」、「実際の経路幅」は「1820」に設定



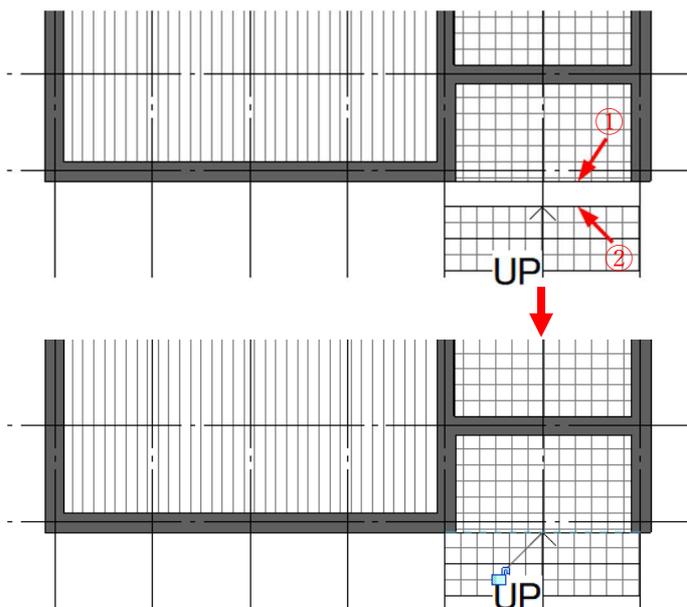
- 2.6.11. [修正|作成 階段]タブ-[踏み面]パネル-[直線]を選択し、玄関ポーチ近傍の「へ通芯」上で階段を作図（位置は後から調整



- 2.6.12. 階段とポーチの位置を繋げます

[修正]タブ-[修正]パネル[位置合わせ]を選択

位置合わせの基準となるポーチの端部①を選択し、次に移動元の基準となる階段の端部②を選択して、階段の位置を調整



- 2.6.13. ポーチと階段部分のタイル目地を合わせます
- 土間タイル床を選択し、Tab キーを何度か押すと、タイル目地がハイライト表示されるので、その状態でクリックしてから、[修正]タブ-[修正]パネル-[位置合わせ]で階段のタイル目地の位置を合わせる

2.7. 建具（窓）の配置

2.7.1. 1階の窓を配置する

プロジェクトブラウザ[**建築/平面図/1階平面図**]ビューに切り替える
[**建築**]タブ-[**構築**]パネル-[**窓**]を選択

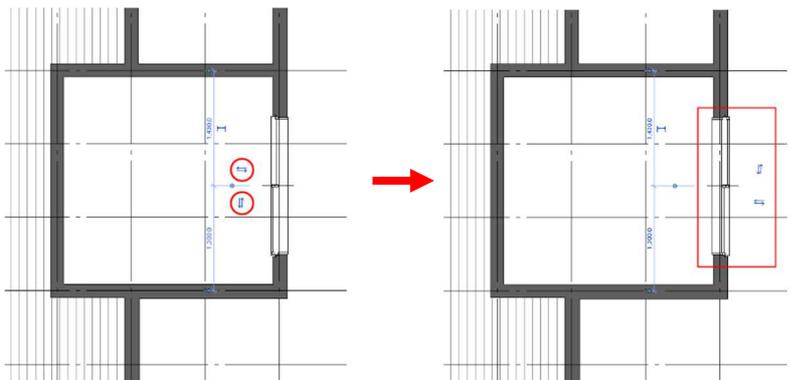


プロパティパレットから「サーモス L_引違い窓_2枚建 W1650xH1100 **タイプ**」を選択
「**下枠の高さ**」に「**900**」と入力



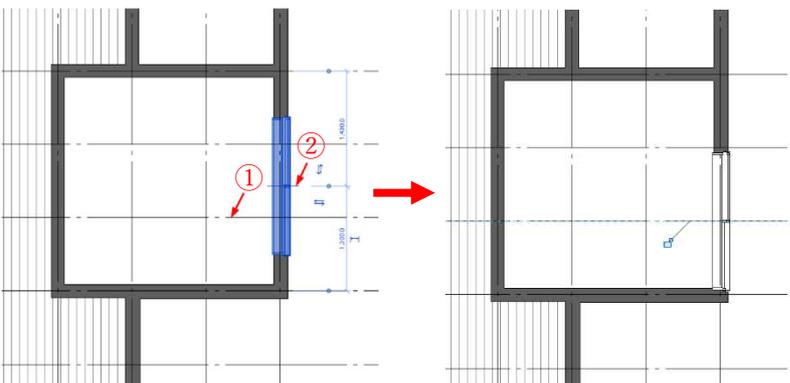
2.7.2. 窓を「と通芯」の「5通芯」と「6通芯」

の間に配置します
配置後、フリップが外壁側にあるか確認
内側にある場合はフリップをクリックして反転
(上下左右共に反転する)



2.7.3. 窓の位置を調整します

位置合わせをしたい窓を選択し、
[**修正**]タブ-[**修正**]パネル-[**位置合わせ**]を選択
位置合わせの基準となる「**6通芯**」を選択し、次に「**建具の中心線**」を選択して建具の位置を移動

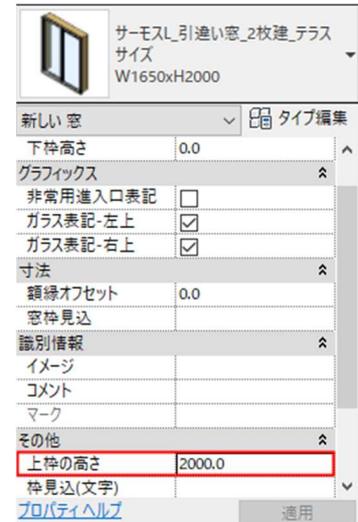
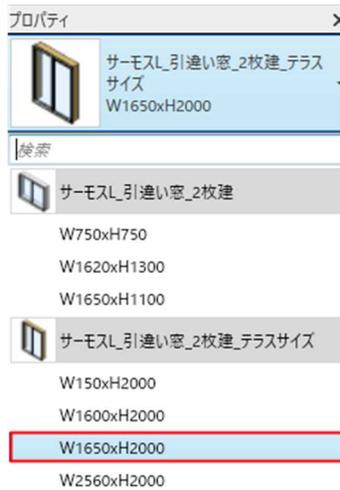


第三者へのトレーニングのため、このドキュメントを無断転載、複製、配布することは禁止されています

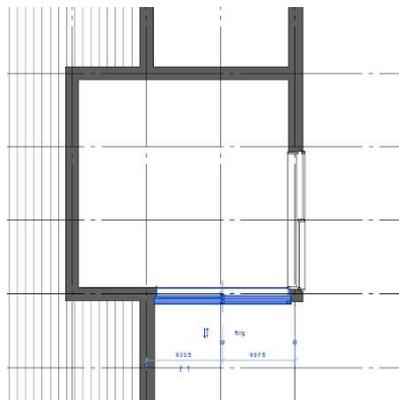
2.7.4. [建築]タブ-[構築]パネル-[窓]を選択

プロパティパレットから「サーモス L_引違い窓_2枚建_テラスサイズ W1650xH2000 タイプ」を選択

「上枠の高さ」に「2000」と入力



「⑦通芯」の「ほ通芯」と「と通芯」の間に配置します

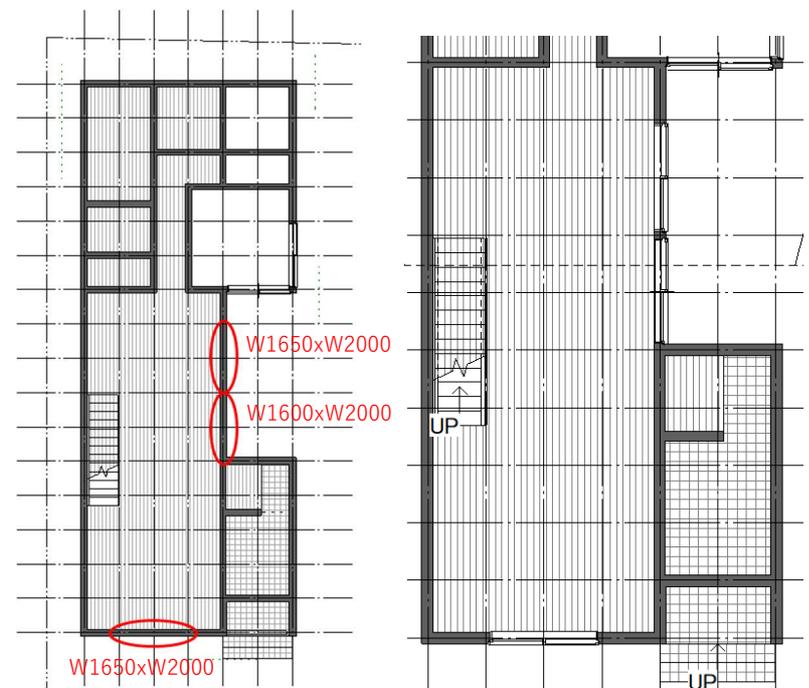


2.7.5. 右図の示す位置に「サーモス L_引違い窓_2枚建_テラスサイズ

W1600xH2000」タイプと「サーモス L_引違い窓_2枚建_テラスサイズ W1650xH2000」タイプの窓をそれぞれ配置する

3.7.3 の要領でそれぞれ配置位置を調整する

位置合わせする上で、基準となるものが無い場合は、窓選択時に青字で表示される「仮寸法」と「寸法補助線」に直接数字を入力して調整する

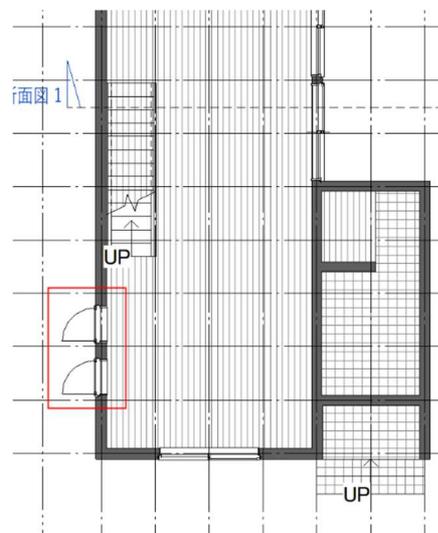
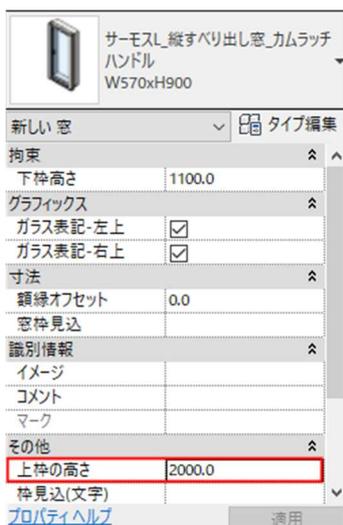


2.7.6. [建築]タブ-[構築]パネル-[窓]を選択

プロパティパレットから「サーモス
L_縦すべり出し窓_カムラッチ
ハンドル W570xH900 タイプ」を選択

「上枠の高さ」に「2000」と入力

「1通芯」の「14通芯」と「16通芯」の
間に配置



2.7.7. 窓の位置を通芯間の中央に移動する

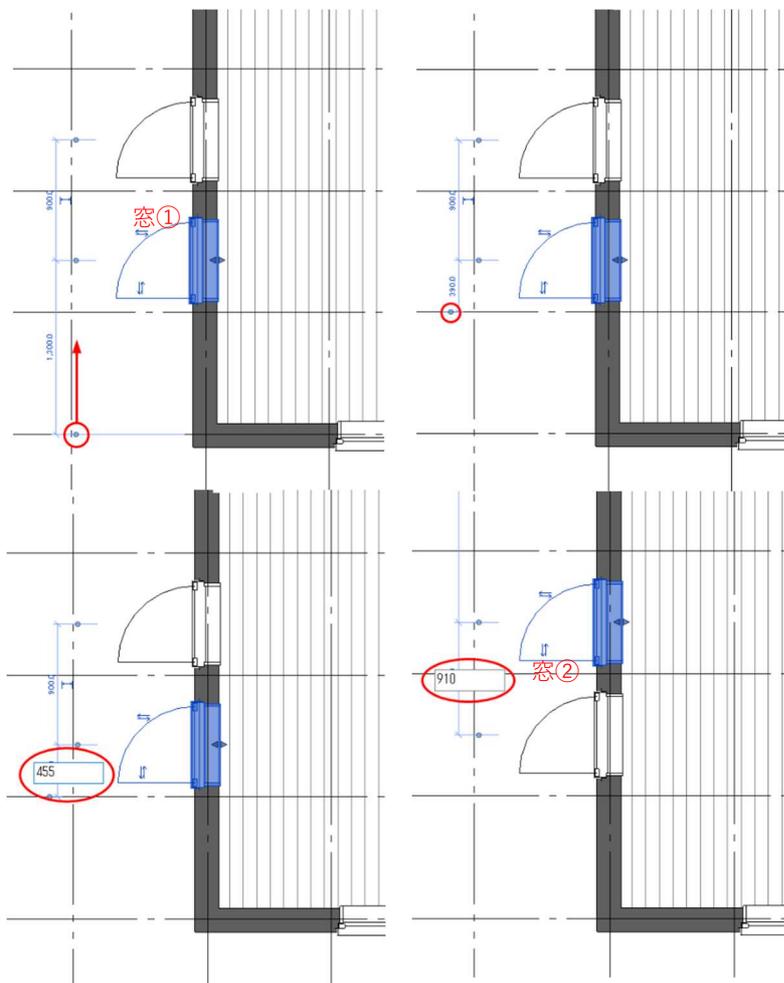
「15通芯」「16通芯」間の窓（窓①）
を選択

「仮寸法」および「寸法補助線」が表示
されるので「17通芯」の寸法補助線
のポイントをクリックし「16通芯」
までドラッグ

「16通芯」からの仮寸法値を選択
し、窓①の中心までの距離「455」と
入力

「14通芯」「15通芯」間の窓（窓②）
を選択

窓①の中心からの仮寸法が表示され
るので「910」と入力



2.7.8. 1階のすべての窓を配置する

The image displays a Revit floor plan with three window types highlighted by red circles and red arrows pointing to their respective property panels. The central floor plan shows a staircase labeled 'UP' and a section line '断面図 1'.

Top Left Property Panel: サーモスL引違い窓_2枚建 W750xH750

窓 (1)	タイプ編集
拘束	
基準レベル	1FL
下枠高さ	1250.0
グラフィックス	
非常用進入口表記	<input type="checkbox"/>
ガラス表記-左上	<input checked="" type="checkbox"/>
ガラス表記-右上	<input checked="" type="checkbox"/>
寸法	
額縁オフセット	0.0
窓枠見込	
識別情報	
フェース	
その他	
上枠の高さ	2000.0
枠見込(文字)	
プロパティヘルプ	適用

Top Right Property Panel: サーモスL引違い窓_2枚建 W750xH750

窓 (1)	タイプ編集
拘束	
基準レベル	1FL
下枠高さ	1100.0
グラフィックス	
非常用進入口表記	<input type="checkbox"/>
ガラス表記-左上	<input checked="" type="checkbox"/>
ガラス表記-右上	<input checked="" type="checkbox"/>
寸法	
額縁オフセット	0.0
窓枠見込	
識別情報	
フェース	
その他	
上枠の高さ	1850.0
枠見込(文字)	
プロパティヘルプ	適用

Bottom Left Property Panel: サーモスL横すべり出し窓_カムラッチハンドル W710xH300

新しい窓	タイプ編集
拘束	
下枠高さ	1100.0
グラフィックス	
ガラス表記-左上	<input checked="" type="checkbox"/>
ガラス表記-右上	<input checked="" type="checkbox"/>
寸法	
額縁オフセット	0.0
窓枠見込	
識別情報	
イメージ	
コメント	
マーク	
その他	
上枠の高さ	1400.0
枠見込(文字)	
プロパティヘルプ	適用

Bottom Right Property Panel: サーモスL_FIX窓_内押縁タイプ W1650xH300

新しい窓	タイプ編集
拘束	
下枠高さ	1700.0
グラフィックス	
ガラス表記-左上	<input checked="" type="checkbox"/>
ガラス表記-右上	<input checked="" type="checkbox"/>
寸法	
額縁オフセット	0.0
窓枠見込	
識別情報	
イメージ	
コメント	
マーク	
その他	
上枠の高さ	2000.0
枠見込(文字)	
プロパティヘルプ	適用

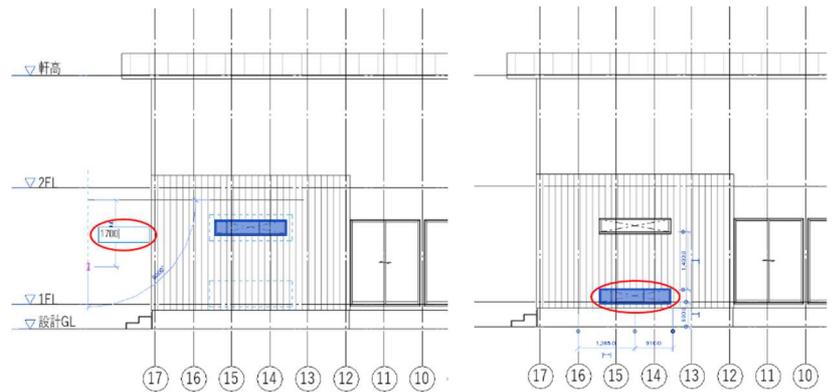
第三者へのトレーニングのため、このドキュメントを無断転載、複製、配布することは禁止されています

2.7.9. 窓の高さを調整する

プロジェクトブラウザ[**建築/立面図**
/**東立面図**]ビューに切り替える

「サーモス L_FIX 窓_内押縁タイプ
W1650xH300」の窓を選択

[修正]タブ-[修正]パネル-[コピー]
を選択し、GL 方向に「1700」の位置
にコピー



【ビュー範囲の設定について】

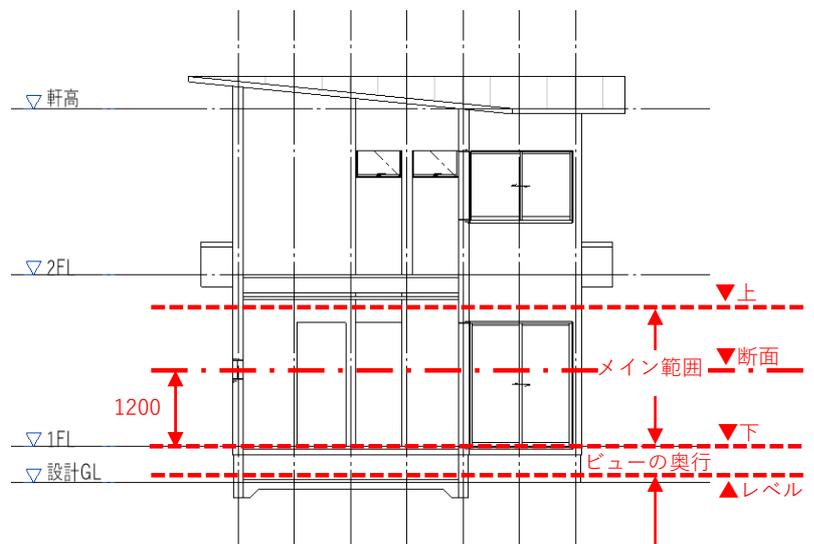
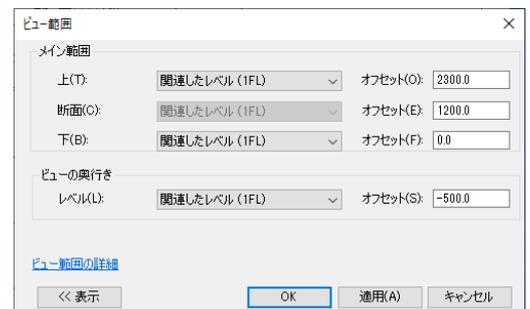
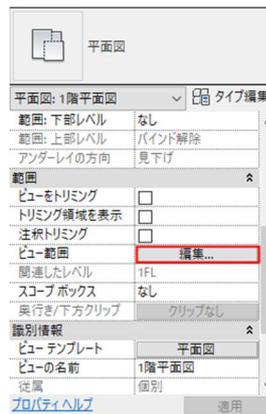
プロジェクトブラウザ[**建築/平面図**
/**1階平面図**]ビューに切り替える

プロパティパレット「**範囲**」の「**ビュー範囲**」で「**編集**」を選択

「**断面**」から「**下**」までの「**メイン範囲**」
に含まれるファミリが平面ビューに
表示され編集が可能

「**断面**」から「**上**」の範囲は窓や一般モ
デルなど一部のファミリのみ表示さ
れる

また、「**下**」から「**ビューの奥行き**」の
範囲に含まれるファミリは背景とし
て表示される

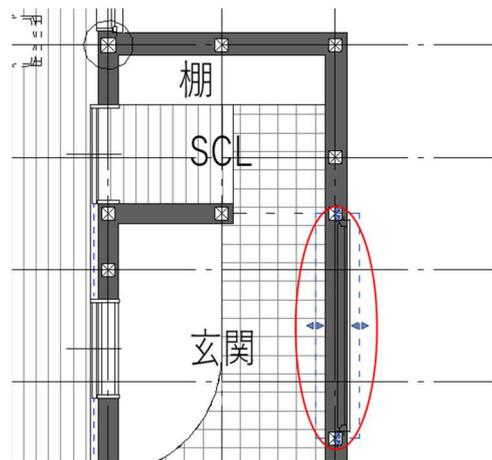


2.7.10. 通常では表示されない窓を表示させる

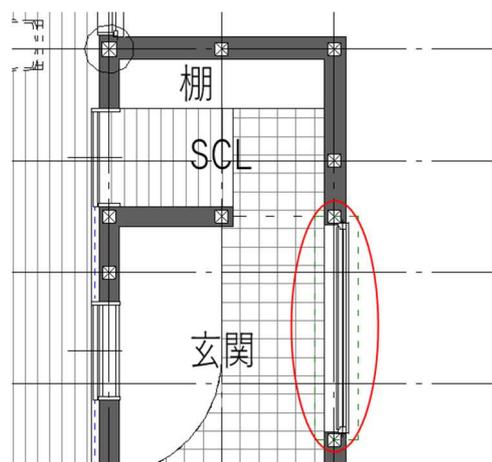
プロジェクトブラウザ[建築/平面図/1階平面図]ビューを選択

[表示]タブ-[作成]パネル-[平面図]をドロップダウンし、「部分切断領域」を選択

[修正]タブ-[描画]パネル-[長方形]を選択し、表示させたい窓の周囲に切断領域を作図



2.7.11. 窓の高さに合わせてビュー範囲を設定



2.7.12. 2階の窓を配置する

プロジェクトブラウザ[建築/平面図
/2階平面図]ビューに切り替える

The image displays the Revit interface for configuring windows on a 2nd-floor plan. The central floor plan shows several window locations marked with red circles and arrows. Four property panels are shown around the plan, each corresponding to a different window type and its specific settings.

- Top Left Panel:** Window type: 'サーモス引違い窓_2枚建 W1600xH1100'. Settings include '下枠高さ' (Bottom Sill Height) of 900.0, 'グラフィックス' (Graphics) with '非常用進入口表記' (Emergency Entrance Marking) unchecked, and '寸法' (Dimensions) with '額縁オフセット' (Casing Offset) of 0.0.
- Top Right Panel:** Window type: 'サーモス横すべり出し窓_カムラッチハンドル W710xH700'. Settings include '基準レベル' (Reference Level) of 2FL, '下枠高さ' (Bottom Sill Height) of 1600.0, and 'グラフィックス' (Graphics) with 'ガラス表記-左上' (Glass Marking-Top Left) and 'ガラス表記-右上' (Glass Marking-Top Right) checked.
- Middle Left Panel:** Window type: 'サーモス引違い窓_2枚建 W750xH750'. Settings include '下枠高さ' (Bottom Sill Height) of 1250.0, 'グラフィックス' (Graphics) with 'ガラス表記-左上' (Glass Marking-Top Left) and 'ガラス表記-右上' (Glass Marking-Top Right) checked, and '寸法' (Dimensions) with '額縁オフセット' (Casing Offset) of 0.0.
- Middle Right Panel:** Window type: 'サーモス引違い窓_2枚建 W1600xH1100'. Settings include '下枠高さ' (Bottom Sill Height) of 900.0, 'グラフィックス' (Graphics) with '非常用進入口表記' (Emergency Entrance Marking) unchecked, and '寸法' (Dimensions) with '額縁オフセット' (Casing Offset) of 0.0.
- Bottom Left Panel:** Window type: 'サーモス縦すべり出し窓_カムラッチハンドル W570xH900'. Settings include '下枠高さ' (Bottom Sill Height) of 1100.0, 'グラフィックス' (Graphics) with 'ガラス表記-左上' (Glass Marking-Top Left) and 'ガラス表記-右上' (Glass Marking-Top Right) checked, and '寸法' (Dimensions) with '額縁オフセット' (Casing Offset) of 0.0.
- Bottom Right Panel:** Window type: 'サーモス引違い窓_2枚建_テラスサイズ W1650xH1750'. Settings include '基準レベル' (Reference Level) of 2FL, '下枠高さ' (Bottom Sill Height) of 250.0, 'グラフィックス' (Graphics) with '非常用進入口表記' (Emergency Entrance Marking) unchecked, and '寸法' (Dimensions) with '額縁オフセット' (Casing Offset) of 0.0.

第三者へのトレーニングのため、このドキュメントを無断転載、複製、配布することは禁止されています

2.8. 建具(ドア)の配置

2.8.1. 1階ドアを配置する

プロジェクトブラウザ[建築/平面図
/1階平面図]ビューに切り替える
[建築]タブ-[構築]パネル-[ドア]を
選択



窓と同様にファミリーを配置

片引きフラッシュ
W750H2000

新しいドア ▼ タイプ編集

拘束

下枠高さ 0.0

構成

枠タイプ(文字)

マテリアルと仕上げ

枠材(文字)

仕上(文字)

寸法

ドア枠見込

識別情報

その他

上枠の高さ 2000.0

枠見込(文字)

ガラリW(文字)

ガラリH(文字)

プロパティヘルプ

適用

片引き折れ戸 (フラッシュ扉)
w750h2000

新しいドア ▼ タイプ編集

拘束

下枠高さ 0.0

構成

枠タイプ(文字)

マテリアルと仕上げ

ドア枠 木目 - ナチュラル

ドア把手 メタル-ステンレス

ドア 木目 - ナチュラル

枠材(文字)

仕上(文字)

寸法

識別情報

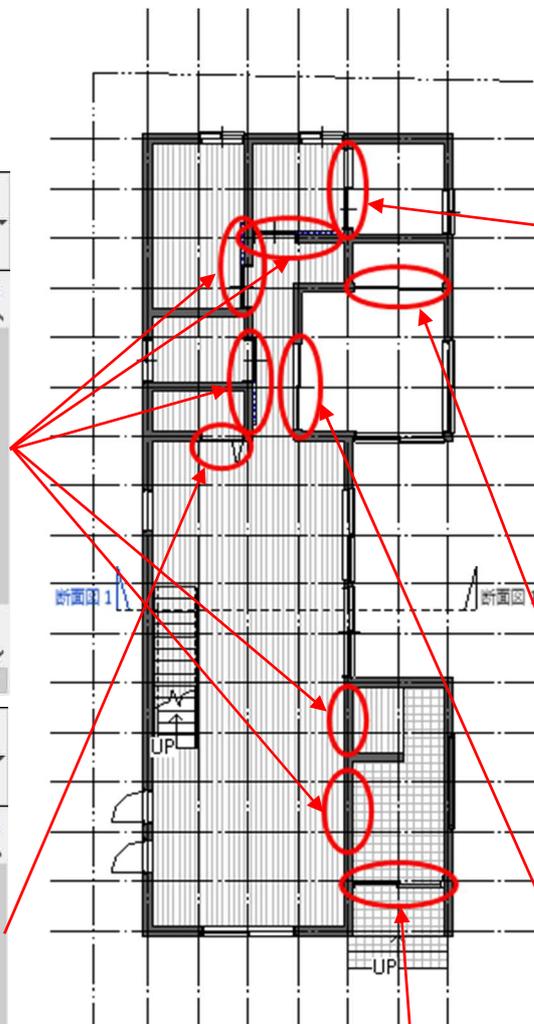
その他

上枠の高さ 2000.0

枠見込(文字)

プロパティヘルプ

適用



浴室引戸
浴室ドア

新しいドア ▼ タイプ編集

拘束

下枠高さ 0.0

構成

枠タイプ(文字)

マテリアルと仕上げ

枠材(文字)

仕上(文字)

寸法

ドア枠見込

識別情報

その他

上枠の高さ 2040.0

枠見込(文字)

ガラリW(文字)

ガラリH(文字)

プロパティヘルプ

適用

ふすま引違い戸
w1600h2000

新しいドア ▼ タイプ編集

拘束

下枠高さ 0.0

構成

枠タイプ(文字)

マテリアルと仕上げ

和室戸枠 木 - ナチュラル

枠材(文字)

仕上(文字)

寸法

識別情報

その他

視線 木 - ナチュラル

模様 紙 - 模

和室戸引手 <カテゴリ別>

上枠の高さ 2000.0

プロパティヘルプ

適用

玄関引戸 (框扉)
w1600h2200

ドア (1) ▼ タイプ編集

拘束

基準レベル 1FL

下枠高さ -200.0

構成

マテリアルと仕上げ

視線 木 - ナチュラル

枠材(文字)

仕上(文字)

寸法

識別情報

フェース

構築フェース 新築

解体フェース なし

その他

上枠の高さ 2000.0

プロパティヘルプ

適用

2枚引き障子
w1600h2000

新しいドア ▼ タイプ編集

拘束

下枠高さ 0.0

構成

枠タイプ(文字)

マテリアルと仕上げ

和室戸枠 木目 - ナチュラル

枠材(文字)

仕上(文字)

寸法

識別情報

その他

障子組子 木目 - ナチュラル

障子紙 紙 - 障子

上枠の高さ 2000.0

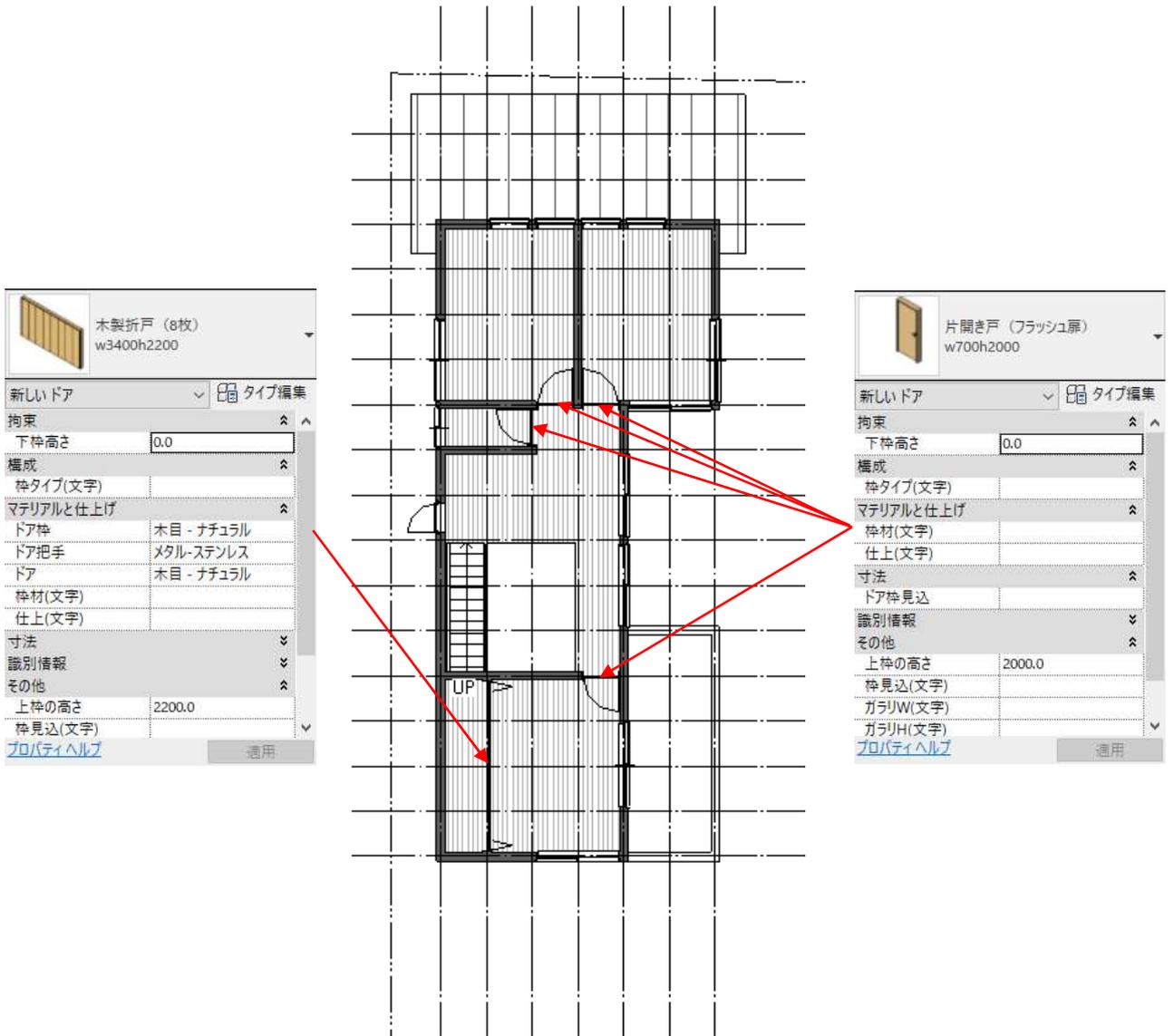
枠見込(文字)

プロパティヘルプ

適用

第三者へのトレーニングのため、このドキュメントを無断転載、複製、配布することは禁止されています

2.8.2. 2階ドアを配置する



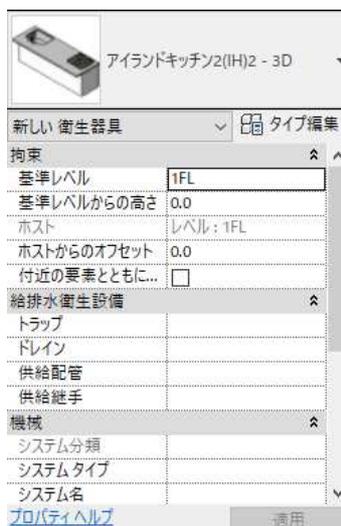
2.9. 住宅設備・家具の配置

2.9.1. 住宅設備(キッチン)を配置する

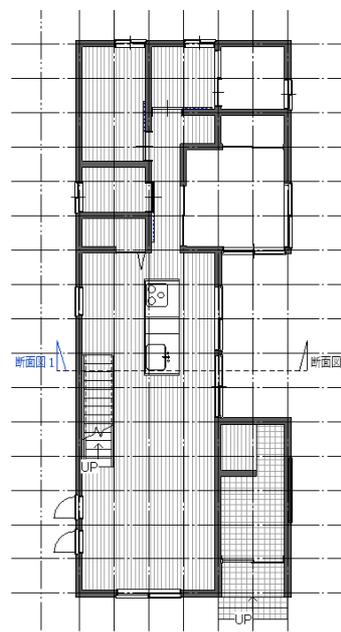
プロジェクトブラウザ[建築/平面図/1階平面図]ビューに切り替える
[建築]タブ-[構築]パネル-[コンポーネント]を選択



プロパティパレットから「キッチン-アイランドキッチン(IH)」を選択
「レベル」を「1FL」、「オフセット」を「0」とする

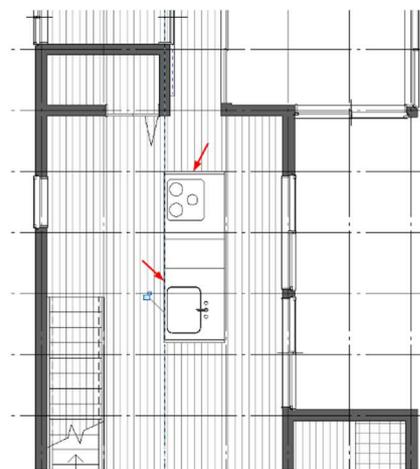


配置する際、キーボードの「スペースキー」を押すとコンポーネントが反時計回りに回転するので、3回押して270度回転させ（半角英数入力となっていることを確認）、右図の位置に配置



[修正]タブ-[修正]パネル-[位置合わせ]を選択

キッチンの端部を「⑧通芯」と「は通芯」にそれぞれ位置合わせする



2.9.2. 同じ位置にレンジフードを配置

レベルオフセットを「1600」とする



第三者へのトレーニングのため、このドキュメントを無断転載、複製、配布することは禁止されています

2.9.3. その他の衛生機器、家具を配置する

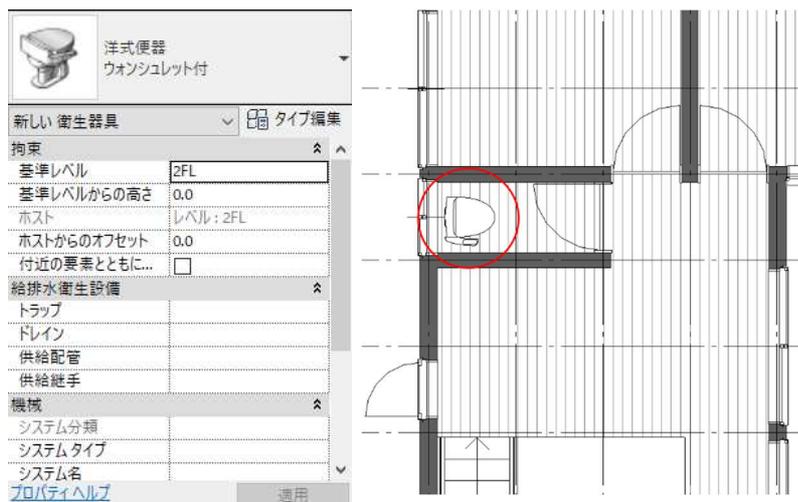
The image displays a central architectural floor plan with several red circles and arrows indicating the placement of fixtures and furniture. Surrounding the plan are several software property palettes for different items:

- 洋式便器5 (Toilet):**
 - 新しい 衛生器具
 - 拘束
 - 基準レベル: 1FL
 - 基準レベルからの高さ: 0.0
 - ホスト: レベル: 1FL
 - ホストからのオフセット: 0.0
 - 付近の要素とともに移動:
 - 給排水衛生設備
 - トラップ
 - ドレイン
 - 供給配管
 - 供給継手
 - 機械
- 洗濯機パン (Washing Machine):**
 - 新しい 特殊設備
 - タイプ編集
 - 拘束
 - 基準レベル: 1FL
 - 基準レベルからの高さ: 0.0
 - ホスト: レベル: 1FL
 - ホストからのオフセット: 0.0
 - 付近の要素とともに移動:
 - 電気 - 負荷
 - パネル
 - 回路番号
 - 識別情報
 - イメージ
 - コメント
 - マーク
- UB2-1616 1616 (Washing Machine):**
 - 新しい 衛生器具
 - タイプ編集
 - 拘束
 - 基準レベル: 1FL
 - 基準レベルからの高さ: 0.0
 - ホスト: レベル: 1FL
 - ホストからのオフセット: 0.0
 - 付近の要素とともに移動:
 - 給排水衛生設備
 - トラップ
 - ドレイン
 - 供給配管
 - 供給継手
 - 機械
 - システム分類
 - システムタイプ
- ウォールキャビネット (Wall Cabinet):**
 - 新しい 家具
 - タイプ編集
 - 拘束
 - 基準レベル: 1FL
 - 基準レベルからの高さ: 0.0
 - ホスト: レベル: 1FL
 - ホストからのオフセット: 0.0
 - 付近の要素とともに移動:
 - 寸法
 - 幅: 2490.0
 - 奥行: 380.0
 - 識別情報
- フロアキャビネット (Floor Cabinet):**
 - 新しい 家具
 - タイプ編集
 - 拘束
 - 基準レベル: 1FL
 - 基準レベルからの高さ: 0.0
 - ホスト: レベル: 1FL
 - ホストからのオフセット: 0.0
 - 付近の要素とともに移動:
 - マテリアルと仕上げ
 - 取手: <カテゴリ別>
 - 寸法
 - 3段目: 390.0
 - 2段目: 250.0
 - 1段目: 150.0
 - 識別情報
- テレビ台1 (TV Stand):**
 - 新しい 家具
 - タイプ編集
 - 拘束
 - 基準レベル: 1FL
 - 基準レベルからの高さ: 0.0
 - ホスト: レベル: 1FL
 - ホストからのオフセット: 0.0
 - 付近の要素とともに移動:
 - 識別情報
 - イメージ
 - コメント
 - マーク
- ダイニングチェア1A (Dining Chair):**
 - 新しい 家具
 - タイプ編集
 - 拘束
 - 基準レベル: 1FL
 - 基準レベルからの高さ: 0.0
 - ホスト: レベル: 1FL
 - ホストからのオフセット: 0.0
 - 付近の要素とともに移動:
 - 識別情報
 - イメージ
 - コメント
 - マーク
- ダイニングテーブル1A (Dining Table):**
 - 新しい 家具
 - タイプ編集
 - 拘束
 - 基準レベル: 1FL
 - 基準レベルからの高さ: 0.0
 - ホスト: レベル: 1FL
 - ホストからのオフセット: 0.0
 - 付近の要素とともに移動:
 - 識別情報
 - イメージ
 - コメント
 - マーク
- 洗面カウンター7 (Washbasin Counter):**
 - 新しい 衛生器具
 - タイプ編集
 - 拘束
 - 基準レベル: 1FL
 - 基準レベルからの高さ: 0.0
 - ホスト: レベル: 1FL
 - ホストからのオフセット: 0.0
 - 付近の要素とともに移動:
 - 給排水衛生設備
 - トラップ
 - ドレイン
 - 供給配管
 - 供給継手
 - 機械
 - システム分類
 - システムタイプ
- 畳_4畳 社 (Mat):**
 - 新しい 家具
 - タイプ編集
 - 拘束
 - 基準レベル: 1FL
 - 基準レベルからの高さ: 0.0
 - ホスト: レベル: 1FL
 - ホストからのオフセット: 0.0
 - 付近の要素とともに移動:
 - 寸法
 - 幅: 2610.0
 - 奥行: 2640.0
 - 識別情報

第三者へのトレーニングのため、このドキュメントを無断転載、複製、配布することは禁止されています

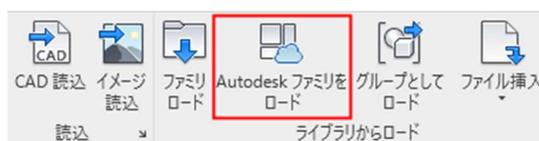
2.9.4. 2階のトイレを配置する

プロジェクトブラウザ[建築/平面図/2階平面図]ビューに切り替える
右図のようにコンポーネントを配置する



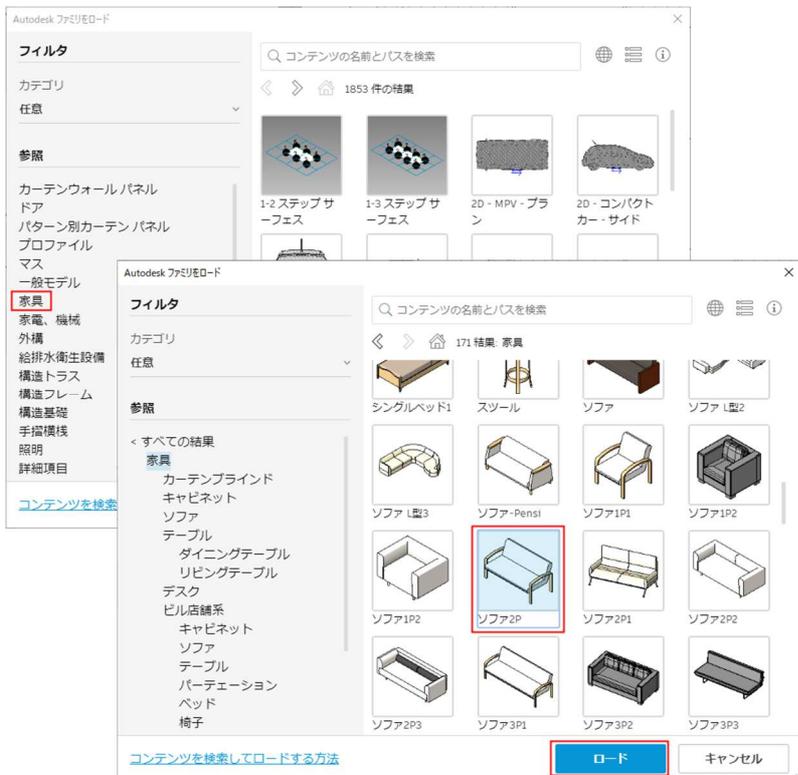
あらかじめテンプレートに入っていないコンポーネント(ファミリー)については PC 内の保存ファイルやクラウドからプロジェクトにロードすることができます

ここではクラウドから Autodesk 作成ファミリーをロードする方法を紹介します



[挿入]タブ-[ライブラリからロード]パネル-[Autodesk ファミリーをロード]を選択

「Autodesk ファミリーをロード」ダイアログが表示されるので、任意のカテゴリを選択し、使用したいファミリーを選択、ロードする



第三者へのトレーニングのため、このドキュメントを無断転載、複製、配布することは禁止されています

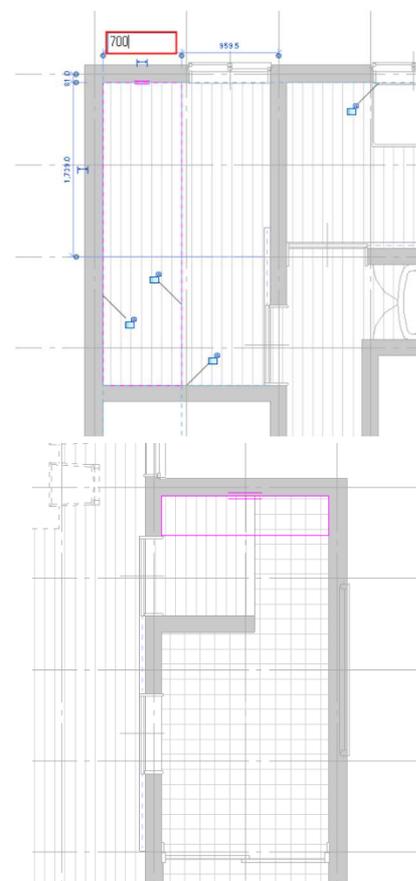
2.9.5. トイレカウンターを作図する

[建築]タブ-[構築]パネル-[床]をドロップダウンし「床 意匠」を選択
プロパティパレットから「床 棚 30」タイプを選択
「基準レベル」は「1FL」、「基準レベル オフセット」は「700」に設定

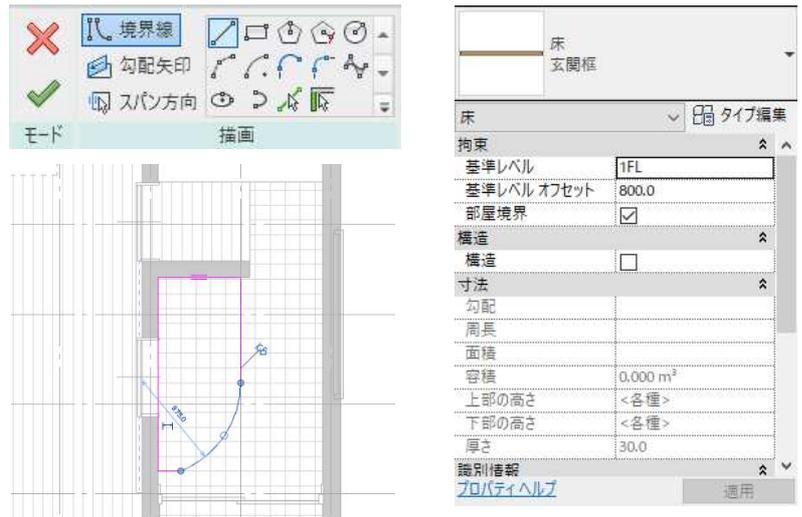


2.9.6. [修正]タブ-[描画]パネル-[長方形]を選択し、トイレカウンターを作図
作図が終わったら[編集モードを終了]をクリック

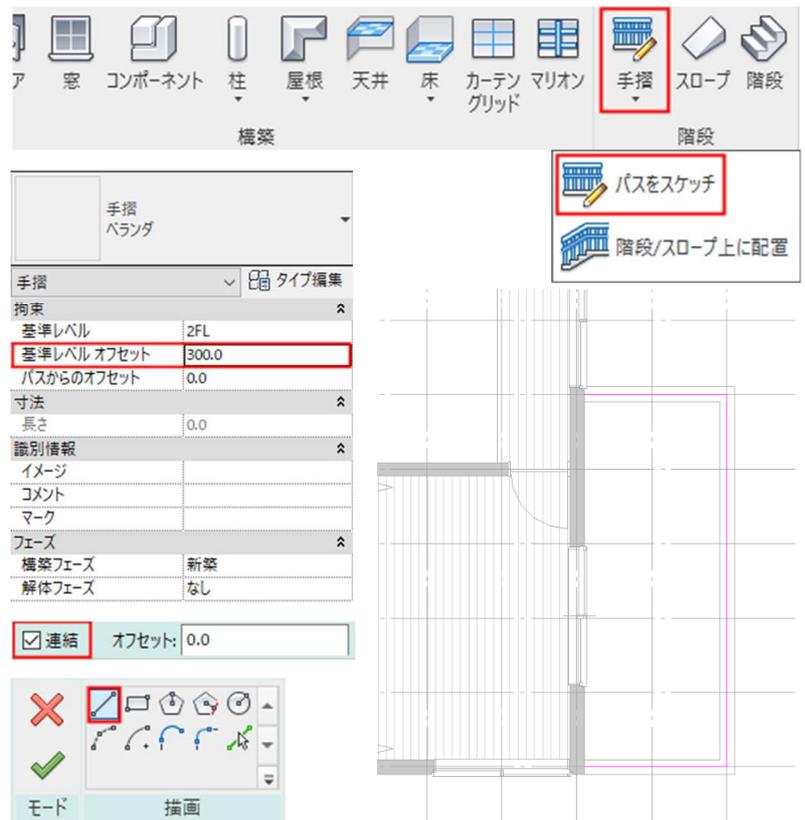
2.9.7. 納戸の棚、シューズクロークの棚も [修正]タブ-[描画]パネル-[長方形]を選択し右図のように作図



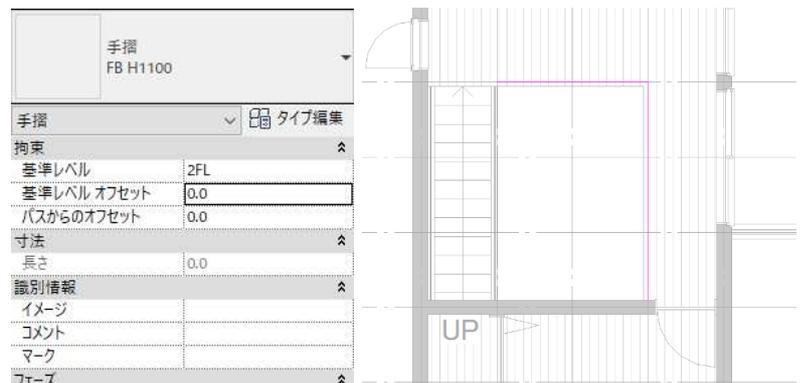
2.9.8. 玄関の式台を[修正]タブ-[描画]パネル-[線] [円弧]を選択し右図のように作図



2.9.9. バルコニーの手すりを作図する
 プロジェクトブラウザ[建築/平面図/2階平面図]ビューを選択
 [建築]タブ-[構築]パネル-[手すり]をドロップダウンして「パスをスケッチ」を選択
 プロパティパレットから「手摺 ベランダ」タイプを選択し「基準レベルからのオフセット」に「300」と入力
 オプションバーの連結にチェック
 [修正]タブ-[描画]パネル-[線]を選択し右図のように作図
 作図が終わったら[編集モードを終了]をクリック



2.9.10. 同様に吹抜け周りの手すりも作図

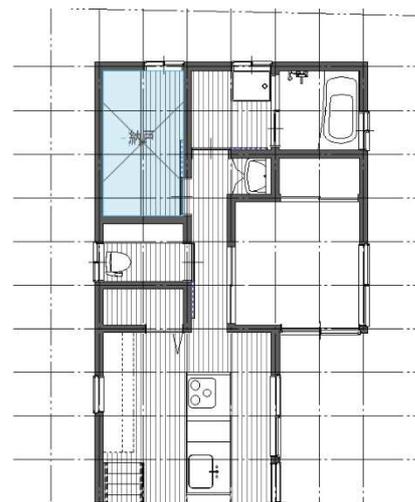
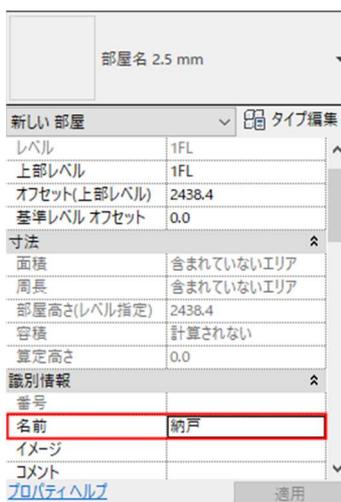


第三者へのトレーニングのため、このドキュメントを無断転載、複製、配布することは禁止されています

2.10. 部屋の作成

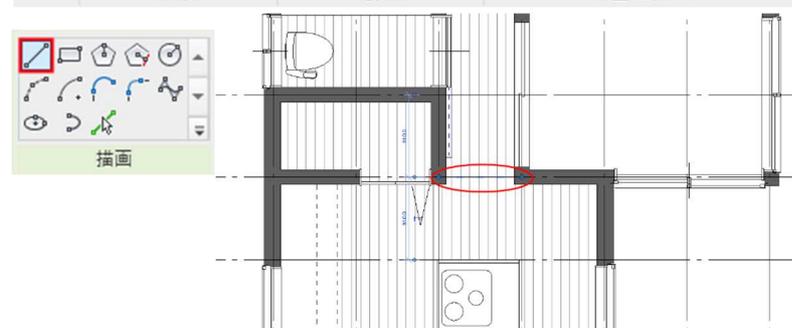
2.10.1. 部屋の設定をする

プロジェクトブラウザ[建築/平面図/1階平面図]ビューに切り替える
[建築]タブ-[部屋/エリア]パネル-[部屋]を選択
プロパティパレットから「部屋名 2.5mm」タイプを選択し「識別情報」の「名前」に「納戸」と入力
壁で仕切られた部屋内にカーソルを持っていきクリック

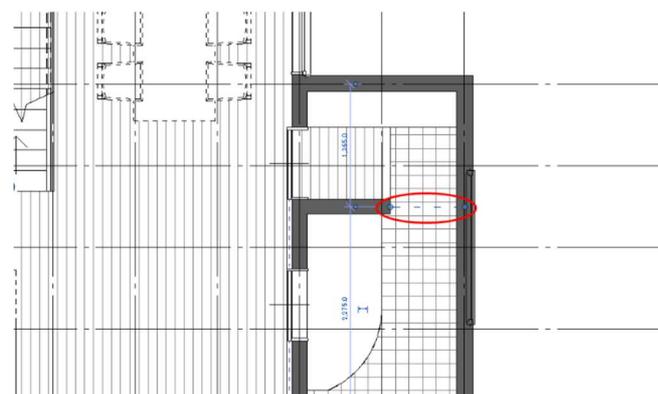


2.10.2. 部屋境界の作成

壁などで区切られていない空間は、あらかじめ部屋をわけます
[建築]タブ-[部屋/エリア]パネル-[部屋境界]を選択
[修正]タブ-[描画]パネル-[線]を選択し、廊下とキッチン間に部屋境界線を作図



同様にして玄関とシューズクロゼットの間に部屋境界線を作図



第三者へのトレーニングのため、このドキュメントを無断転載、復写、配布することは禁止されています

2.10.3. 部屋名を入力する

1 階の部屋名を入力します

[建築]タブ-[部屋/エリア]パネル-

[部屋タグ]を選択

プロパティパレットから「部屋名

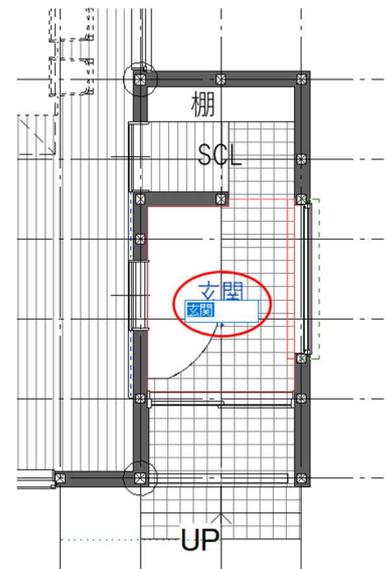
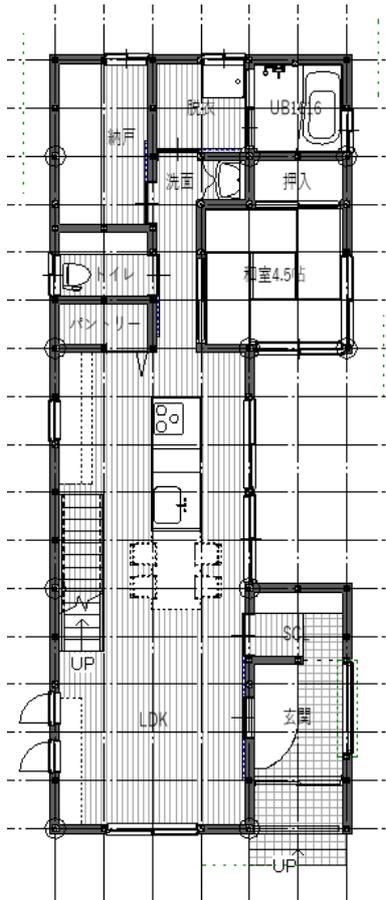
2.5mm」タイプを選択

プロパティパレットの「識別情報」

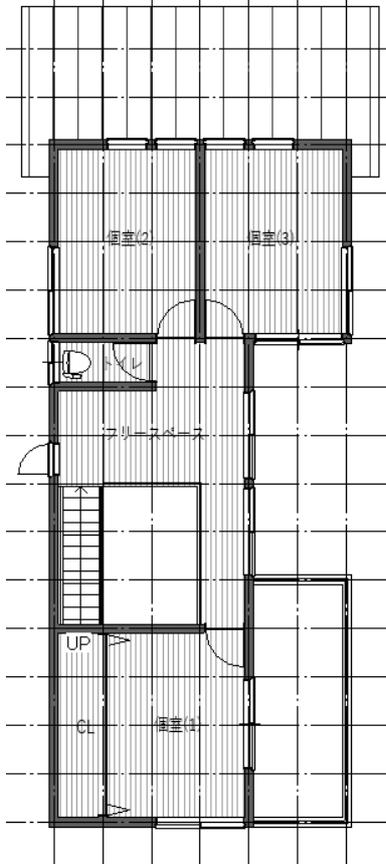
の「名前」にそれぞれの部屋名を入力し、該当の部屋を選択しクリック

設定した部屋名が表示される

室名タグを配置した後で部屋名をダブルクリックし変更することも可能



2.10.4. 2 階の部屋名も同様に作図します



第三者へのトレーニングのため、このドキュメントを無断転載、複写、配布することは禁止されています

3. 図面の作成

3.1. 平面図の作成

3.1.1. 寸法線を作図する

プロジェクトブラウザ[建築/平面図/1階平面図]ビューに切り替える
[注釈]タブ-[寸法]パネル-[平行寸法]を選択



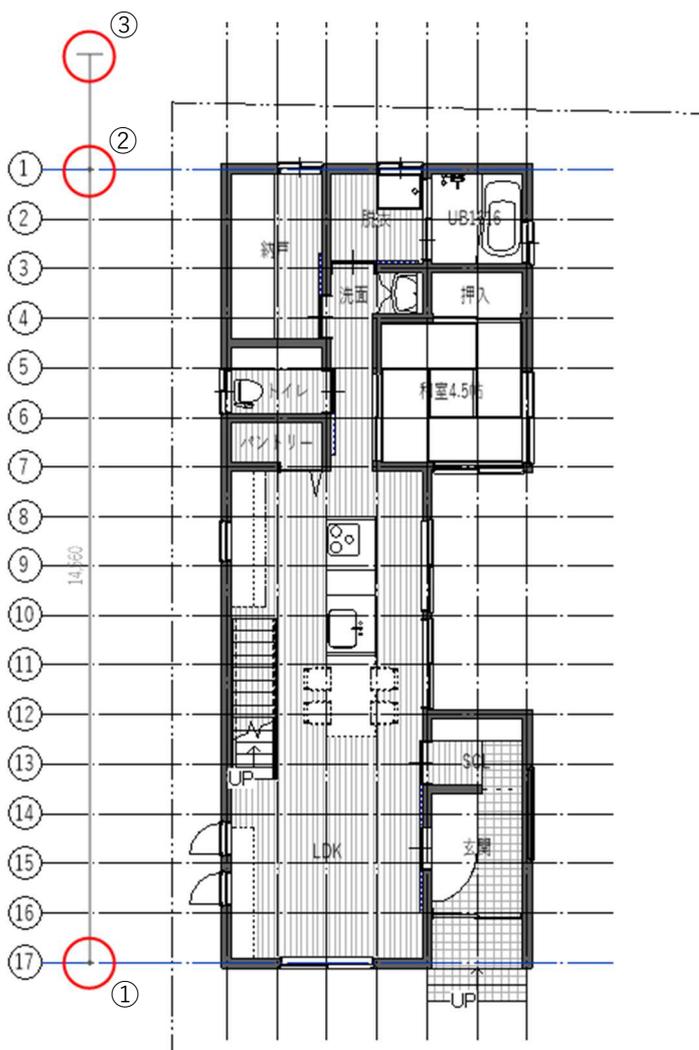
プロパティパレットから「長さ寸法スタイル 2.5mm」タイプを選択



オプションバーで「寸法配置」は「躯体芯」、「選択」は「個々の参照」を選択

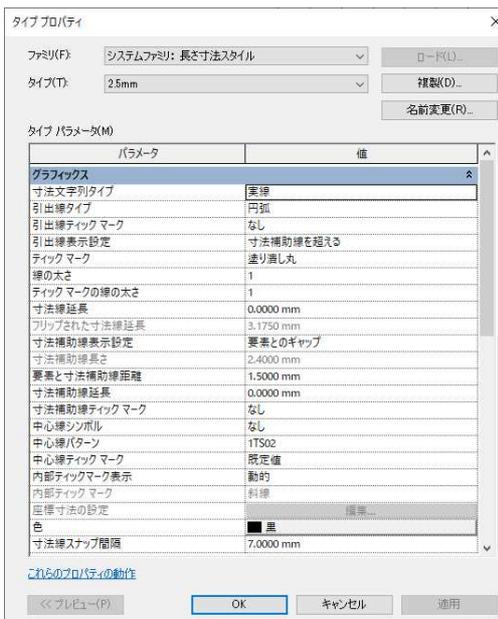


「17 通芯」①、「1 通芯」②の順に通芯上をクリックし、次に寸法の書き込み位置を確定するため③のポイント(他のオブジェクトと重ならないところ)をクリック

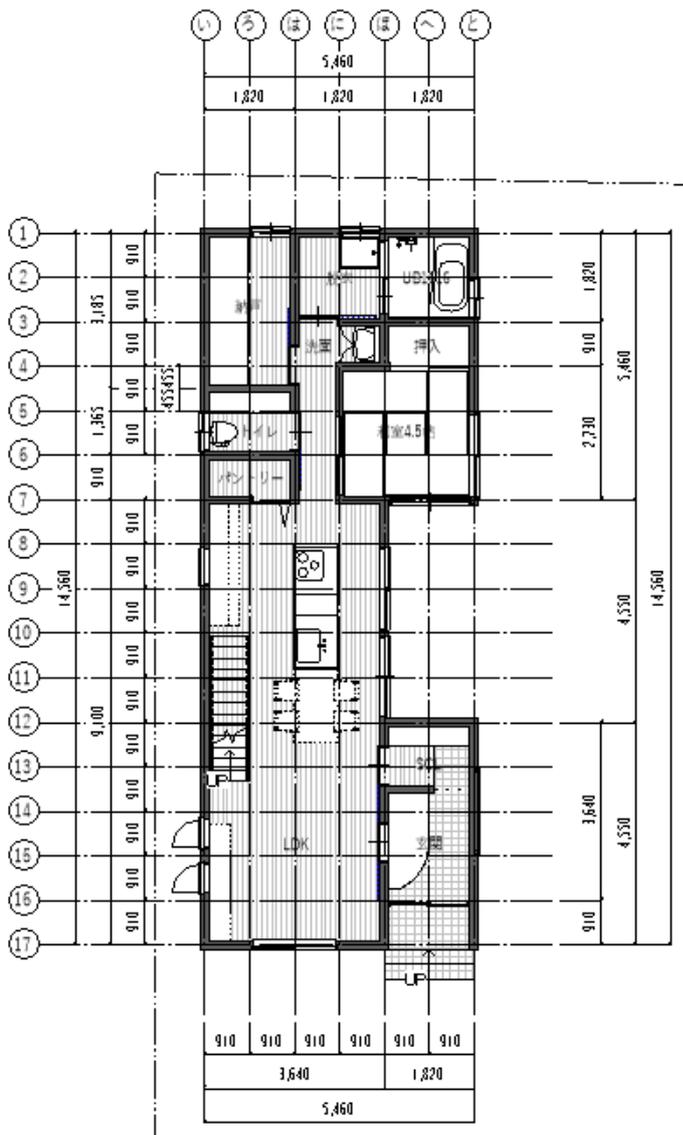


第三者へのトレーニングのため、このドキュメントを無断転載、複製、配布することは禁止されています

3.1.2. 続いて複数の寸法線を記入します
 「タイプ編集」をクリックし、タイププロパティが右図のようになっていることを確認
 「寸法線スナップ間隔」が「7.0mm」となっているので、作図の際隣の寸法線から7.0mmの位置でスナップされる



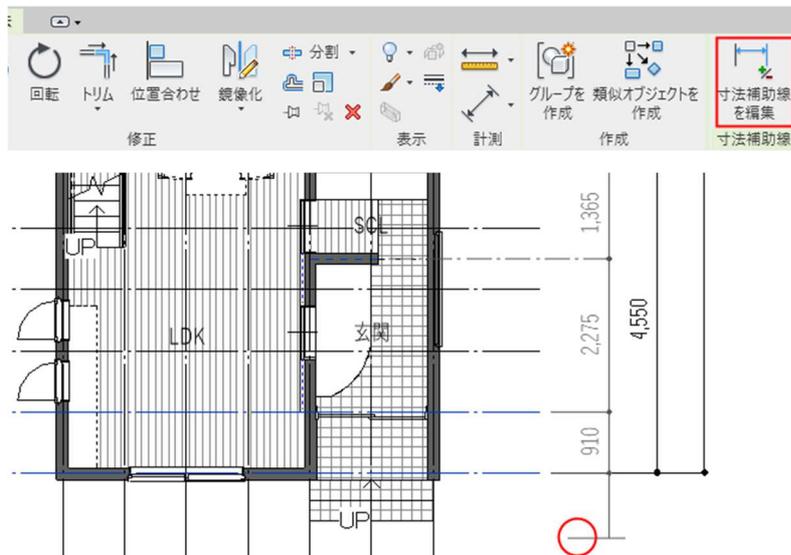
右図の通り寸法を記入
 寸法は1列ずつ連続して入力することができる



3.1.3. 連続入力した寸法線は部分的な消去、追加等の編集ができる

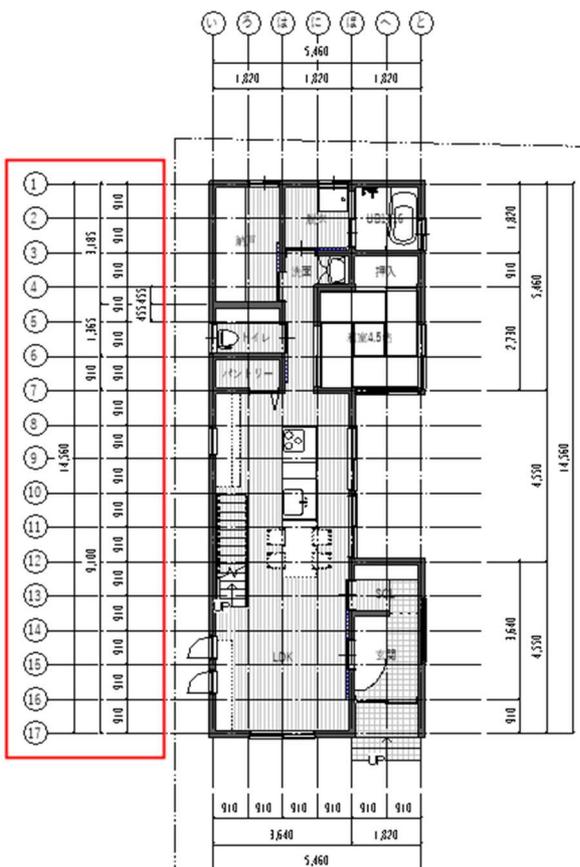
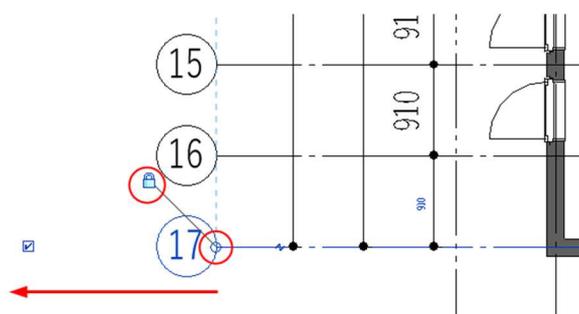
編集したい寸法線をクリック
[修正/寸法]タブ-**[寸法補助線]**パネル-**[寸法補助線を編集]**を選択
 編集したい線をクリックし任意の位置に動かす

※部分消去の場合は消去したい寸法線を**[tab]**キーで選択後**[delete]**



3.1.4. 通芯の記号および寸法の位置を調整します
 任意の通芯を選択
 記号端部の点をクリックし任意の位置までドラッグ

ロックがかかっているため、同列の通芯と寸法線が同時に動きません



第三者へのトレーニングのため、このドキュメントを無断転載、複製、配布することは禁止されています

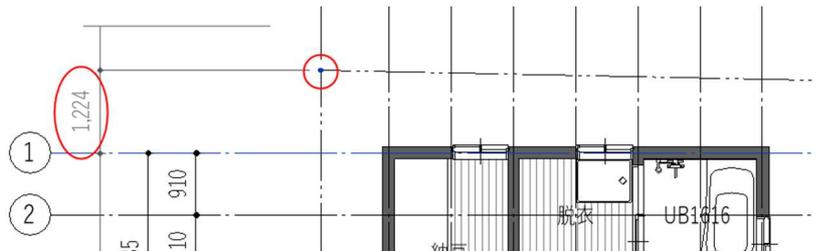
3.1.5. 敷地境界線からの隔離寸法を作図し

ます

編集したい寸法線をクリック

[修正/寸法]タブ-[寸法補助線]パネ

ル-[寸法補助線を編集]を選択

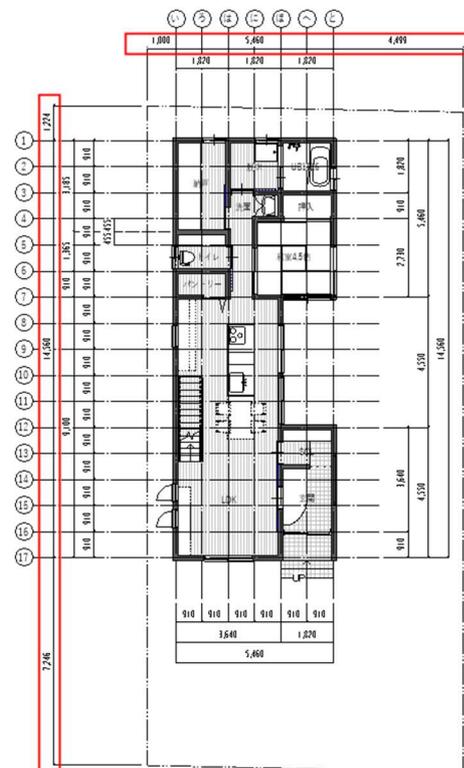


3.1.6. 2階の寸法線を作図する

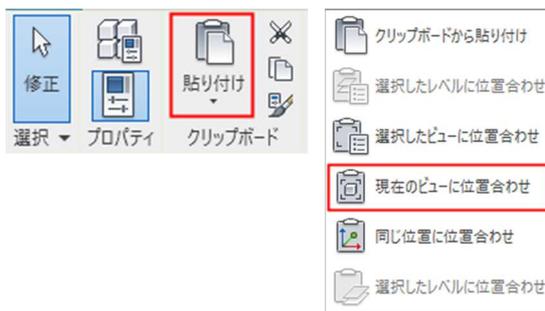
寸法線の作図位置を1階と合わせるため、1階の寸法線を2階の同じ位置にコピーペーストします。

右図の北端、西端の2つの寸法線を選択（2つ目以降を「Ctrl」キーを押しながら選択すると複数選択ができる）

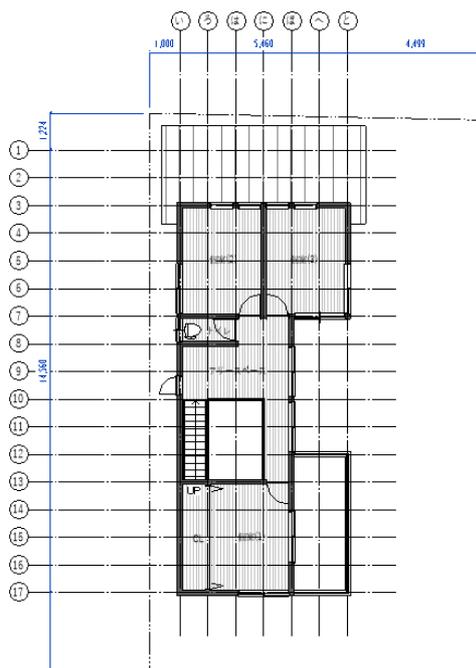
「Ctrl」+「C」でクリップボードにコピー



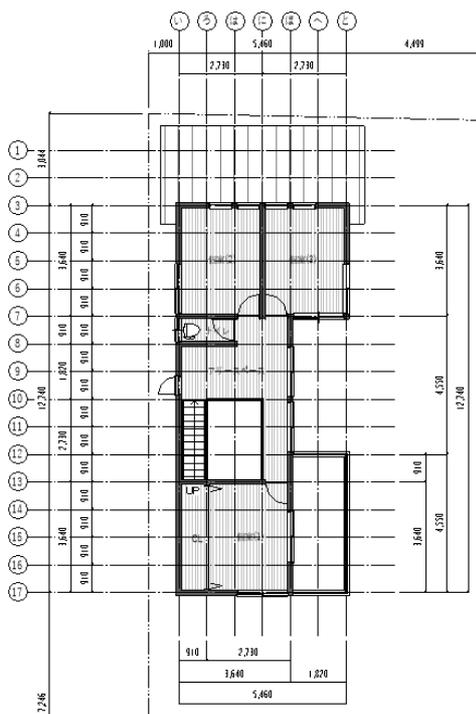
3.1.7. プロジェクトブラウザ[建築/平面図 / 2階平面図]ビューに切り替える [修正]タブ-[クリップボード]パネル-[貼り付け]をドロップダウンし[現在のビューに位置合わせ]を選択



コピーした寸法線が1階と同じ位置にペーストされました



3.1.8. ペーストした寸法線を基準に2階の寸法線を作図



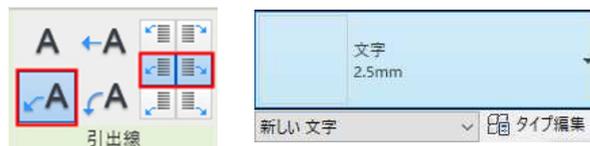
第三者へのトレーニングのため、このドキュメントを無断転載、複写、配布することは禁止されています

3.2. 注釈(文字)の作図

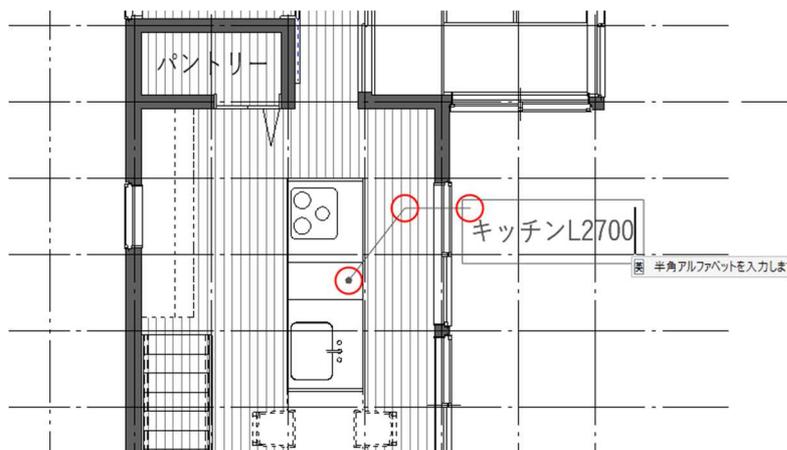
3.2.1. モデルだけでは表現できない文字や線を加筆する

プロジェクトブラウザ[建築/平面図/1階平面図]ビューに切り替える
[注釈]タブ-[文字]パネル-[文字]を選択

プロパティパレットから「文字 2.5mm」タイプを選択
[修正/配置文字]タブ-[引出線]パネル-[2セグメント][中央(右・左)]を選択



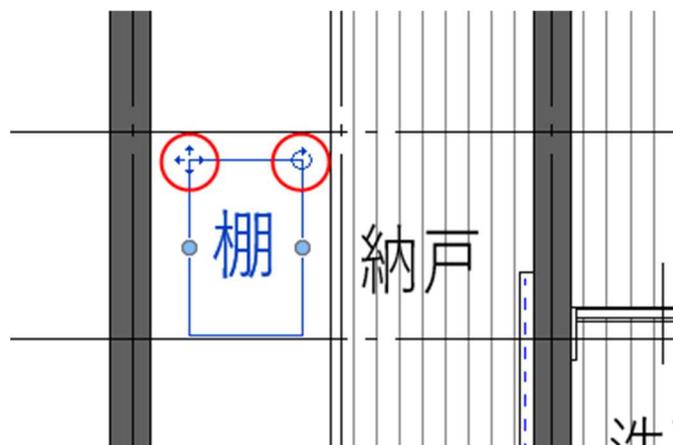
- ### 3.2.2. キッチンを示す注釈文字を記入引出線の開始位置①、引出線の角度②、文字記入位置③と3回クリック
- 文字の位置を確定したら「キッチン L2700」と入力
その他の文字も同様に記入



- ### 3.2.3. 引出線が不要な場合は[修正/配置文字]タブ-[引出線]パネル-[引出線なし]を選択して記入



- ### 3.2.4. 位置の調整は文字を記入してから行います
- 記入した文字を選択すると左上に「移動」マーカーが表示
マーカーをドラッグして位置を調整
また、右上の「回転」マーカーをドラッグして文字を回転

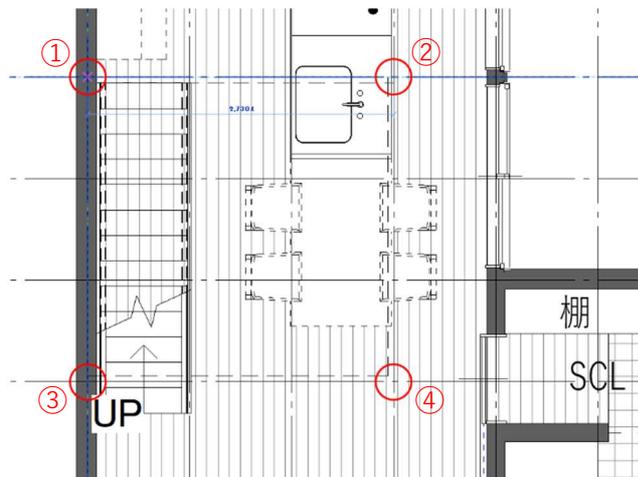


3.2.5. 線分を加筆する

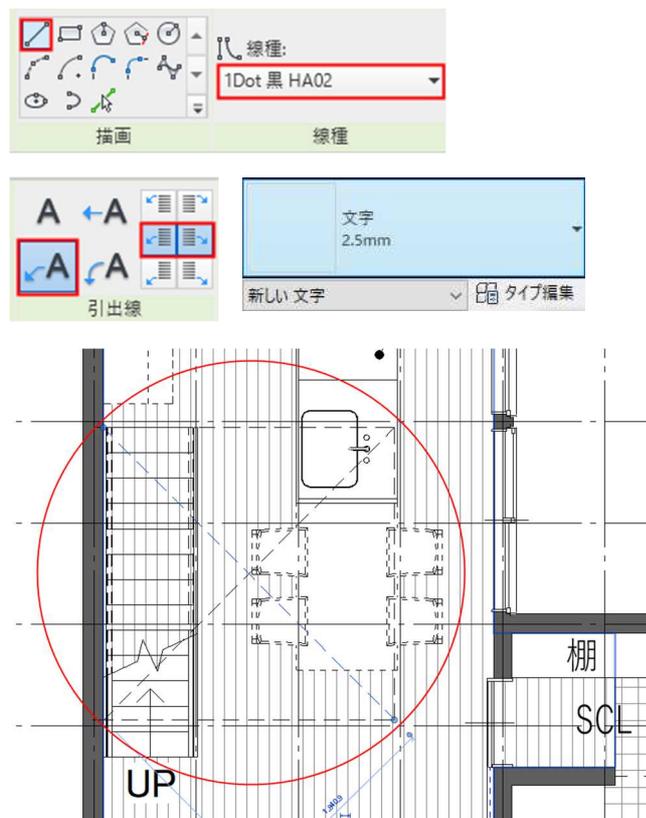
- [注釈]タブ-[詳細]パネル-[詳細線分]を選択
- [修正/配置 詳細線分]タブ-[描画]パネル-[線分]を選択
- [線種]パネル-[2Dot 黒 HA02]を選択
- 「連結」にチェック、「オフセット」に「52.5」と入力



- 3.2.6. 上部吹抜けラインを作図します
- 「13 通芯」「い通芯」の交点、「13 通芯」「に通芯」の交点、「10 通芯」「に通芯」の交点、「10 通芯」「い通芯」の交点の順に作図
- 通芯からの内側に「52.5」オフセットされた位置に線分が記入される



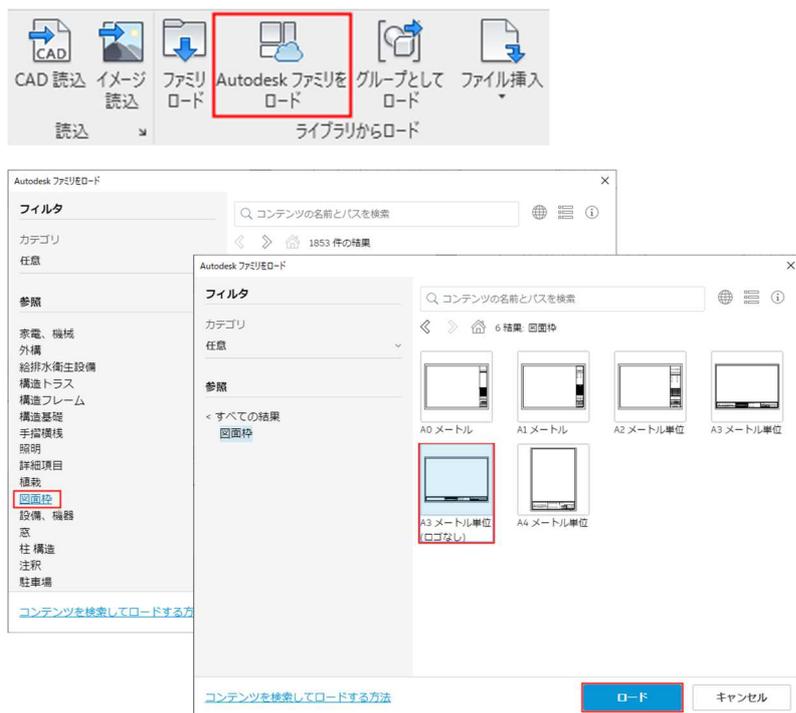
- 3.2.7. 上部吹抜け表示を作図します
- [注釈]タブ-[詳細]パネル-[詳細線分]を選択
- [修正/配置 詳細線分]タブ-[描画]パネル-[線分]を選択
- [線種]パネル-[1Dot 黒 HA02]を選択したまま右図のように吹抜け部を記入
- [注釈]タブ-[文字]パネル-[文字]を選択
- プロパティパレットから「文字 2.5mm」タイプを選択
- [修正/配置文字]タブ-[引出線]パネル-[2セグメント][中央(右・左)]を選択し引出線を作図、「上部：吹抜け」と入力



3.3. 図面シート of 作成

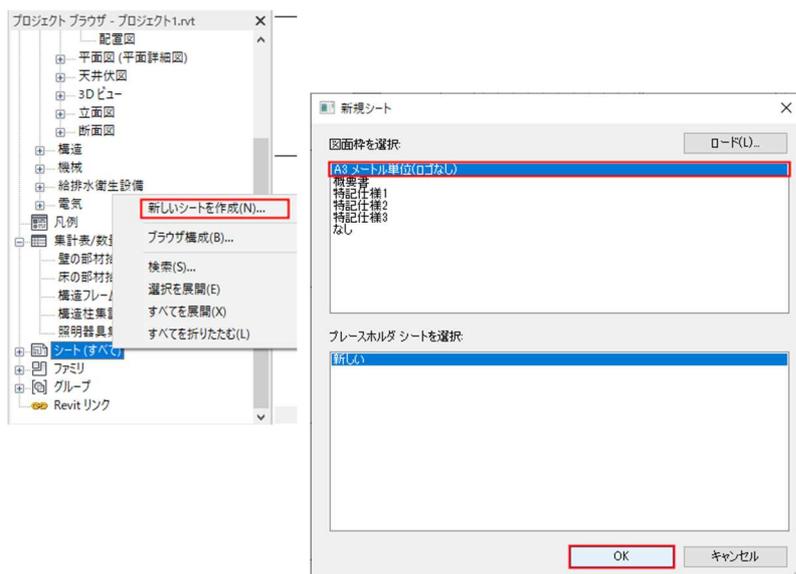
3.3.1. 図面枠をロードする

[挿入]タブ-[ライブラリからロード]
パネル-[Autodesk ファミリをロー
ド]を選択
「図面枠」-「A3 メートル単位(ロゴな
し)」を選択しロード

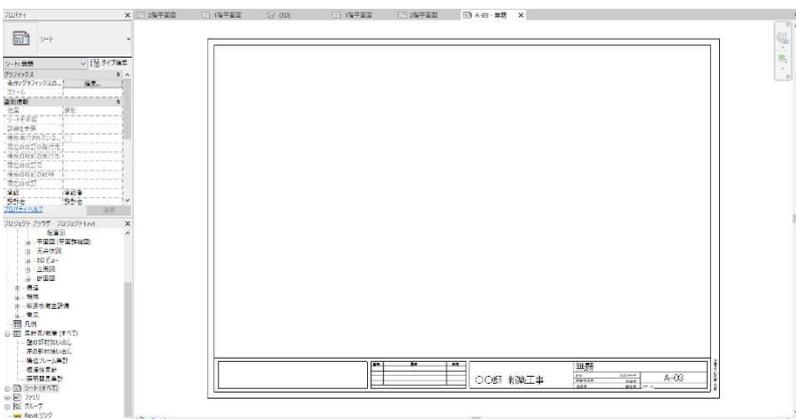


3.3.2. プロジェクトブラウザ[シート(すべて)]ビューを右クリックし、「新しいシートを作成」を選択

「新規シート」ダイアログが表示されるので「A3 メートル単位(ロゴなし)」を選択し「OK」をクリック

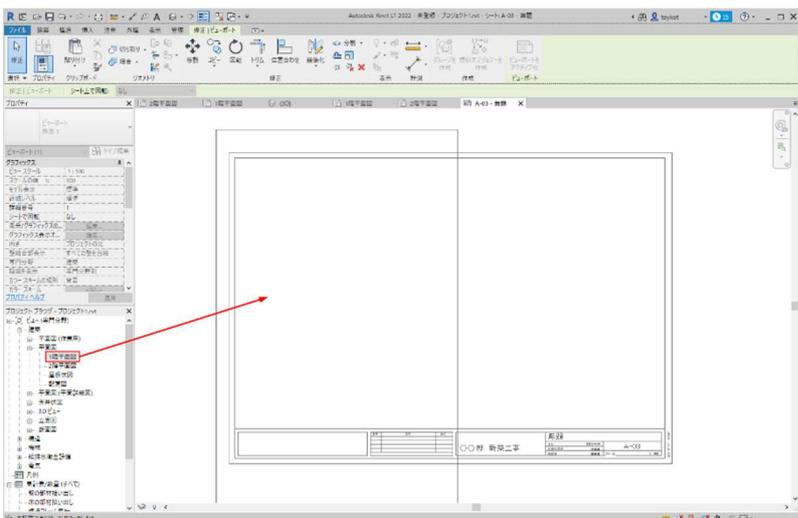


図面枠が表示される

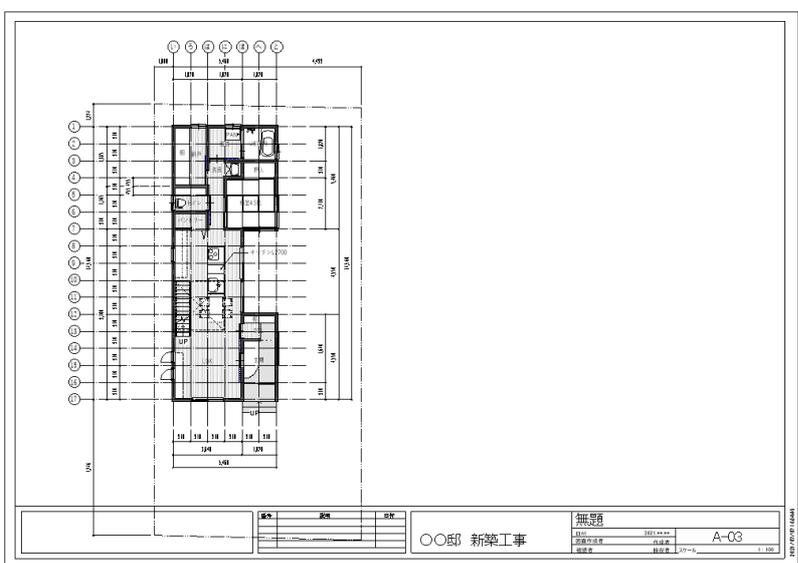


第三者へのトレーニングのため、このドキュメントを無断転載、複製、配布することは禁止されています

3.3.3. 表示された図面枠に、プロジェクトブラウザから[建築/平面図/1階平面図]ビューをドラッグ&ドロップ
1階平面図のアウトラインが表示されるので任意の位置でクリック



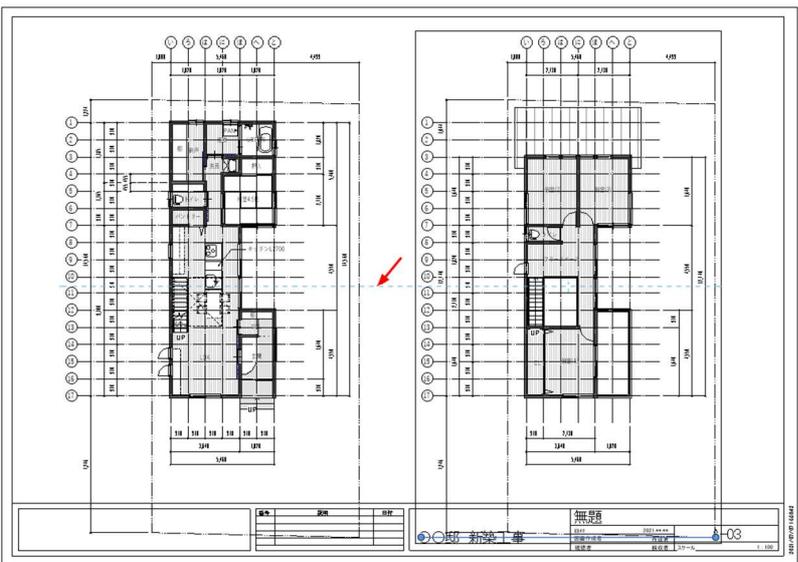
シートに1階平面図がレイアウトされました



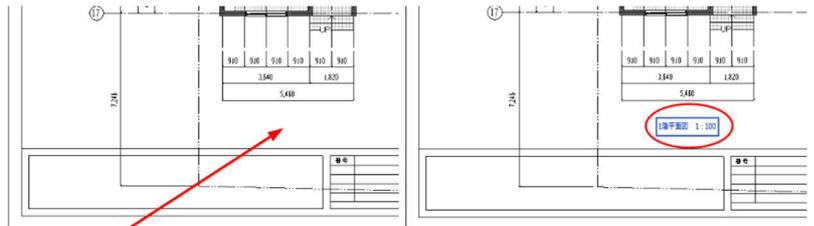
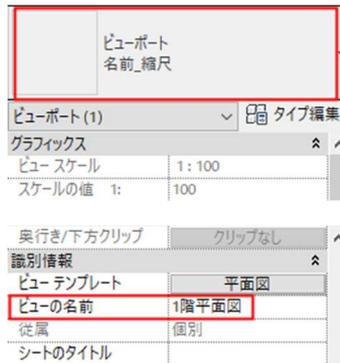
3.3.4. 同じように2階平面図を配置します

プロジェクトブラウザから[建築/平面図/2階平面図]ビューをドラッグ&ドロップ
ドラッグするとガイドライン(青破線)が表示されるのでアタッチされる位置でドロップすると1、2階の位置が揃います

2階平面図がレイアウトされました

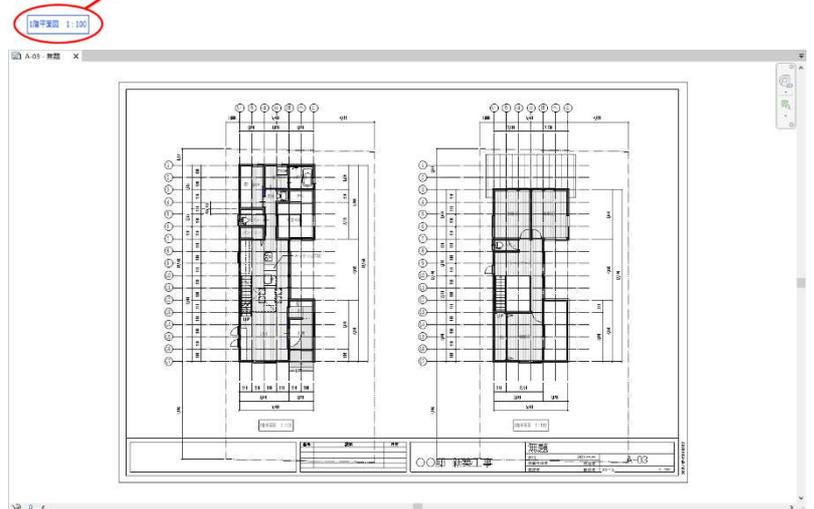


- 3.3.5.** 図面タイトルの形状を変更します
 1階平面図ビューを選択
 プロパティパレットでビューポートを「断面1」から「名前_縮尺」に変更
 「ビューの名前」が「1階平面図」になっていることを確認
 (図面タイトルを変更したいときはここで入力する)
 図面タイトルをクリックしドラッグ
 任意の位置に配置する



- 3.3.6.** 2階平面図も同様に図面タイトルを配置します

作業ウィンドウ上で右クリック
 「全体表示」を選択

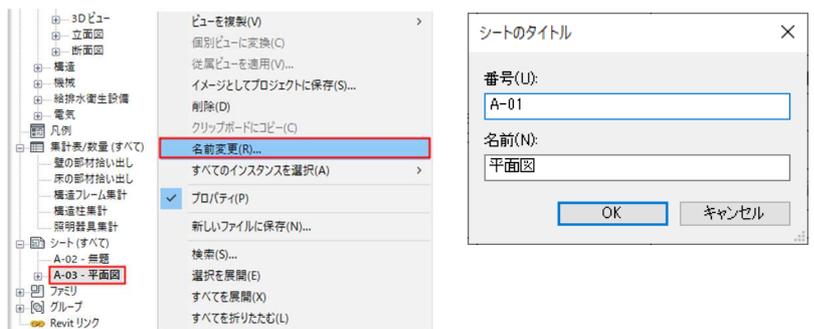


- 3.3.7.** 図面枠をクリックし、右下の「図面タイトル」を「平面図」に「図面番号」を「A-01」にそれぞれ変更



平面図シートが完成しました

(図面タイトル、図面番号の変更は以下の方法でも可能)
 プロジェクトブラウザ[シート(すべて)]- [変更したいシート]を右クリックし、「名前変更」を選択
 「シートのタイトル」ダイアログボックスで図面番号、シート名をそれぞれ入力



第三者へのトレーニングのため、このドキュメントを無断転載、複製、配布することは禁止されています

3.4. 立面図の作成

3.4.1. プロジェクトブラウザ[シート(すべて)]ビューを右クリックし、「新しいシートを作成」を選択

「新規シート」ダイアログが表示されるので「A3 メートル単位(ロゴなし)」を選択し「OK」をクリック

前項の方法で図面タイトルを「立面図」、図面番号を「A-02」に変更する

3.4.2. 表示された図面枠に、プロジェクトブラウザから[建築/立面図/北立面図]ビューをドラッグ&ドロップ
同じように[南立面図] [東立面図] [西立面図]も任意の位置に配置



3.4.3. 立面図ビューを整える

シート上のビューをダブルクリックしてアクティブ化（編集可能）する
レベル線、通芯線を任意の長さに変更

「土台天端」「最高高さ」「2F 梁天」レベルを選択し右クリック

「ビューで非表示」-「要素」を選択し非表示にする

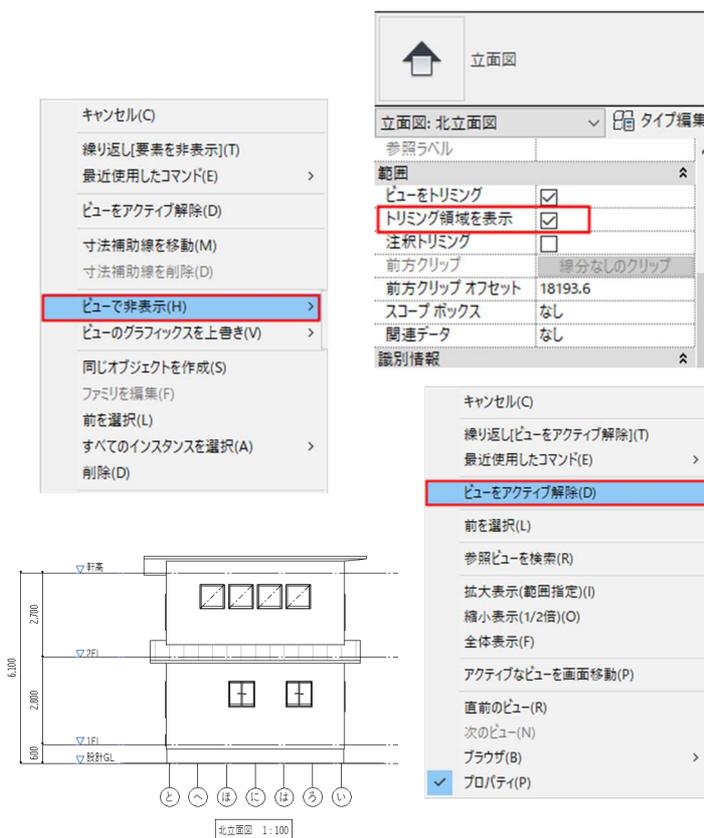
寸法線を入れる

プロパティパレットで「範囲」の「トリミング領域を表示」チェックをはずす

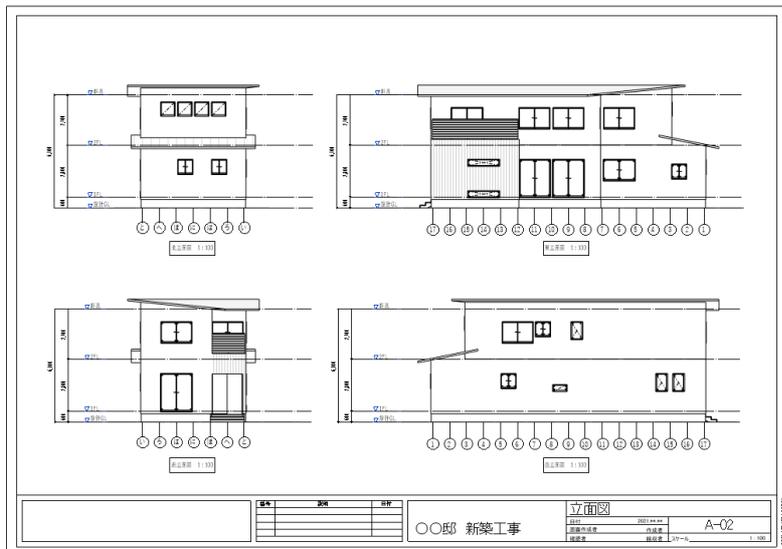
右クリック「ビューをアクティブ解除」を選択

プロパティパレットでビューポートを「断面 1」から「名前_縮尺」に変更し任意の位置に図面タイトルを配置

その他のビューも同じように整える



立面図シートが完成しました



3.5. 断面図の作成

3.5.1. 断面ビューを作成する

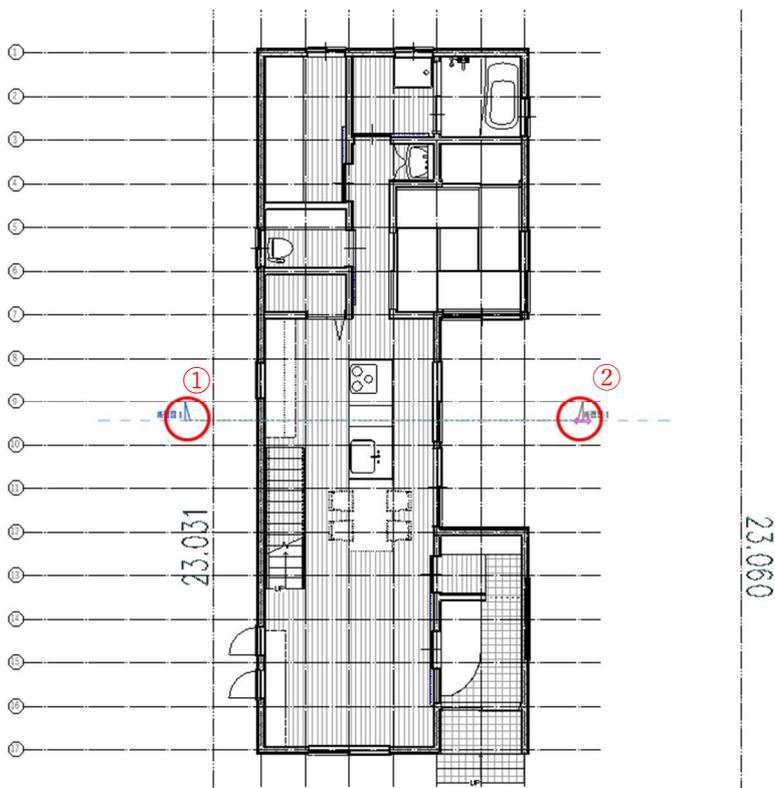
プロジェクトブラウザ[**建築/平面図**
(**作業用**) /**作業用 1 階平面図**]]ビュー
に切り替える

ツールバーから[**断面**]を選択



右図の位置に①、②の順にクリック
し断面線を作成する

※断面線など、図面上に表示したくない
記号などは通常の[**平面図**]ビュー
ではなく[**作業用平面図**]ビューに
作図すると良い

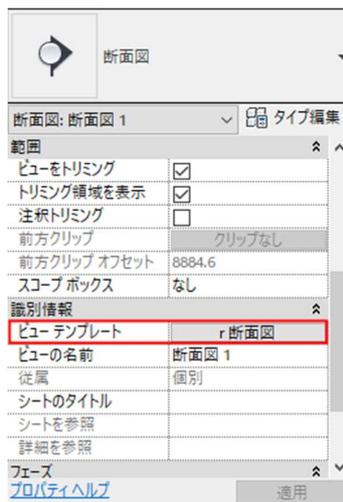


プロジェクトブラウザに[**建築/断面**
図/断面図 1]ビューが追加されたこ
とを確認

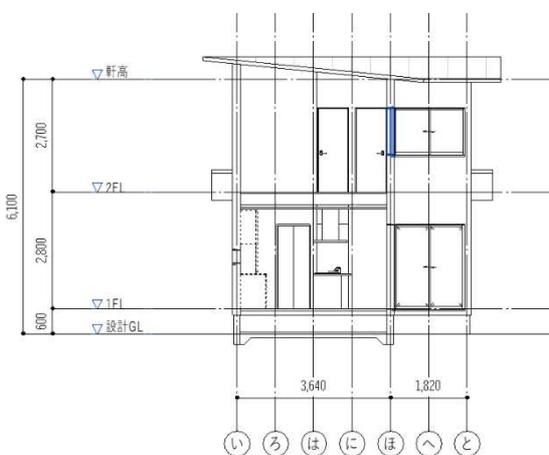
第三者へのトレーニングのため、このドキュメントを無断転載、複製、配布することは禁止されています

3.5.2. プロジェクトブラウザ[建築/断面図/断面図 1]ビューに切り替える

プロパティパレットで「識別情報」の「ビューテンプレート」を「r 断面図」に変更する



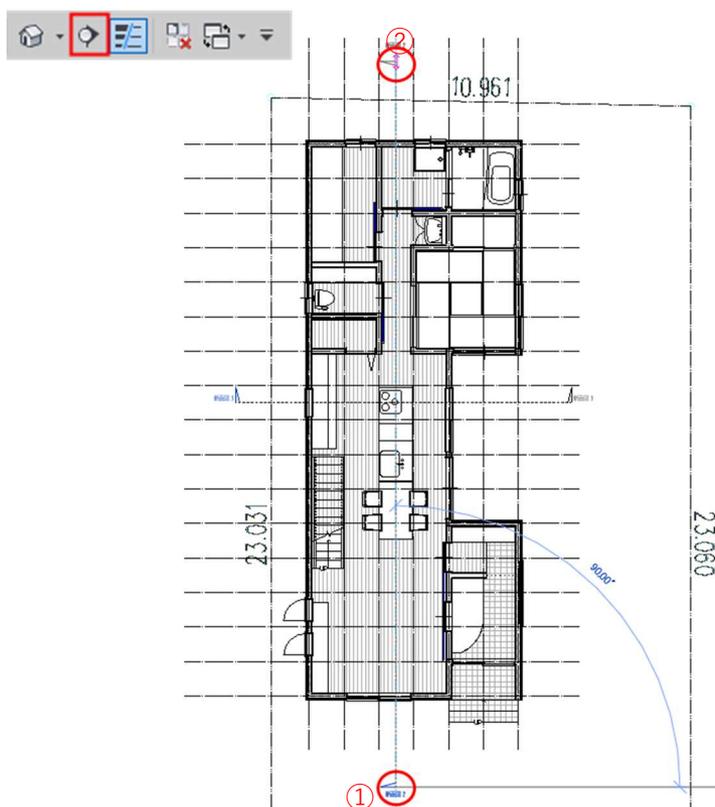
3.5.3. 通り芯線、レベル線の長さを調整、寸法線の記入
その他右図のように整える



3.5.4. 南北断面ビューを作成する

プロジェクトブラウザ[建築/平面図(作業用)/作業用 1 階平面図]ビューに切り替える
クイックアクセスツールバーから[断面]を選択

右図の位置に①、②の順にクリックし断面線を作成する



3.5.5. プロジェクトブラウザ[建築/断面図/断面図 2]ビューに切り替える
同じようにビューを整える

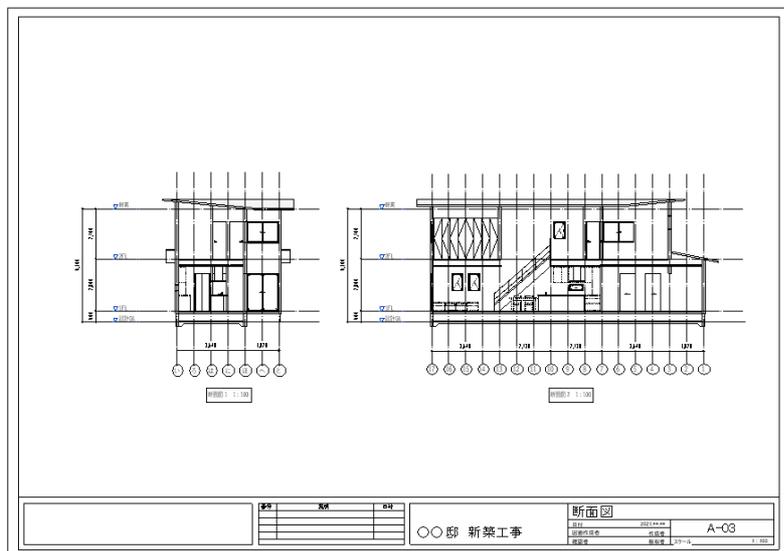
3.5.6. 図面シートに断面図を配置する

プロジェクトブラウザ[シート(すべて)]ビューを右クリックし、「新しいシートを作成」を選択
「新規シート」ダイアログが表示されるので「A3 メートル単位(ロゴなし)」を選択し「OK」をクリック

3.5.7. 前項の方法で図面タイトルを「断面図」、図面番号を「A-03」に変更

3.5.8. 表示された図面枠に、プロジェクトブラウザから[建築/断面図/断面図 1・断面図 2]ビューをドラッグ&ドロップ

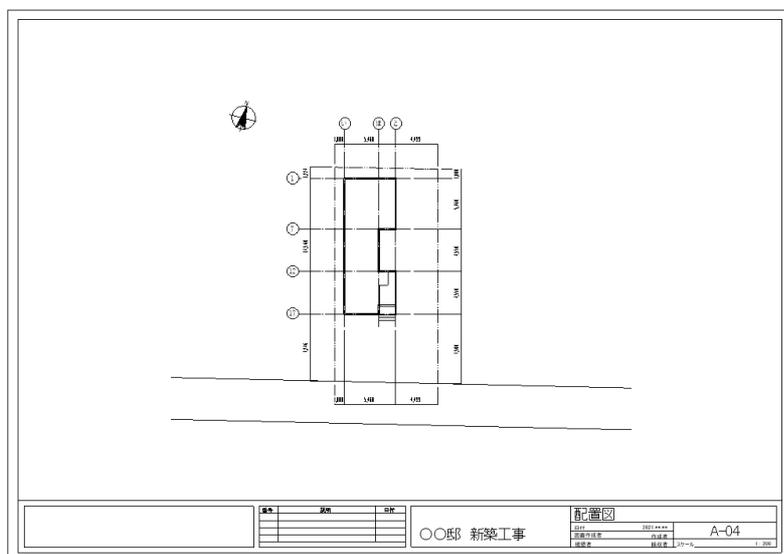
断面図シートが完成しました



3.6. 配置図の作成

上記と同じようにして新しい図面シートを作成
図面タイトルを「配置図」、図面番号を「A-04」に変更

3.6.1. プロジェクトブラウザから[建築/平面図/配置図]ビューをドラッグ&ドロップして配置 右図のように寸法線を配置



3.6.2. 必要の無い通芯を非表示にする

3.6.3. [注釈]タブ-[詳細]パネル-[領域]をプルダウンし[塗潰領域]を選択



第三者へのトレーニングのため、このドキュメントを無断転載、複製、配布することは禁止されています

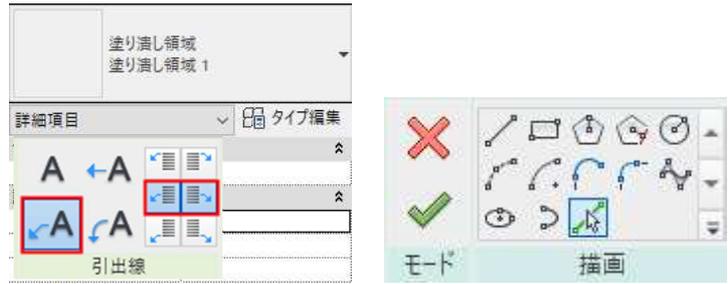
プロパティパレットで「塗り潰し領域 1」を選択

[修正/作成 塗り潰し領域の境界]タブ

-[描画]パネル-[選択]を選択

建物のライン(外壁外側のライン)を作図

「編集を終了」をクリック

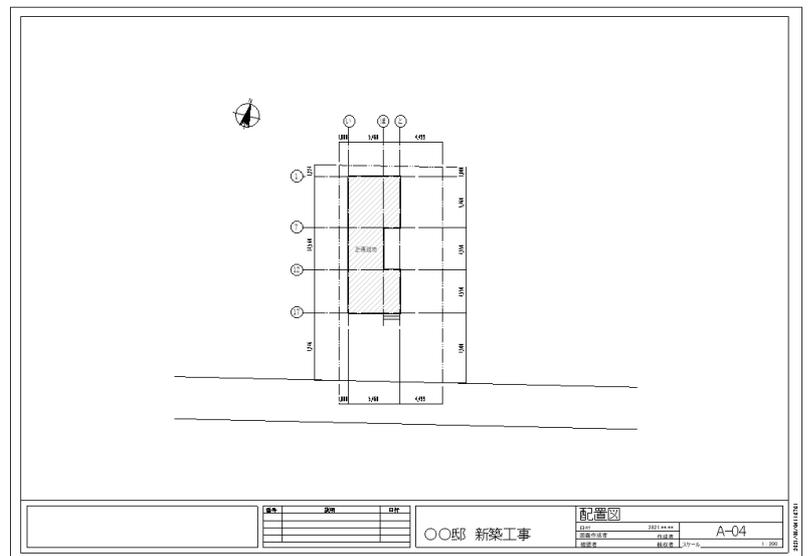


建物位置がマスキングされる



「計画建物」と文字を入力し配置

右図のような配置図が完成



4. 構造部材の入力

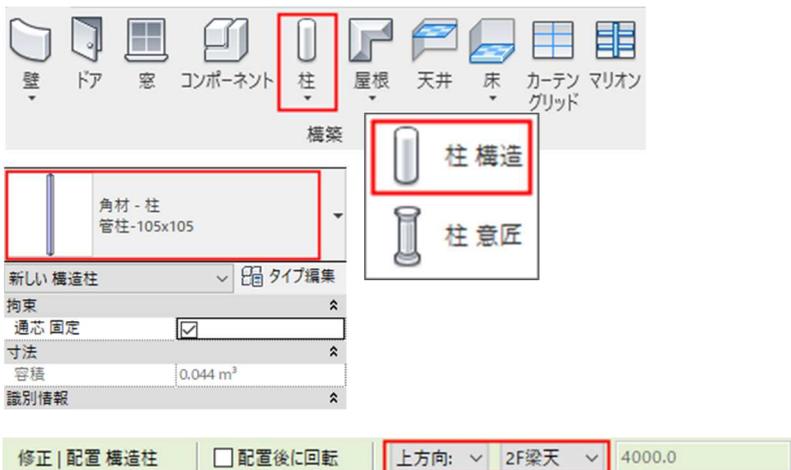
4.1. 柱の作図

4.1.1. 構造柱を作図する

プロジェクトブラウザ[建築/平面図(作業用)/作業用1階平面図]ビューに切り替える

[建築]タブ-[構築]パネル-[柱]をドロップダウンし「柱 構造」を選択
プロパティパレットから「角材-柱管柱 105 x 105」タイプを選択

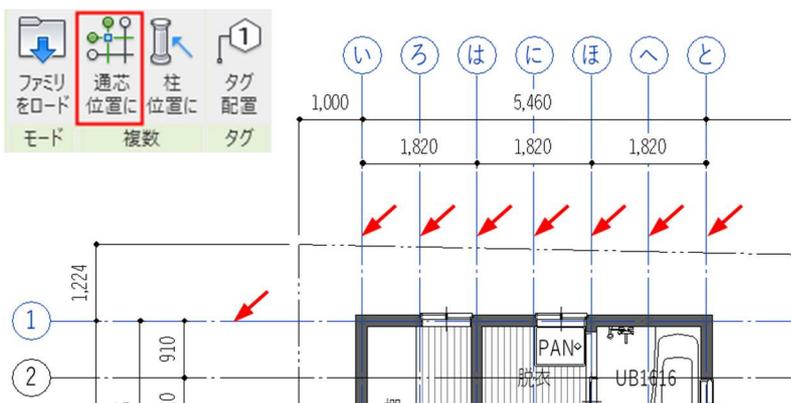
オプションバー[修正|配置 構造柱]の基準を「見上げ」「2F 梁天」に設定



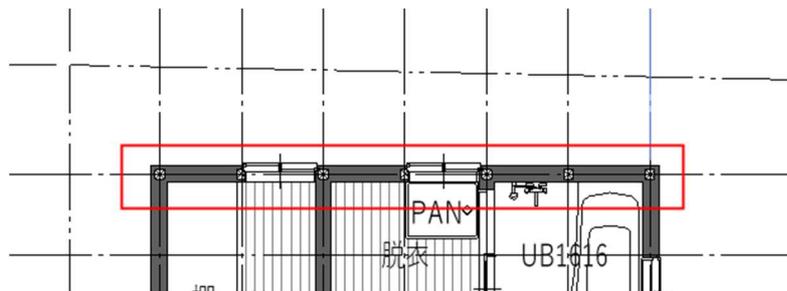
4.1.2. [修正 | 配置 構造柱] タブの [複数] パネルから「通芯位置に」を選択

「1 通芯」を選択し、その後「CTRL」ボタンを押しながら、「い通芯」、「ろ通芯」、「は通芯」、「に通芯」、「ほ通芯」、「へ通芯」、「と通芯」を選択

通芯を選択後、「複数」パネルの「終了」を選択



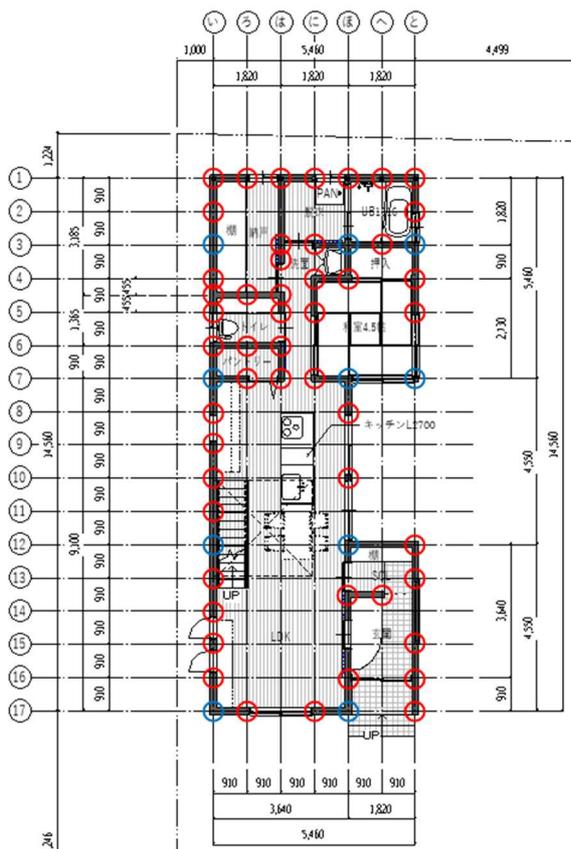
この方法で柱を入力すると、通芯に柱の基点が自動的にロックされるので、作図中に無作為に柱が移動してしまうことを防げます



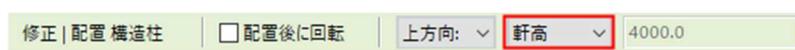
4.1.3. 同様に「2 通芯」「3 通芯」と通芯毎に交点を指定し、繰り返して全体を作図

通芯上にない柱は壁の交点を選択して作図

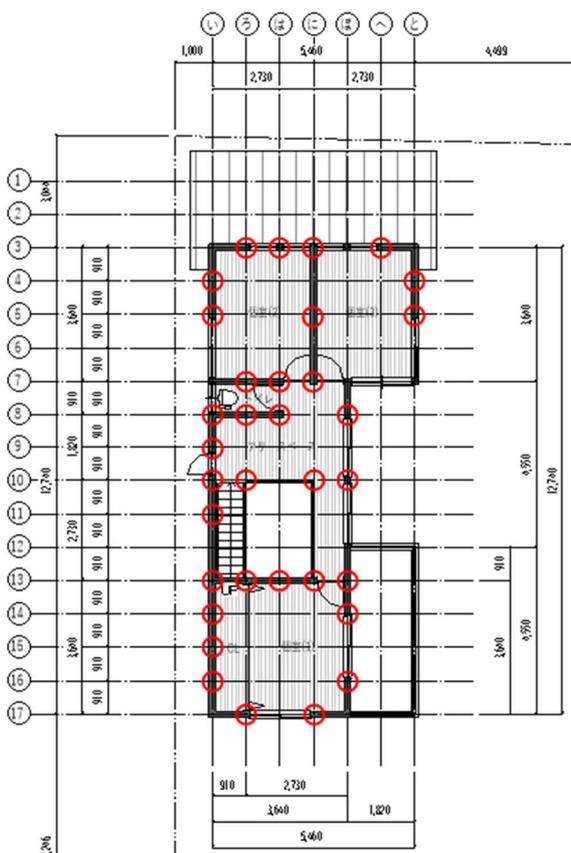
右図の赤丸の位置に「管柱-105x105」、青丸の位置に「通柱-120x120」を配置



4.1.4. 通柱はオプションバー「修正|配置構造柱」の基準を「上方向」「軒高」に設定して配置する



4.1.5. 2 階の柱を作図する
「通柱」は 1 階平面図に既に配置済みのため入力しない



第三者へのトレーニングのため、このドキュメントを無断転載、複製、配布することは禁止されています

4.1.6. プロジェクトブラウザ[構造/構造伏図(構造平面) /土台伏図]ビューに切り替える

「管柱-105x105」を1つ選択し、マウスを右クリック

「全てのインスタンスを選択」、「ビューに表示」を選択

ビュー内の「管柱-105x105」が全て選択される

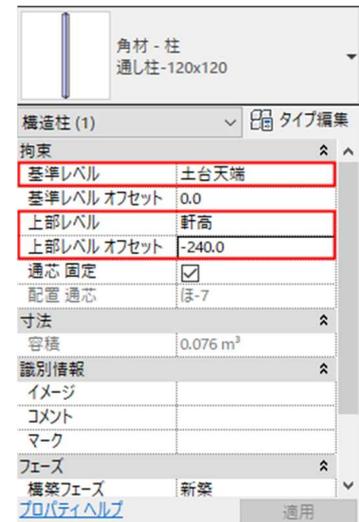
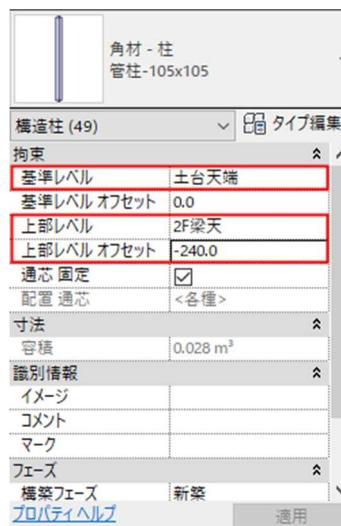


「プロパティパレット」の「基準レベル」を「土台天端」、「上部レベル」は「2F 梁天」のまま「上部からのオフセット」を「-240」(梁高さ)に設定

4.1.7. 「通柱-120x120」を1つ選択し、マウスを右クリック

上記の方法で同じようにビュー内の同じインスタンスを全て選択

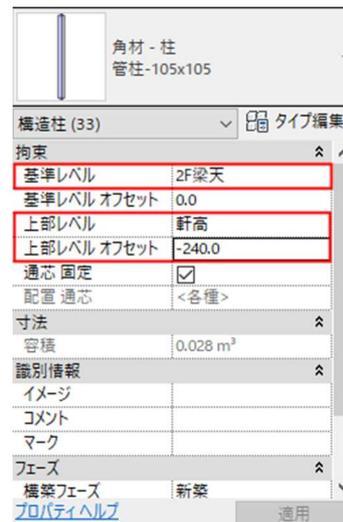
「プロパティパレット」の「基準レベル」を「土台天端」、「上部レベル」は「軒高」のまま「上部からのオフセット」を「-240」(梁高さ)に設定



4.1.8. プロジェクトブラウザ[構造/構造伏図(構造平面) /2 階梁伏図]ビューに切り替える

「管柱-105x105」をすべて選択

「プロパティパレット」の「基準レベル」を「2F 梁天」、「上部レベル」は「軒高」のまま「上部からのオフセット」を「-240」(梁高さ)に設定

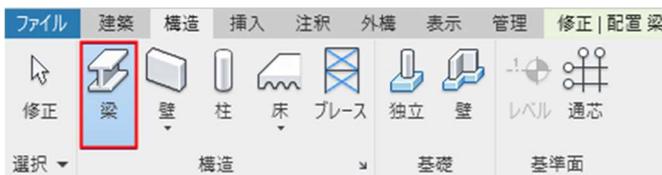


4.2. 梁の作図

4.2.1. 構造梁を作図する

プロジェクトブラウザ[構造/構造伏図(構造平面) /2 階梁伏図]ビューを選択

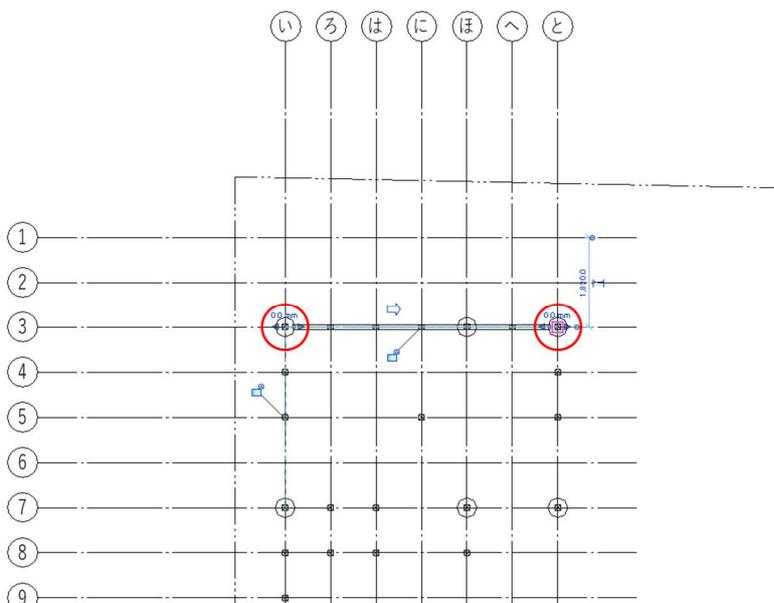
[構造]タブ-[構造]パネル-[梁]を選択



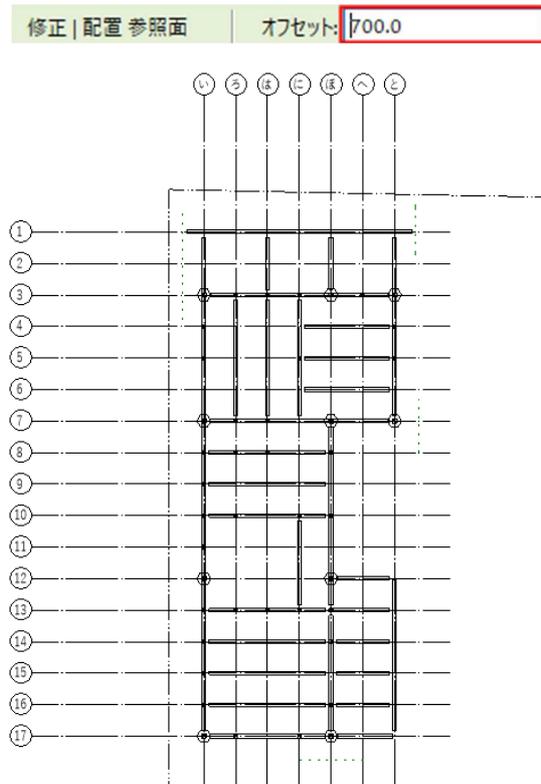
プロパティパレットから「角材-梁 105x240」タイプを選択
 オプションバー「修正|配置 梁」の配置面が「レベル：2F 梁天」となっていることを確認



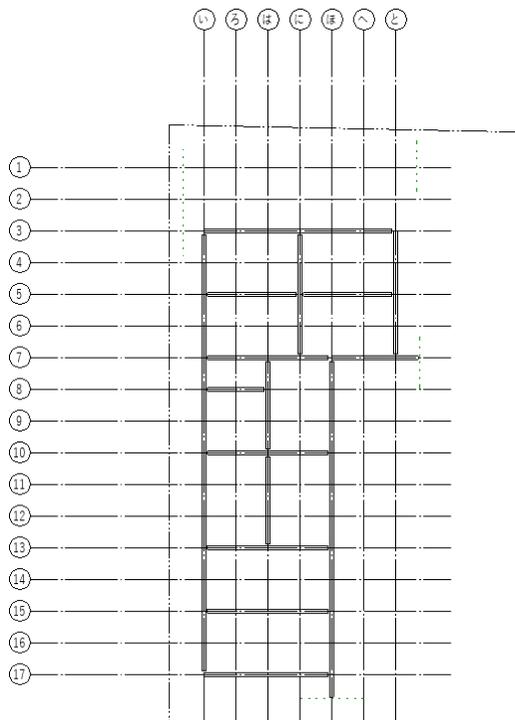
4.2.2. 「3 通芯」に 105x240 の梁を配置します
 「3 通芯」「い通芯」の交点(柱中心)、
 「3 通芯」「と通芯」の交点(柱中心)の順に選択をして梁を作図



4.2.3. 他の梁も右図のように配置します
軒の出部分は「い通芯」「と通芯」から
700 の位置に「参照面」を作図し、そ
れを基準に配置します

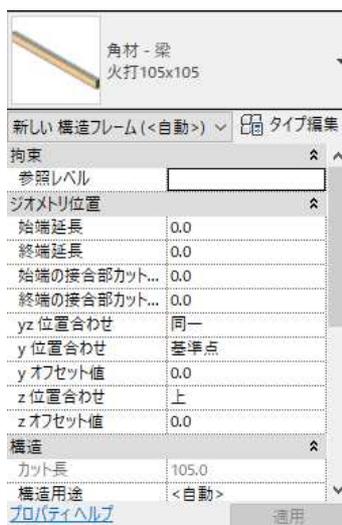


4.2.4. プロジェクトブラウザ[構造/構造伏
図(構造平面) /小屋伏図]ビューに
切り替える
同じように「角材-梁 105x240」タイ
プの梁を右図の位置に配置

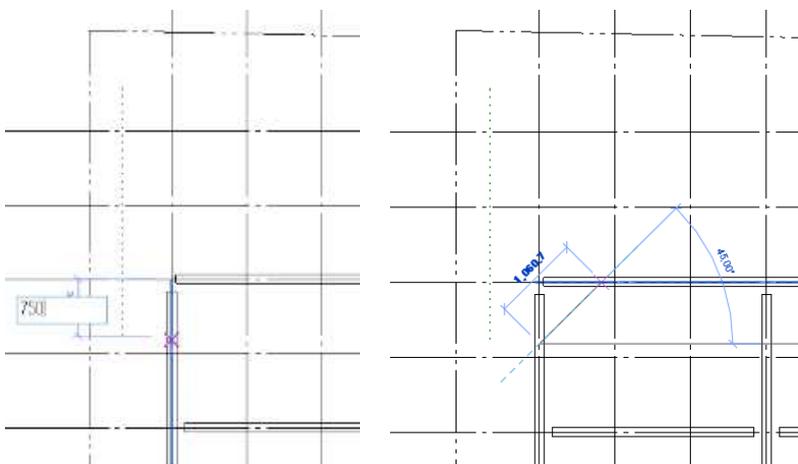


4.2.5. 火打梁を作図する

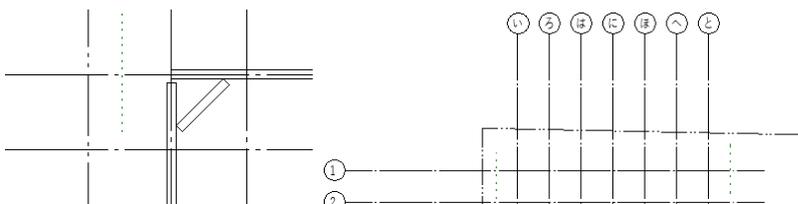
プロパティパレットから「角材-梁
火打 105x105」タイプを選択
オプションバー「修正|配置 梁」の配
置面が「レベル：軒高」となっている
ことを確認



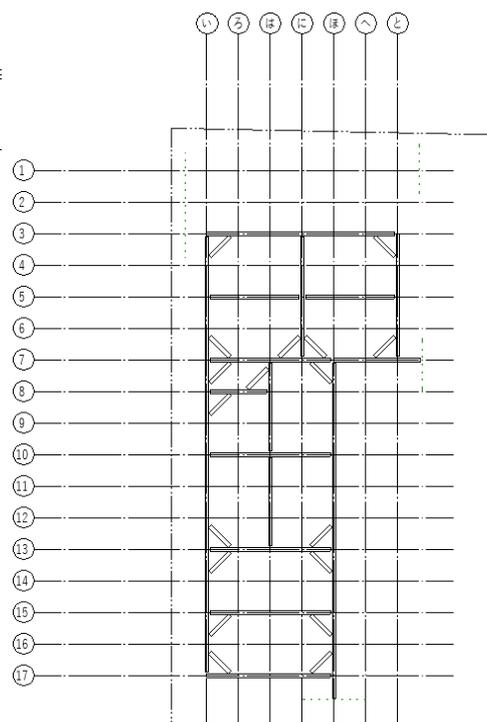
「い通芯」上で「3 通芯」から南に 750
の位置でクリック
「3 通芯」上で 45 度の位置でクリッ
ク



火打梁が「い通芯」「3 通芯」の隅に配
置される



続けて右図の位置に配置する



5. プレゼンテーション資料の作成

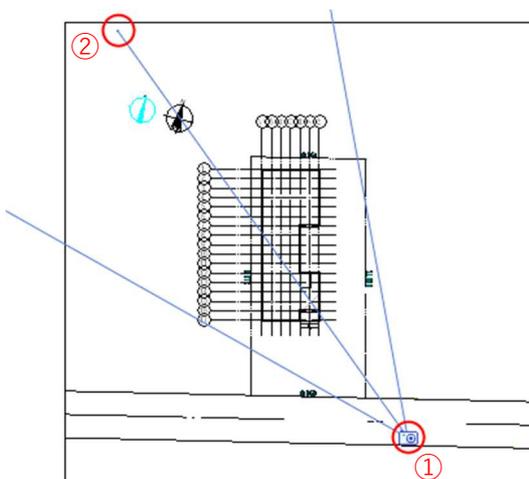
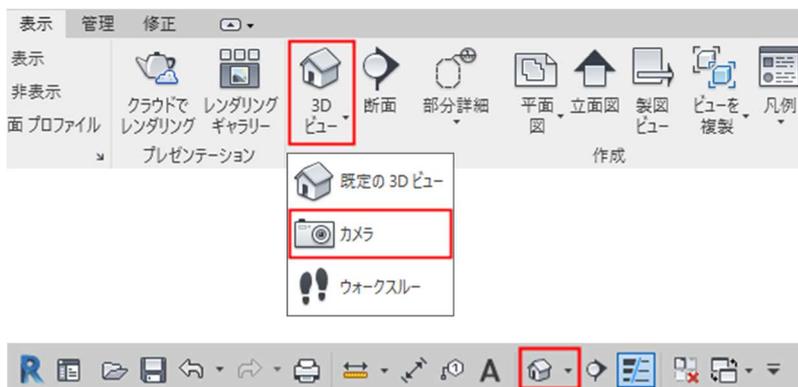
5.1. パースビューの作成

5.1.1. カメラを設定します

プロジェクトブラウザ[**建築/平面図/配置図**]ビューに切り替える
[表示]タブ-[3D ビュー]パネル**[カメラ]**をクリック

※**[クイックアクセスツール]-[規定の 3D ビュー]**タブ**[カメラ]**をクリックしても同じ

右図の位置で①②の順にクリックする
 ①はカメラの視点、②はカメラの注視点となり①から②を見るような形でビューが作成される



3D ビューが作成されました

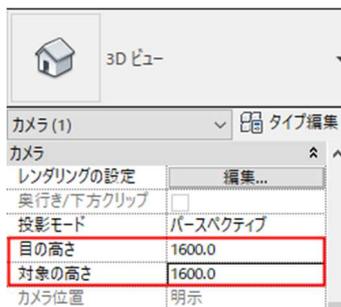


プロジェクトブラウザ[**建築/3D ビュー**]に**[3D ビュー-1]**が追加されていることを確認
 ビュー名をクリックして「**南東**」に変更

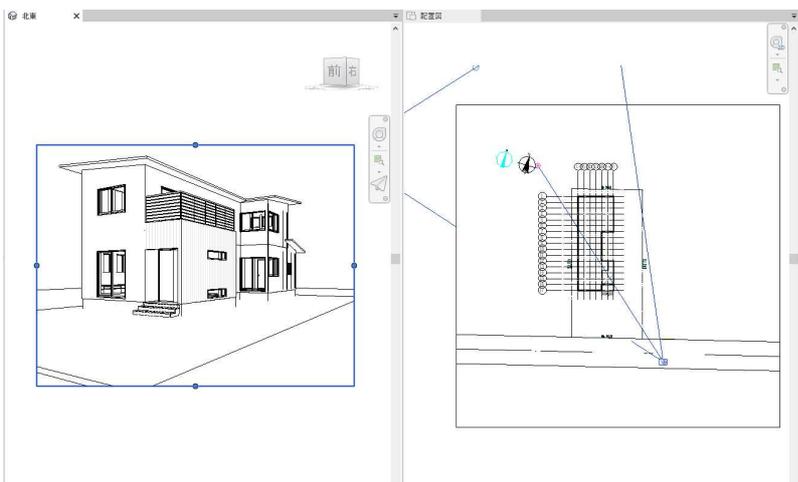


第三者へのトレーニングのため、このドキュメントを無断転載、複製、配布することは禁止されています

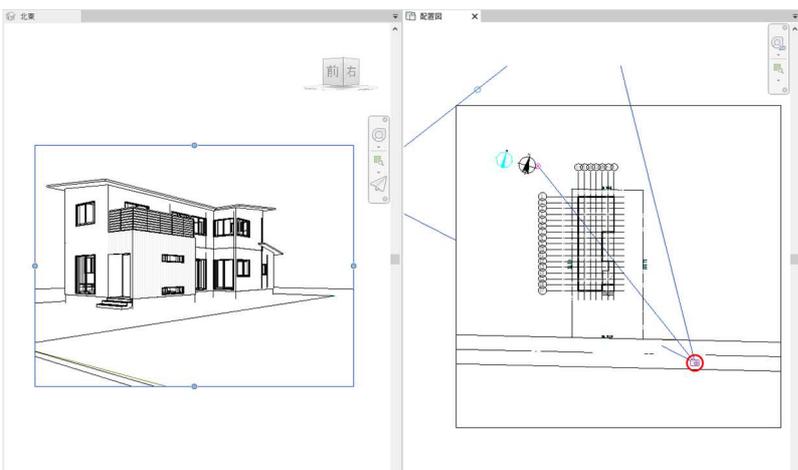
プロパティパレットから「カメラ」の「目の高さ」「対象の高さ」にどちらも「1600」と入力



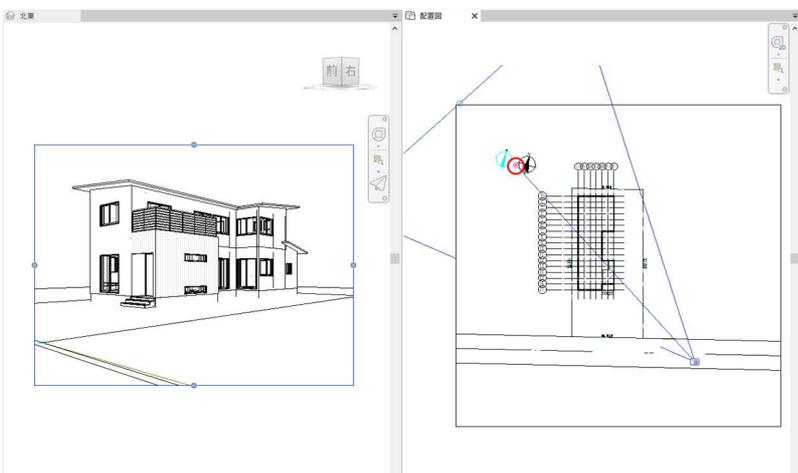
カメラの角度を調整する
 「北東」ビューでカメラのトリミング枠をクリック
 「配置図」ビューにカメラが表示される
 (プロジェクトブラウザで「北東」ビューを右クリックし「カメラを表示」を選択してもカメラが表示される)



「配置図」ビューに表示されたカメラをドラッグし視点を移動

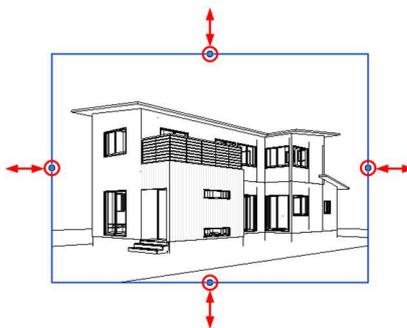


右図のポイントをドラッグして角度を調整



第三者へのトレーニングのため、このドキュメントを無断転載、複写、配布することは禁止されています

トリミング枠の「コントロール」ポイントをドラッグし建物の表示位置、ビューの形状を整える

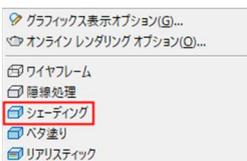
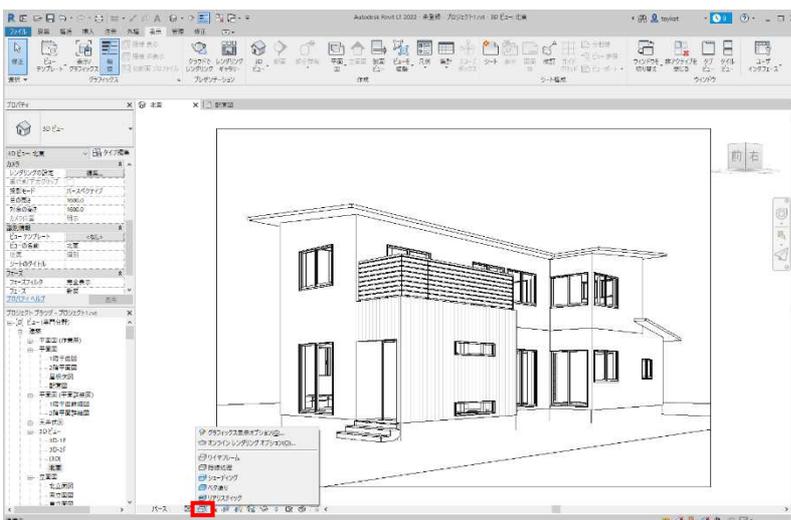


出力サイズを設定する
 [修正/カメラ]タブ-[トリミング]パネル-[トリミングサイズ]を選択
 「トリミング領域のサイズ」ダイアログが表示されるので「スケール(比率を固定)」にチェックを入れ任意のトリミングサイズを入力



5.1.2. グラフィックス表示オプションの設定をします

ビューコントロールバー[表示スタイル]-[グラフィック表示オプション]-[シェーディング]を選択



ビューがカラー表示になったことを確認



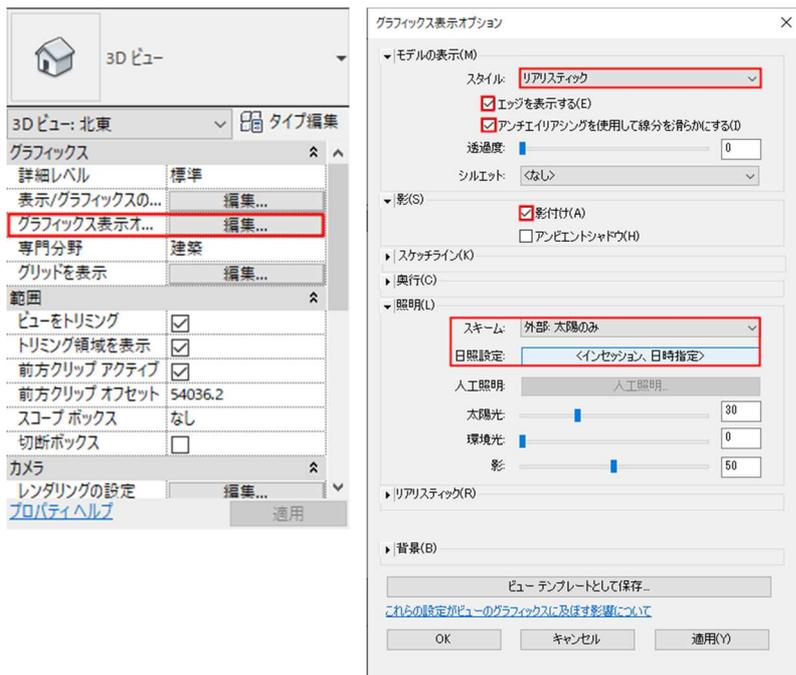
より詳細な 3D ビューの設定をします

プロパティパレット「グラフィック表示オプション」の「編集」をクリック

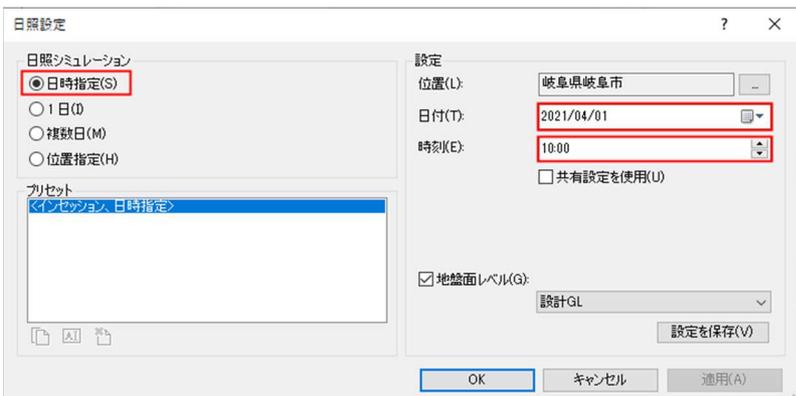
「グラフィック表示オプション」ダイアログが表示される

「モデルの表示」で「スタイル」を「シェーディング」から「リアリスティック」に変更し、その他詳細は右図のように設定

「日照設定」〈インセプション、日時指定〉をクリック



日照設定ダイアログで右図のように入力



右図のような 3D ビューが表示されます



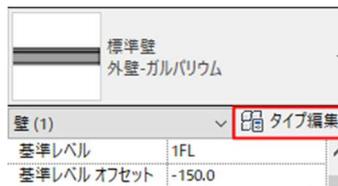
5.2. マテリアル(素材)の設定

5.2.1. 既存マテリアルを修正する

3D ビューで右図の外壁を選択



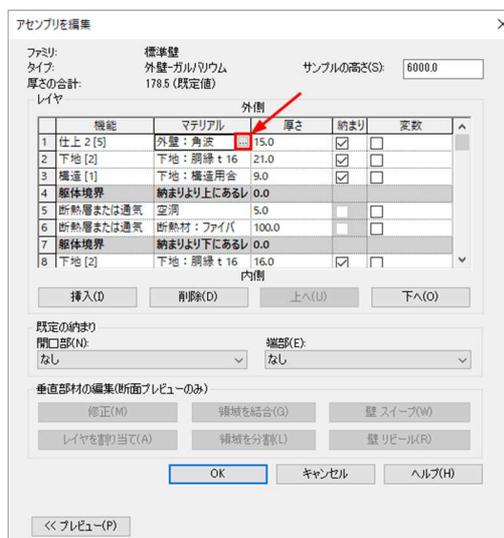
プロパティパレット「**タイプ編集**」をクリック



[**タイププロパティ**]ダイアログ-
「**構造**」の「**編集**」をクリック



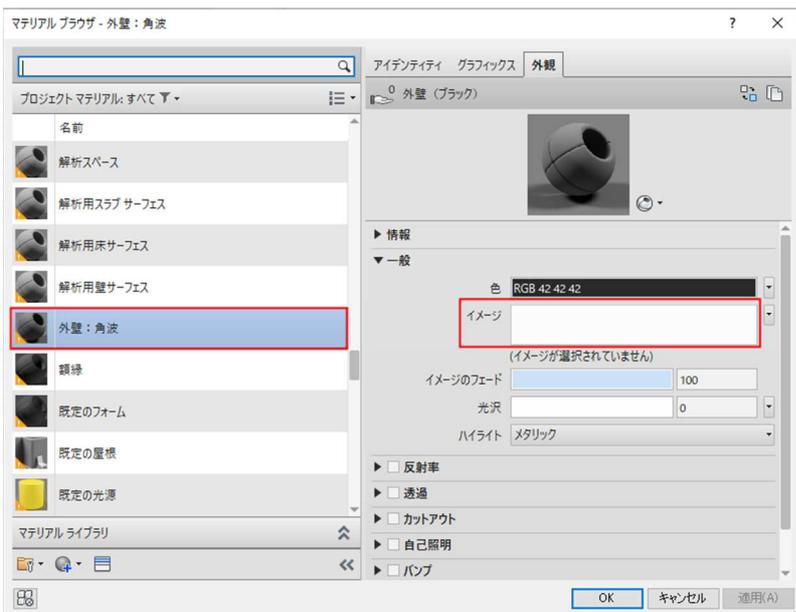
[**アセンブリを編集**]ダイアログ-
「**仕上 2(5)**」のマテリアル「**外壁：角波**」の横にあるボタンをクリック



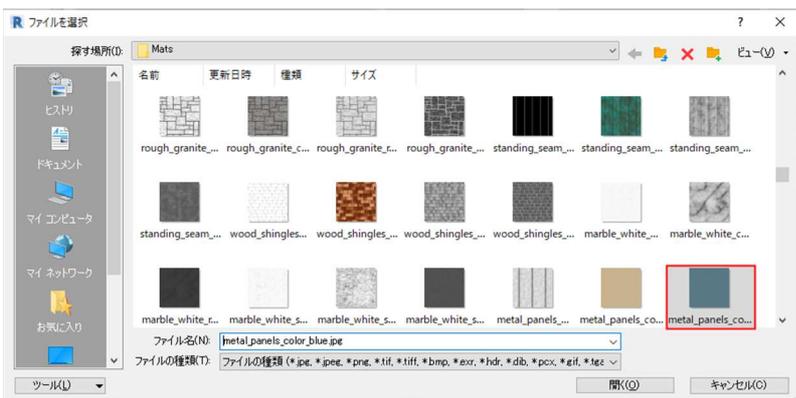
第三者へのトレーニングのため、このドキュメントを無断転載、複製、配布することは禁止されています

[マテリアルブラウザ]が開き「外壁：角波」が選択されている

[外観]タブ[一般]の「イメージ」をクリック



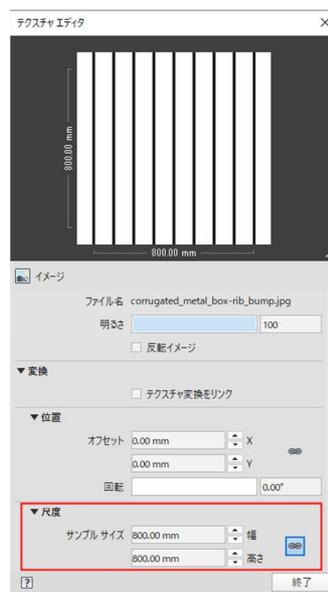
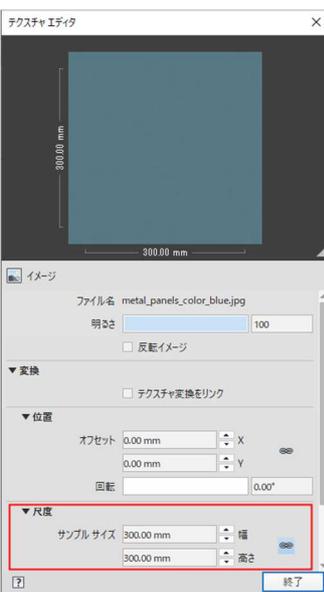
ダウンロード済みのオートデスク提供ファイルから任意のファイルを選択



[ファイル名]
metal_panels_color_blue.jpg
[尺度]幅 300、高さ 300

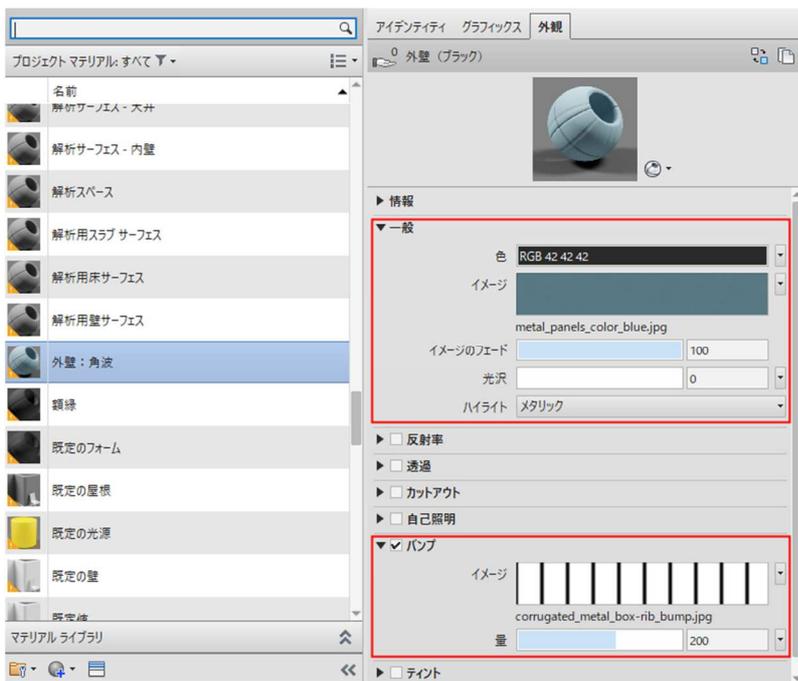
[外観]タブ[バンブ]にチェック
「イメージ」をクリックし任意のファイルを選択

[ファイル名]
corrugated_metal_box-rib_bump.jpg
[尺度]幅 800、高さ 800



第三者へのトレーニングのため、このドキュメントを無断転載、複製、配布することは禁止されています

その他右図のように設定



右図のように 3D ビューが変更されました

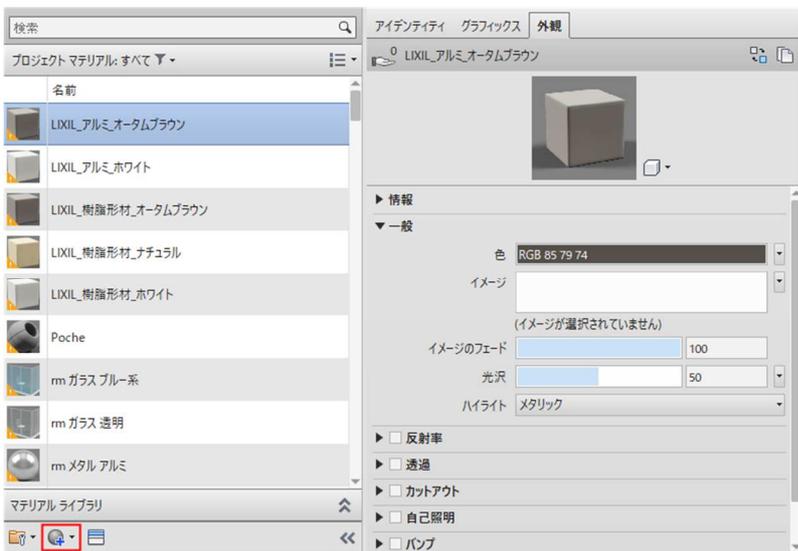


5.2.2. 新規材料を作成する

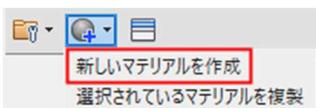
[管理]タブ-[設定]パネル-[マテリアル]を選択



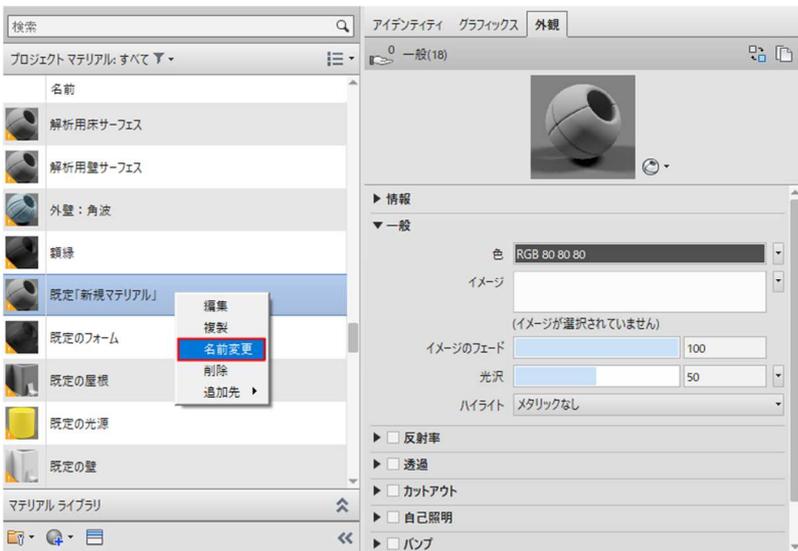
[マテリアルブラウザ]ダイアログが表示される



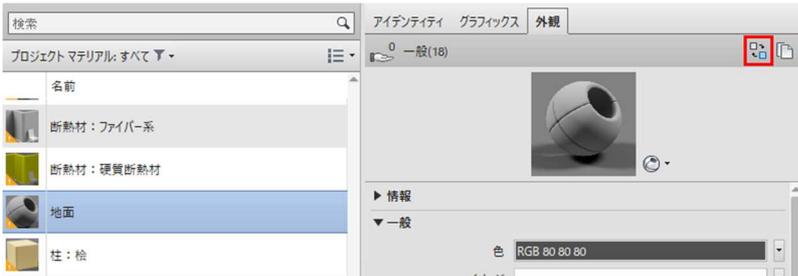
[マテリアルライブラリ]-[マテリアルを作成または複製します]-[新しい材料を作成]を選択



既定「新規材料」をいう材料が新たに作成されたことを確認
作成された材料の上で右クリックし「名前変更」を選択
「地面」と入力

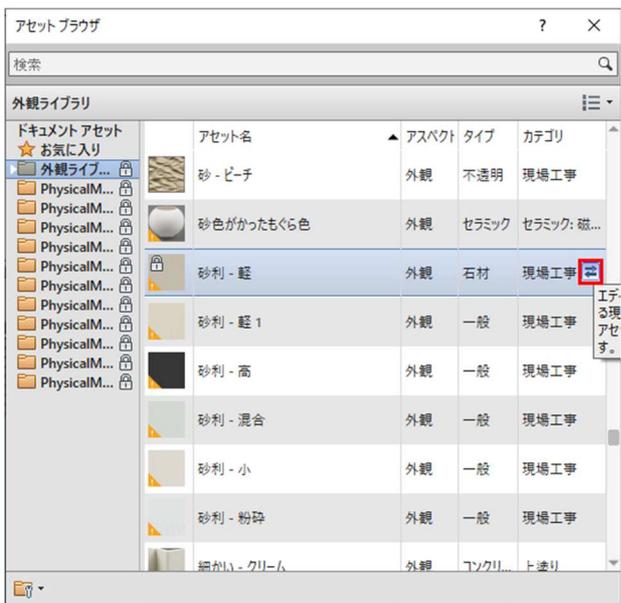


[外観]タブ右上の「このアセットを置きかえます」ボタンをクリック



第三者へのトレーニングのため、このドキュメントを無断転載、複製、配布することは禁止されています

[アセットブラウザ]ダイアログが開くので[ドキュメントアセット]-[外観ライブラリ]からアセット「砂利-軽」を選択し右端のボタンをクリック

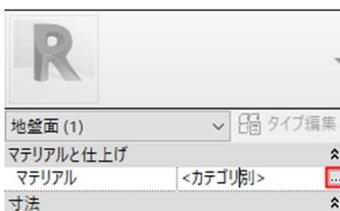


[マテリアルブラウザ]に戻り OK をクリック

3D ビューで「地盤面：サーフェス」を選択



[プロパティパレット]-[マテリアルと仕上げ]-[マテリアル]の〈カテゴリ別〉右のボタンをクリック



[マテリアルブラウザ]が開くので先ほど作成した「地面」を選択、OK

サーフェスにマテリアルが設定されました



5.3. クラウドレンダリング (Autodesk 360 Rendering サービス を使ったレンダリング)

5.3.1. Autodesk アカウントを作成
※アカウント作成方法については下
記のサイトでご確認ください
<https://accounts.autodesk.com/>

5.3.2. プロジェクトブラウザ[**建築/3D ビュー/南東**]ビューを選択
[表示]タブ-[**プレゼンテーション**]パ
ネル-[**クラウドでレンダリング**]を
クリック

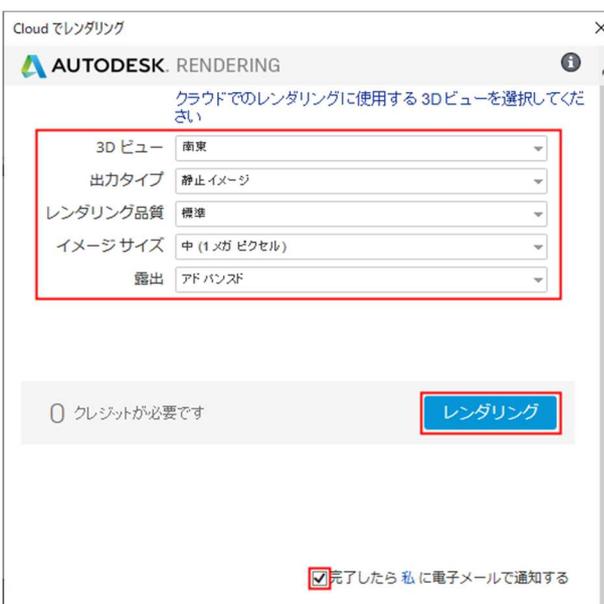


[**Cloud でレンダリング**]ダイアログ
の概要説明が表示されるので「**続行**」
をクリック



[**Cloud でレンダリング**]ダイアログ
の設定が表示されるので初期設定の
まま

「**3D ビュー**」は「**南東**」
「**出力タイプ**」は「**静止イメージ**」
「**レンダリング品質**」は「**標準**」
「**イメージサイズ**」は「**中(1メガピクセル)**」
「**露出**」は「**アドバンスド**」
をそれぞれ選択
「**完了したら私に電子メールで通知する**」にチェックを入れ「**レンダリング**」をクリック



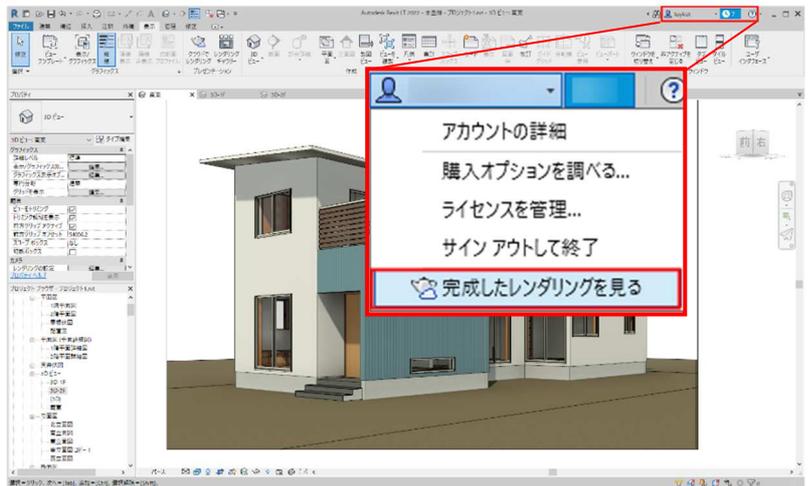
第三者へのトレーニングのため、このドキュメントを無断転載、複製、配布することは禁止されています

※クラウドレンダリングのオプション設定は右記参照

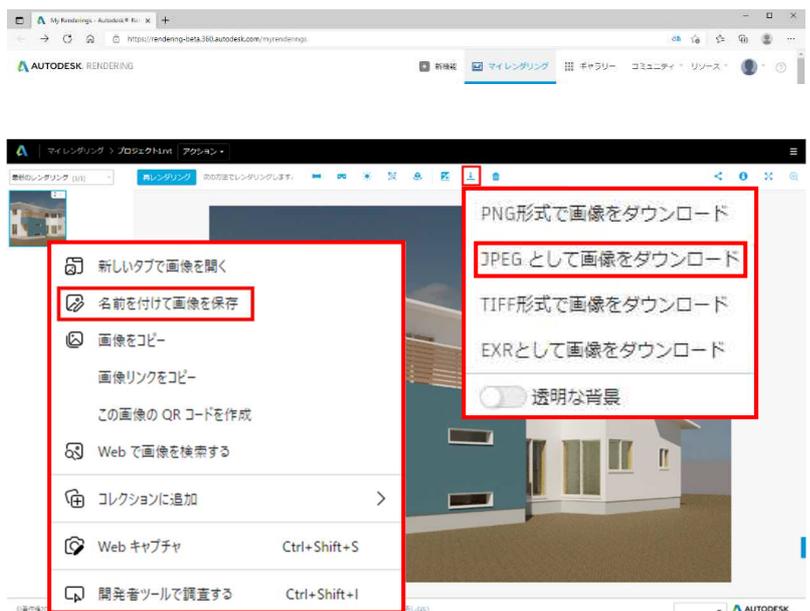
レンダリングする画像の大きさ、品質等に合わせてそれぞれ設定可能
ただし設定内容によって「クラウドクレジット」が必要となる
(クラウドクレジットについては販売店またはオートデスク社にお問い合わせください)

設定	説明
3D ビュー	レンダリングするビュー
出力タイプ	「静止イメージ」: 静止画像を作成 「パノラマ」: 360度の画像を作成 「ステレオパノラマ」: バーチャルリアリティゴーグル用の画像を作成
レンダリング品質	「標準」「最高」の選択が可能
イメージサイズ	レンダリング結果のイメージサイズ A4 サイズ出力では「大」、A3 サイズ出力は「最大」が画質限界サイズ
露出	初期設定の正しい光源状態をシミュレートする場合は「アドバンスド」、Revit の露出コントロール設定を使用する場合は「ネイティブ」

レンダリングが完了すると、
[Autodesk Account]に「**完成したレンダリングを見る**」という項目が表示
「**完成したレンダリングを見る**」をクリック



Web ブラウザに Autodesk360 のページが表示
レンダリングギャラリーが表示されるのでレンダリングしたプロジェクトのサムネイルをクリック



レンダリングした画像のサムネイルをクリック
ツールバーの[ダウンロード]をクリックし「**JPEG として画像をダウンロード**」をクリック、もしくは画像の上で右クリック-「**名前を付けて画像を保存**」

第三者へのトレーニングのため、このドキュメントを無断転載、複製、配布することは禁止されています

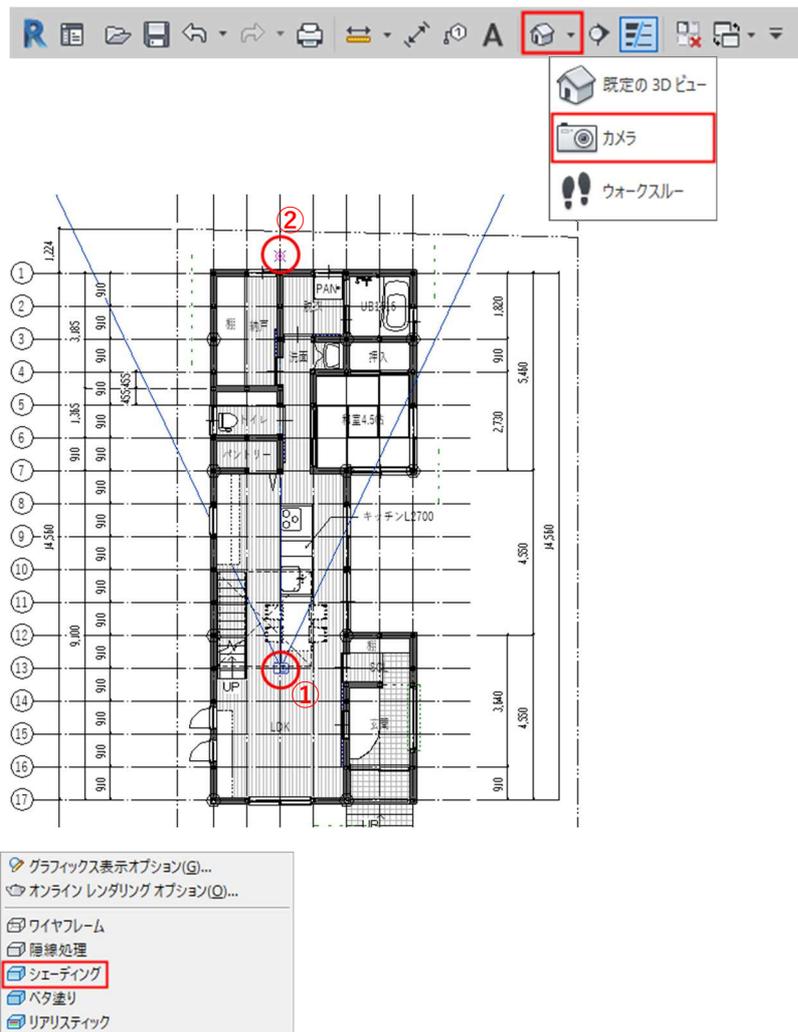
5.3.3. 内観パースを作成しパノラマレンダリングを実行します

プロジェクトブラウザ[建築/平面図/1階平面図]ビューに切り替える
 [クイックアクセスツール]-[規定の3Dビュー]タブ-[カメラ]をクリック

右図の位置で①②の順にクリックする

[プロパティパレット]-[カメラ]-[目の高さ]「対象の高さ」にどちらも「1600」と入力

ビューコントロールバー[表示スタイル]-[グラフィック表示オプション]-[シェーディング]を選択



右のような内観ビューが作成されました



プロジェクトブラウザ[建築/3D ビュー]に[3D ビュー-1]が追加されていることを確認
ビュー名をクリックして「パノラマ-LDK」に変更



[表示]タブ-[プレゼンテーション]パネル-[クラウドでレンダリング]をクリック



[Cloud でレンダリング]ダイアログの概要説明が表示されるので「続行」をクリック

[Cloud でレンダリング]ダイアログの設定が表示されるので初期設定のまま



「3D ビュー」は「パノラマ-LDK」

「出力タイプ」は「パノラマ」

「レンダリング品質」は「標準」

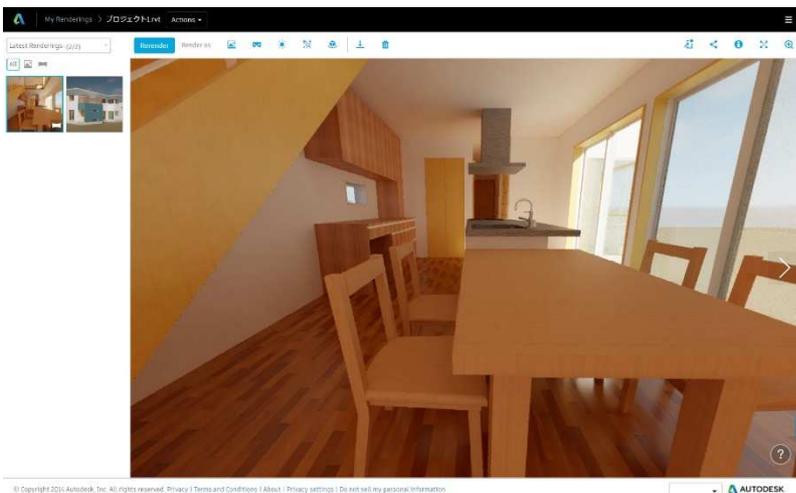
「露出」は「アドバンスド」

「幅」は「1024 ピクセル」

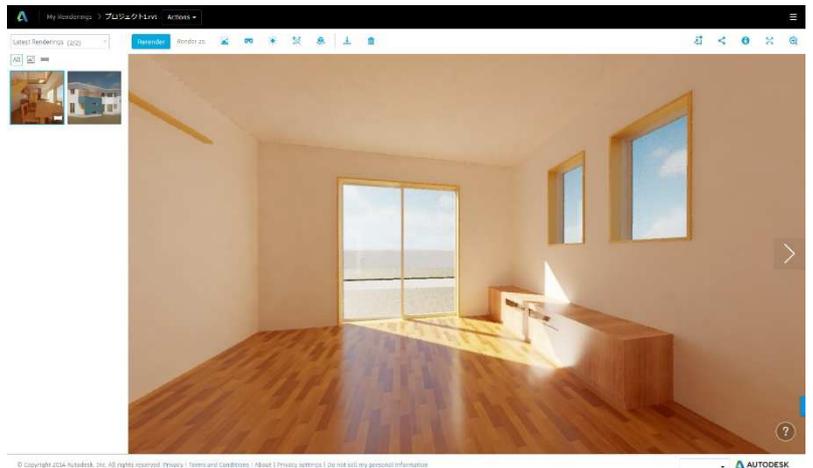
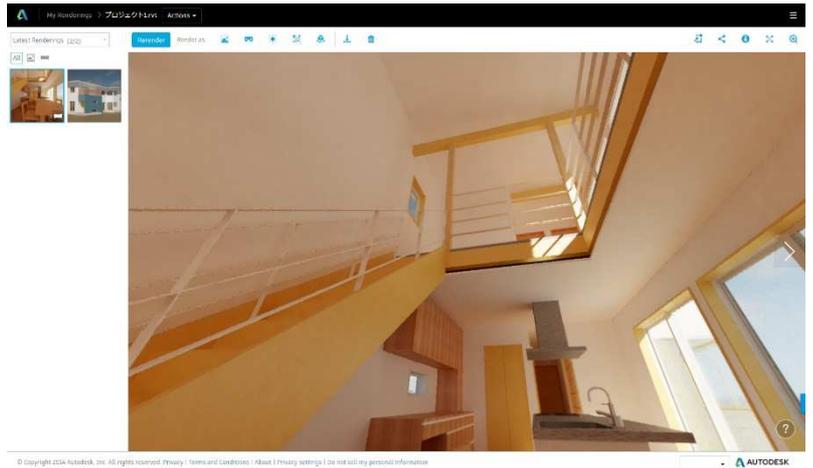
をそれぞれ選択し「レンダリング」をクリック

レンダリングが完成したら

[Autodesk Account]で「完成したレンダリングを見る」をクリック
Web ブラウザのレンダリングギャラリーからレンダリングした画像を選択



画像をドラッグして室内を 360 度見渡すことができる



レンダリング画像はリンク先の URL を共有することで他の機器でも閲覧することができます
[ツールバー]-[Open rendering on phone]-「パブリックリンクを介して共有」を選択

ジャイロ機能を搭載したタブレットやスマートフォンでは、実際に上下左右に機器を動かすことで 360 度のイメージを確認することもできます

